

ドライブコース案内

703-12



1200501582804

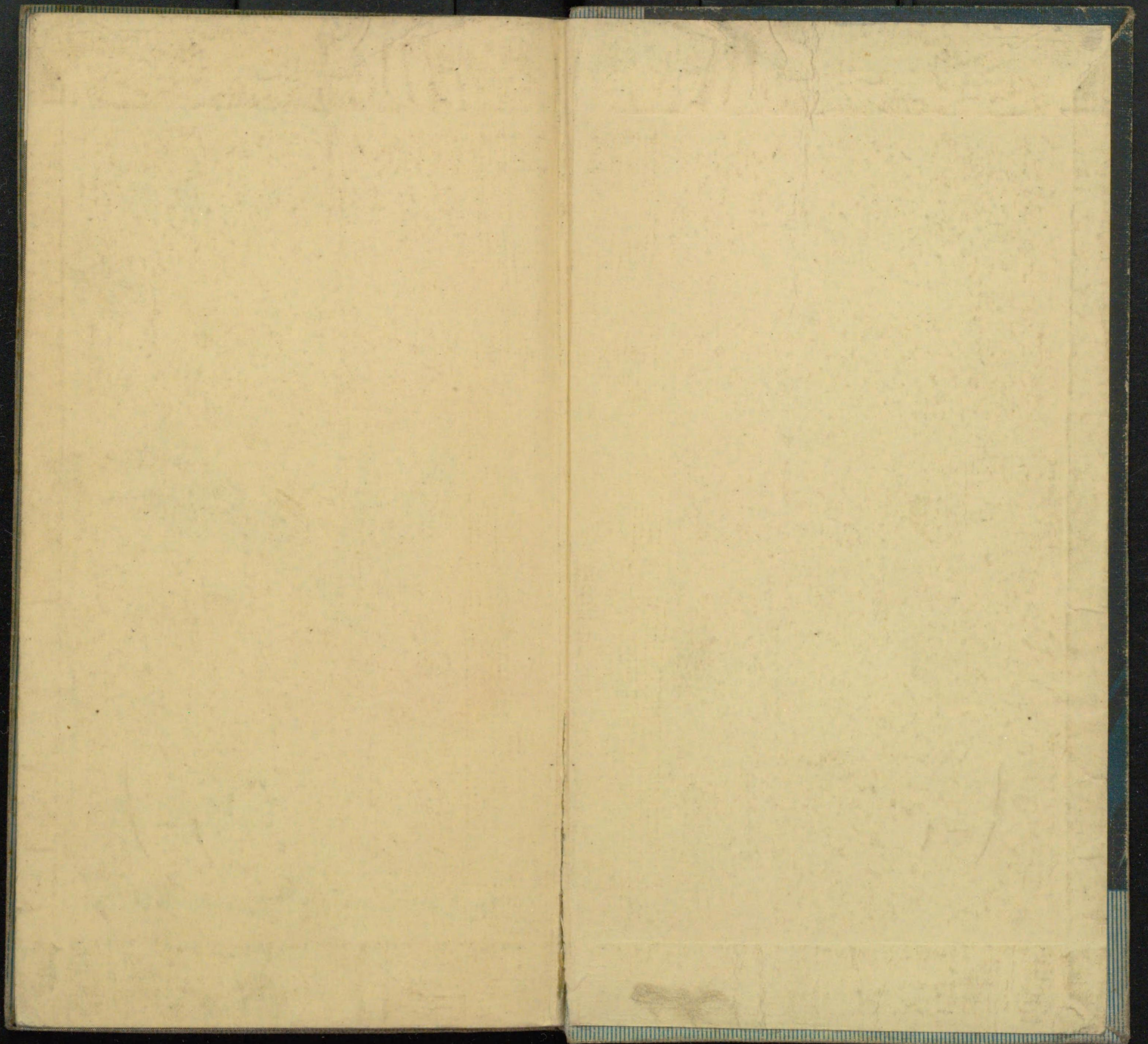
703



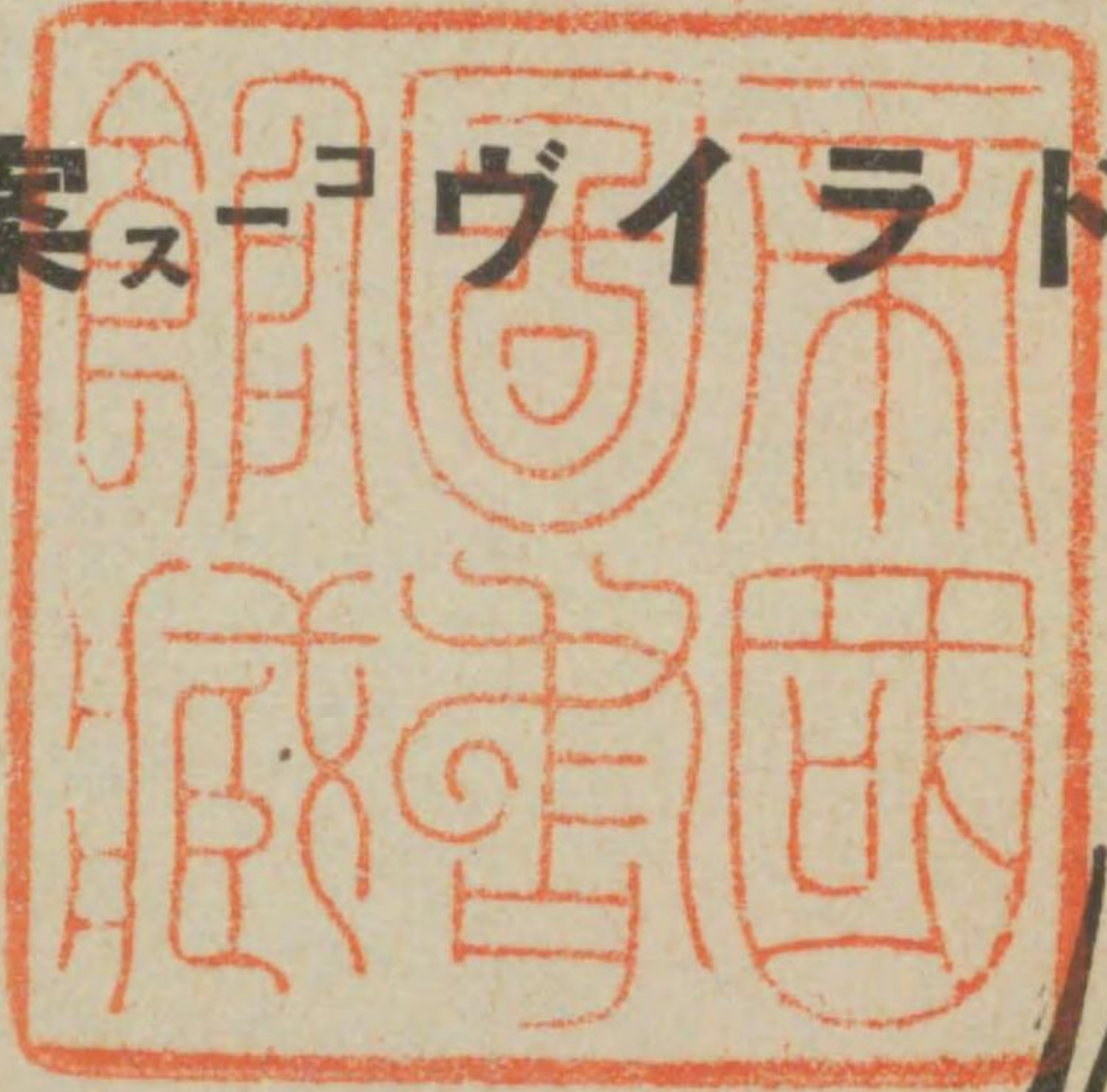
録附
ガイド
典室

版社ルビモト一オ

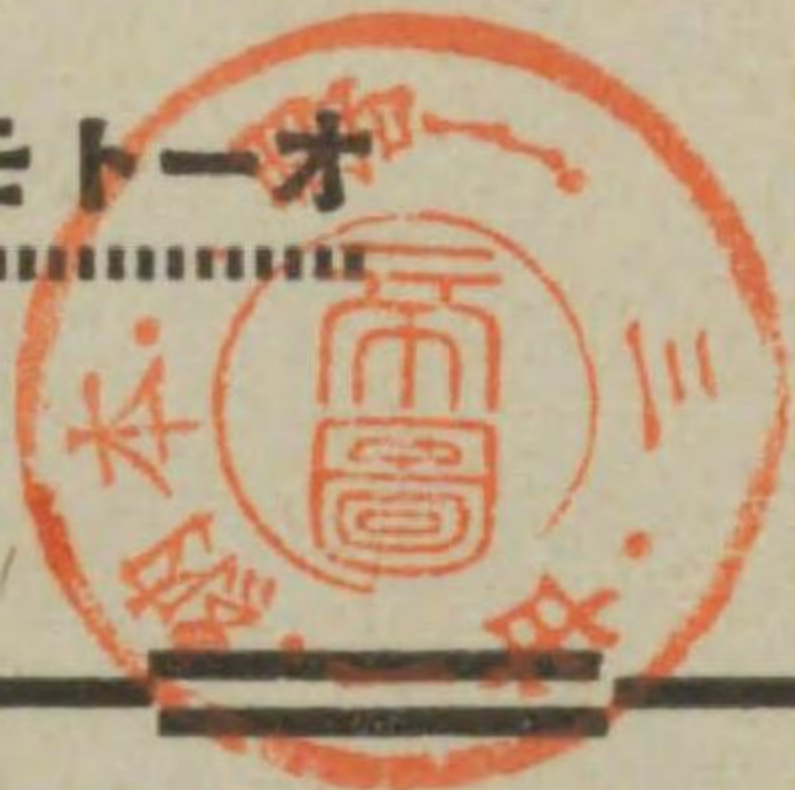


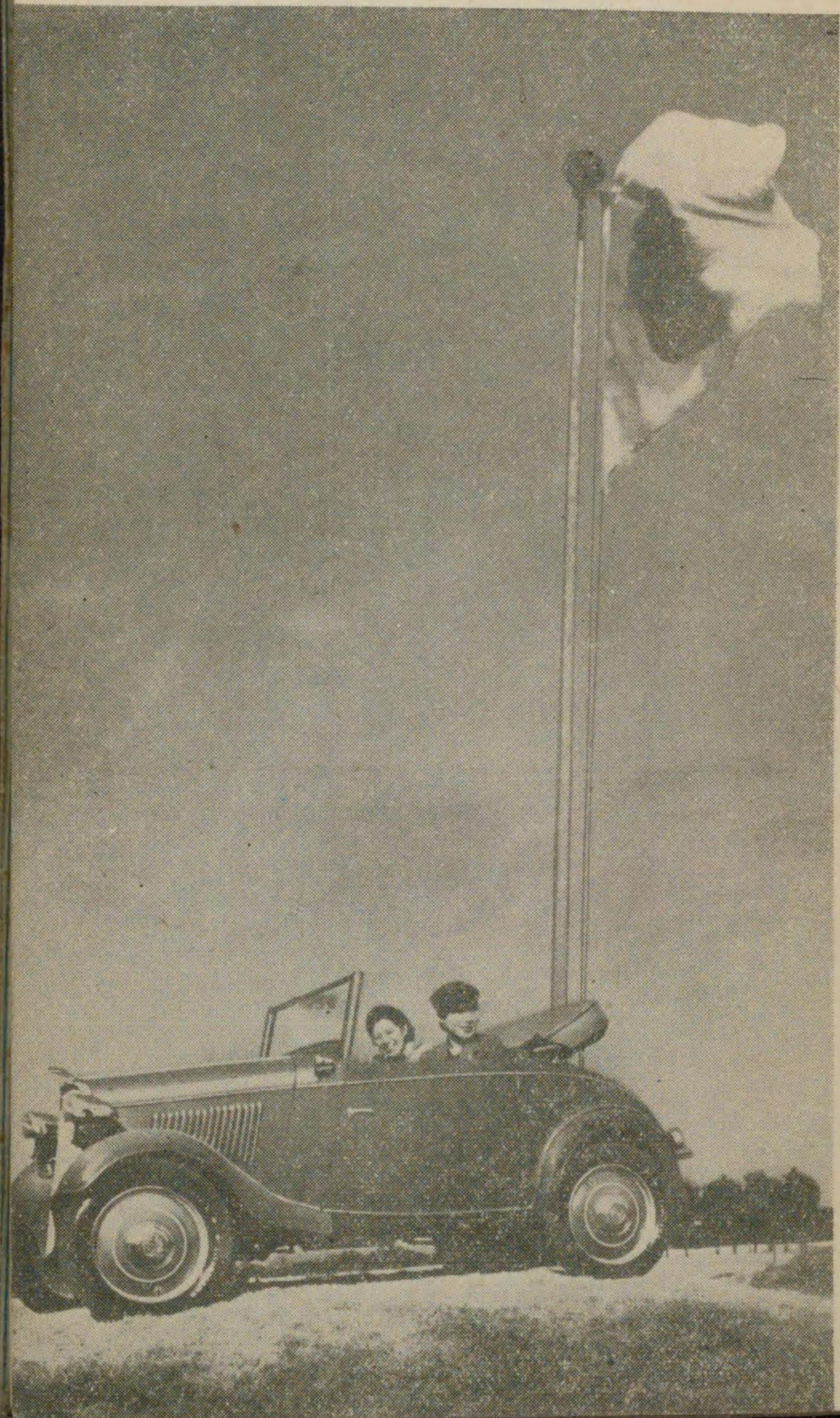


内案 スー ヲ コ ヲ ヲ ド ヲ



版社ルビモト一オ





703-12

(5) 序

序

ドライブは、近代生活に缺くべからざるものとなつた。ドライバーは、我が國にも既に三十萬人を凌駕する時代となつた。と云ふのに、ドライブの案内記が一本も刊行されてゐないと云ふので、各方面から切々として要求されてゐたが、道路の不完全な我が國で、これを發行することは仲々手數のかゝることである。

然し、それかと云つてドライブ案内記を完成しない限り、ドライバーはいつ迄も不便を感じなくてはならぬ。僅かのコースの手違ひから餘分の一泊を餘儀なくされた例は隨所に見受ける次第であり同時に、同じコースを求めるとしても、いかにして適當にドライブするかはドライバーの悩みの種である。時間に氣を奪はれるの餘り、遮二無二走つた結果、途方もなく疾く走破したが、その代り沿道の名所を見失つたと云ふが如き例も少くない。

これ等の缺點を補ひ、ドライブアー最上のロード・ガイドとして編纂したものが本書である。最初全國のコースを収集する豫定であつたが、かくては非常な時日を要し、一方我が國の道路は自動車の

發達に伴ひ逐日改良されてゐるので、調査の日より時日を多く距たゝることは、正確なドライブコース案内として當を得たものと思はれないので、とりあへず南奥より中國東部への區間を發行することとし、逐次全国のコースを収録すると共に、今後毎年版を初め、新設道路を完全に取り入れた、理想的なドライブアーの伴侶とすることにした。

尙ほ區間内各主要地毎の料程を挿入し得たことは本書の最も誇りとするもので、これだけでもかなりの價值あるものと信じて疑はない。

終りに、本コース案内完成のため、資料を提出された、石川實夫氏外數氏へ感謝しなくてはならぬ。

編 者

◇……◇コースの見方◇……◇

◇本コースは陸軍參謀本部の地圖によつたものである。

◇各コース毎に添載したコース略圖は各所持の地圖よりの索引に便にしたもので、○——○の區間は、各自任意の道路を通行して差し支へないやうになつてゐる。

道路地圖をも添附するプランを立てたが、これでは非常に經費が嵩み、同時に地圖を所有してゐる方に對しては二重の負擔となるので、道路地圖は「ドライブ専用道路地圖」として來る四月別冊刊行のことにした。

◇「K」とあるは一切料のことである。

◇出發地を「東京」「大阪」「横濱」等としたのは、各都市の中心地を指したもので、其の他到着地も同様である。

◇編輯方法は各地域別としたが、四季のドライブに便なるため「目次中」に記入して置いた。

◇記入地以外より各コースに入るためには、別項の該當コースによつて立案されたい。

◇各地料程表は各地域別に添載してあるから、この料數を集計すれば任意の料數が即座に判明する。これの時間を計るには、大體一時間を二十七料位とし、一時間毎に二十分の餘裕を見て置く。これは休憩、故障、遊覽等に

費す時間である。従つて一五〇料あれば六時間半位と見ればよい。尤もスピードを本位とするものは別である。
◇本コースは、オートピクニック、オートキャンピングにも利用出来るやうになつてゐる。然し中心は家族的な
ドライブ遊行に置いてゐる。

◇ ドライブコース案内……目次 ◇

東京近郊

- ・東京近郊行程圖……………四
- 奥多摩・村山巡り (春・夏・秋・ピクニック)……………五
- 武蔵野遊行 (春・秋・ピクニック)……………八

房總・水郷

- ・房總・水郷行程圖……………三
- 房州へドライブの旅 (二泊)……………三
- 房州一周 (スピード)……………一六
- 成田詣で (春)……………一八
- 銚子・犬吠廻り (一泊・春・夏)……………二二
- 潮來・鹿島廻り (納涼・秋)……………二四

豆

相

・豆相 行程圖……………三〇

津久井溪谷探勝 (夏・秋)……………三一

箱根より下田へ (夏・秋・冬)……………三五

熱海循環コース……………三六

伊豆半島巡り……………四四

三浦半島巡り (ピクニック)……………四八

江の島廻り (ピクニック)……………五三

相模山の手道了詣で (春・秋)……………五七

戸塚ドライブウエイ (ピクニック)……………六〇

甲

信

・甲信 行程圖……………六六

信濃路と温泉巡り (一泊・秋)……………六七

富士五湖巡り (一泊・春・夏・秋)……………七三

上

奥

・上奥 行程圖……………八四

會津・越後廻り (三泊・夏・秋)……………八五

會津・那須廻り (二泊・夏・秋)……………九三

那須鹽原巡り (一泊・春・夏・秋)……………一〇〇

上州廻り日光へ (一泊・春・夏・秋)……………一〇三

上奥溪谷丸沼へ (一泊・夏・秋)……………一〇六

水上・法師温泉行 (一泊・秋)……………一〇九

伊香保へ (秋)……………一一二

神津より小坂へ (夏・秋)……………一二五

妙義探勝 (秋)……………一三八

長瀨・秩父探勝 (夏・秋)……………一二二

・東京姫路間行程圖……………一三五

東京・姫路間ドライブ (三泊) 一三七

中 京

・中京中心紆程圖 一三三

 養老・犬山廻り (春・夏・秋) 一三三

 知多半島巡り (ピクニック) 一三六

 名古屋・蒲郡廻り (ピクニック) 一四二

京 阪 神

・京阪神中心紆程圖 一四六

 近江八景と湖畔巡り (ピクニック) 一四七

 京阪より天橋廻り (二泊・春・秋) 一五一

 京阪神横断ドライブ 一五六

 和歌山・白濱へ (二泊) 一六〇

 伊勢 参 宮 (二泊) 一六四

 城崎温泉へ (二泊・春・夏・秋) 一七〇

寶塚と有馬へ (ピクニック) 一七四

ド ラ イ ヴ 寶 典

前附々録

・ドライブ十二ヶ月 一一

・全國花の名所

 梅の名所 一六

 桃の名所 一七

 櫻の名所 一八

 藤・牡丹・菖蒲の名所 一九

 つゝじの名所 二〇

・ドライブの知識

 ドライブの知識 二二

 経済的な操縦法 二二

 運転中の心得 二四

ドライヴ二十訓……………二五

寒氣の手當……………二六

之だけの注意は是非必要……………二七

子供はルームへ……………三〇

故障発見法……………三一

ドライヴと姿勢……………三三

府縣別自動車數……………三四

操作の栞……………三五

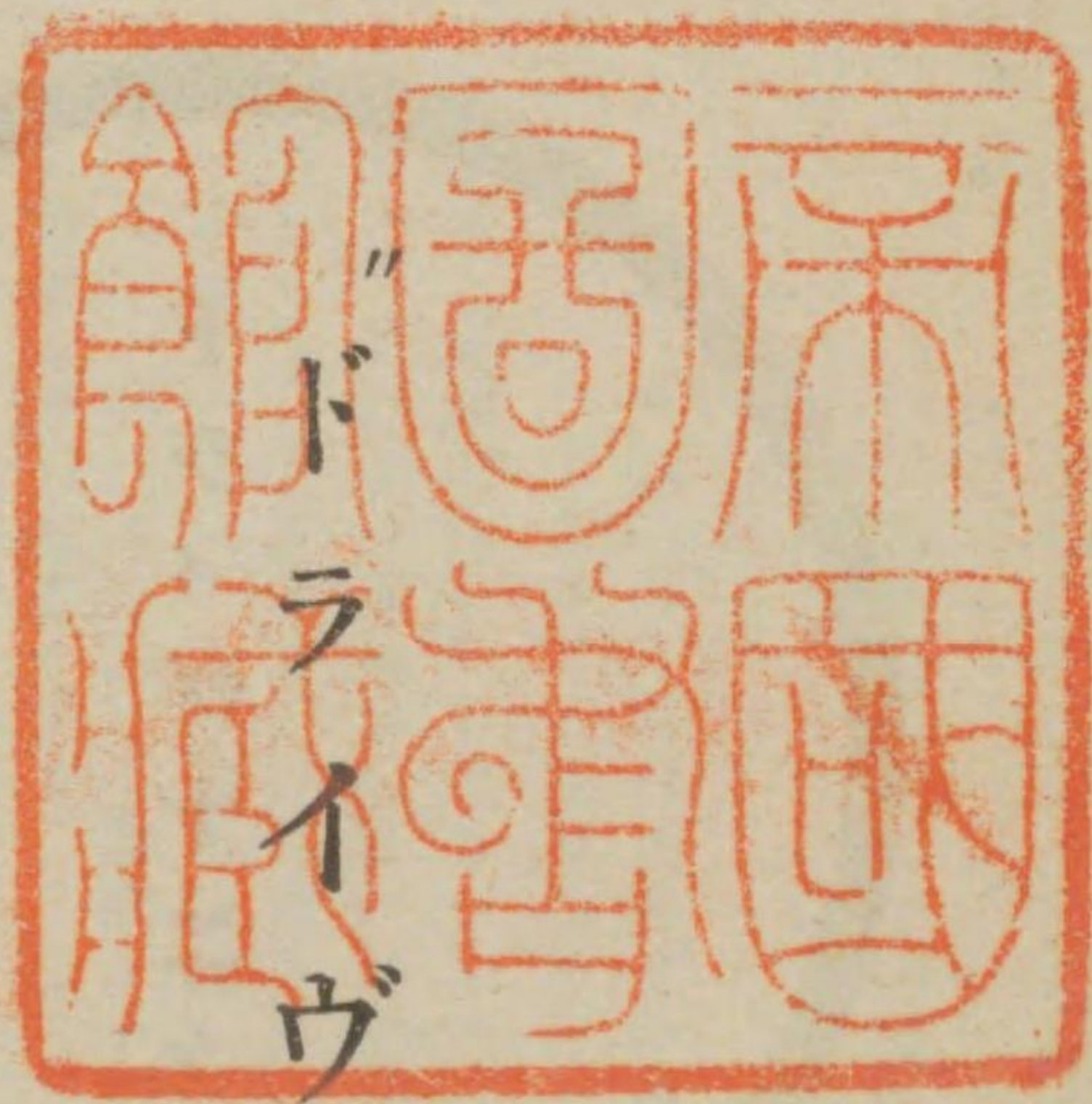
ドライヴの疲勞恢復法……………三七

ドライヴァー必讀法規集……………三九

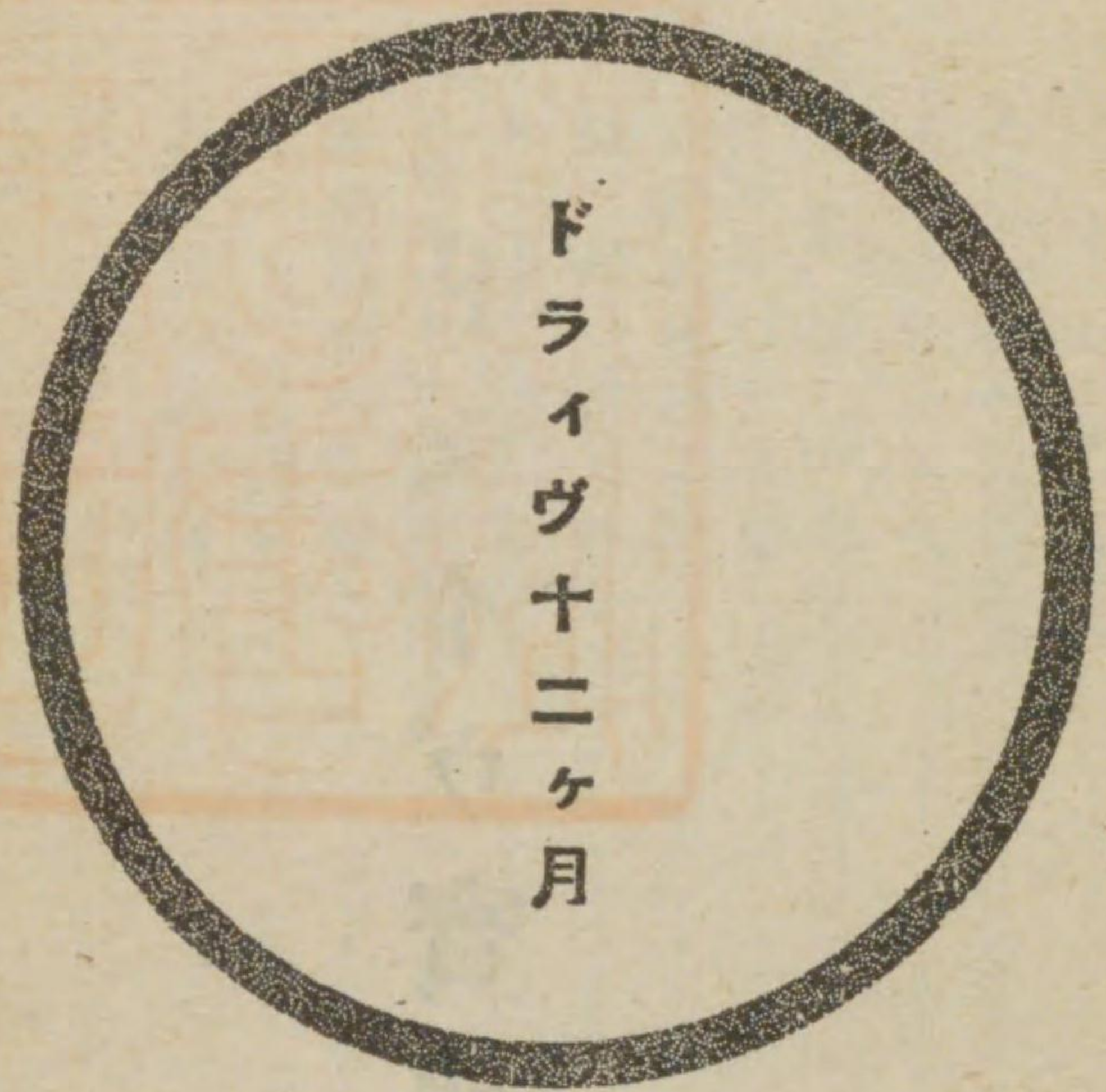
要塞地帯の心得……………四一

ドライヴ用お辨當……………四三

料と哩の換算表……………四五



寶典



ドライブ十二ヶ月

1月

早晨、一家揃つて神詣で、今年の長久をお祈りして、直ちに初日の出を拜みに出かけませう。海濱へ、丘へ、峠へ、ホノノと新年の曉を告げる太陽は、實にドライブアの友であると云へませう。お屠蘇を祝つて廻禮へ。

二日は愈よドライブ初め、まづ山間の温泉へでも出かけやうではありませんか。旅に正月を迎へる人は、附近の神社巡りと云ふところでしょう。

雪や氷のため、高原地方は運行を阻まれ勝ちですから、やさしい平坦部のドライブを餘儀なくされる月、南國の一部を除いては、ドライブアは隠忍の月と云ふべきでしょう。但しスキー、スケートだけは楽しみの一つです。

注意 雪と氷と凍結が行く手に待ちかまへてゐるものと思はなくてはなりません。なるべくマイヤチエーンを用意ませう。又滑油は凍結の少ない高級品を使用しなくては機部を損傷します。ラヂエーターが冷え過ぎる恐れがありますから、カヴァをかけるなり其の他適宜の處置を忘れぬやう。更に防寒手袋も必要品の一つです。窓は締切りますから、ガソリンの漏洩を注意して下さい。此の臭氣やエキゾーストが車室内へ流れ込むと、頭痛を起すことがあります。時々窓を開けて換氣することはよいが、疾走してゐる時長く窓を開けて顔面を風に當ると顔面神經麻痺を起す危険があります。

ドライブの月一

初詣 初日の出、ドライブ初め
避寒 週末にかけての避寒ドライブは楽しいもの、一つです。南の海濱へ、静かな温泉場へ、更に休みの間に歸省するのもよいでしょう。
神社巡り ゆつくり落着いた氣持ちで神詣り出来るのは一月を措いて他にないでしょう。
スポーツ ウィンタースポーツはスキーとスケート、但し降雪に足を奪はれることを注意しなくてはなりません。
寒鮓約 共に趣味の人には見逃せないところ。其の他劇に映畫に、街はオーナーに賑はふ季節です。

2月

南國では早くも地中の生物が動き出さうと云ふのに、南の濱邊には汐を含んだ花が開かふと云ふのに、寒さは一段と激しくなつて來ます。従つてドライブアーも、自然と心が鈍り勝ちとなり、其處で今月は、思ひ切つて南方へ進出することにしませう。雪、氷、温泉場の單調にして憂鬱だつた心氣は、忽ちにしていとも朗らかに綻びて來るでしょう。

何と云つても關東では房總、中部では伊豆、關西では南紀州、九州は薩日を數へなくてはなりません。早くも菜の花は蝶を呼び、素々たる豆の花は野鳥の一群を招いて、賑やかに春の曲を奏でてゐるのです。冬の國のドライブアーは、此の際暖國の知友と交歓しやうではありませんか。此の夏に友を呼ぶために、序でに暖かい國の名所を見ませう。房州では何と云つても勝浦附近を中心に、内房、外房一帯の海邊、伊豆では下田中心が覗ひ處でしょう。

南紀では海女で名高い串本附近から白濱、新和歌の浦より新宮にかけての東西の海岸線なれば何處でもよく、九州は日向の青島附近は遙か南の國の情趣を唆り、線の荒い薩南地方も、毎年此の頃になると誘惑を感じないではゐられない。隠れた處としては、四國の南部、高知から下田に至るコースが仲々興趣に富んでゐます。更に二月も半ば過ぎると、九州中部に遊ぶのも面白いでしょう。

雪見 淡雪を蹴つての雪見は、その昔の簾越しに見るものとは自ら風趣を異にし、近時雪見ドライブが非常に多くなりました。

梅見 今月から來月の中旬にかけて梅見です。

惠方詣 初午

ピクニック ピクニックを二ヶ月休んだため、坊つちやん嬢ちやんが我慢出來ません。池畔の水温む堤に土筆をもとめるのを皮切りに、そろ／＼早蕨が頭をもたげてくることでしょう。何れも暖かい日中のピクニック氣分は、開放された喜びに浸ることが出来るでしょう。

ドライブの月二

ドライブの月三

3月

大地はぬるむ、ドライブアーも正に心氣一轉、新型自動車の用意も出來た、愈よ春のドライブ・シーズン幕は朗らかに開いたのです。

永い間冬に閉された峠の道に乗り入れなくてはなりません。鶯は未だ深い眠に就き、溪間の雪は眼に滲みる程春陽に照りかへつてゐる、あのナヨ／＼しい春の自然の眼醒めは、若草萌える野原や藻汐の香の匂ふ海濱よりも、一層把手の誘惑を感じるでしょう。然し、御注意下さい。大地は「凍結」から解放されたばかりで、軟土の路は到る處横たわつてゐますから、スリップのため思はぬ怪我を起すことがあり、更に路傍は雪と氷と霜のためすつかり破壊されてゐるため、マイヤがメリ込む危険があります。登山家が冬山に注意するが如く、ドライブアーは春先の峠道には細心の注意を怠つてはなりません。又冬を越した道路は、各所に缺潰を生じ、雪溶け水のため道路を洗はれ、去年の秋に來た時とは、凡そ異つた状態にあることが多く、殊に山間部、溪谷の橋梁等は、橋の路面が傾斜してゐないか、路上に穴が開いてゐないかをよく確かめた上通過することにしませう。だから今月は疾る心を押し止め、國道以外の道又は車馬の通行の稀な道路は避けた方が安全と云ふことになるわけです。新型、既に手に入つたものもあり、遅くとも手に入るばかりになつてゐると思ひますが、初手からブツ飛ばすことは差し控へなくてはなりません。まづ一千キロを走る間は時速三十キロ程度とし、車をいたわることはドライブアーの義務であると思ひます。エンジンに無理を生ぜず、本調子の出るのは二・三千キロ以上を走つた後です。暖い地方は中旬より櫻が開くでしょう。

紅梅 は平坦部、寒い地方は梅が開きます。手練しには好適と云へませう。

桃 續いて桃見です。

摘草 家族的な軽いピクニック、晴れた日曜の午後、摘草を兼ねたピクニック・ドライブは、春ならではの楽しさがあります。

更に野には青い麥、黄色い菜種の花、麓の椿、梨、杏の花と、のどかな野の花巡りも興の深いものです。

4月

お釋迦様の甘茶と櫻が一緒に訪づれやうと云ふのですから、甘つたるいやうな、浮々した此の時候、愛車は寸時もガレージに納まつてゐないこと、思ひます。既に大地も完全に生氣をととのへ、ドライブを待つ便りは頻々と舞ひ込むことでしよう。いざ存分にのすことにして、陽足が長いのが秋よりも拾ひものと、なるべく長距離のドライブを選びませう。家族連れも無論結構、然し又友達と語らひ、夜をかけての一・二泊の所謂一周コースに乗り出すのも愉快なもの、一つです。然し、いゝ氣になつて走つてゐる中に、春特有の砂塵は遠慮なく機關部へ侵入するでしょうし、ボデーと云はずルムでも、人の身體もすつかり汚れるものと覺悟しなくてはなりません。其處でエンジンの手入れは念入りに、更に各部の清掃も怠つてはなりません。「まづ車を寝かせよ」これは此の候にいとびつたりと當て嵌る警句です。又人も汚れ勝ちですから、ドライブの後は直ちに入浴するやうにしなければなりません。最後に注意を促したいこと、外でもない、運轉中睡魔に襲はれた時は遠慮なく車上で一と休みして下さい。何となく身體のジョイントに弛みを生じ、無性に眠くなることがあり勝ちですが、こんな時に無理をすると、中樞神経が參つてゐるためとんだ錯覺を起し、河を道と間違へて飛び込んだ等の例は少くないのです。慾を云へば、質の良いコーヒーを用意して、半日に二回位これをすゝるとよいのですが、眼薬を點すことも悪くはありません。然し何よりも無理をしないこと、心の緊張を失ひかけたとき考へた時は、單獨運轉なれば三十分休息し、把手を交替出来れば直ちに補助席に就いて一と寝入りすることです。

ドライブの月四

櫻 何は措いても、櫻を見ないドライブは、日本ではあり得ないと云はなくてはならぬ程、秋の紅葉の對照となつてゐます。ドライブしながらの櫻見はバツトしないと云ふ方もありますが、櫻の現場に乗り入れるのが花見の要諦でなく、訪ふ人の稀な溪谷に燎爛と咲き匂ふ花の下に車を停めてランチをひろげ花の峯を遠望しながら風を切つて疾走するのは、格別の味はひがあるのではありませんか。序でに磯釣もよし、概して海濱のドライブに妙味があります。

汐千狩 摘草に代るべきのどかな風景を描いて見やうではありませんか。序でに磯釣もよし、概して海濱のドライブに妙味があります。

春の海ひねもすのたり〜哉

ドライブの月五

5月

最近になつて、ドライブを眞實生活にとり入れることの出来る人々が多くなつたことは、自動車生活の眼醒めとして、非常に喜ぶべきこと、云はなくてはなりません。例へば、露を蹴る早朝のドライブもよく、夕景のドライブに、より生活の充足感を覺えるオーナーが多くなつたことを、しみじみと見直さずにはゐられないのです。

單にスピードをエンジョイせんがためのドライブも、決して排斥すべきものではありませんが、日常の生活に自動車を混和させるところに、ほんとのドライブの味があるのではないかと思ひます。

試みに、北海の風がをさまつて、農家の軒端の棚に藤の花がほのかに匂ひ、燈火のまたゝきに時候の暖かさを感じる頃の夕景のドライブをおすすめします。これ迄、探勝と遠出にドライブの爽快さを充分味はひ盡した人々は、云ふに云はれぬ「物靜かなドライブ」を感得なさるでしょう。

五月の燈ともし頃のドライブ、俳味があり、ロマンチックな甘つたるい感觸、是非共おすすめめしなくてはならない四季のドライブの一つです。

火のもとに片側町の若葉哉
おもしろくふくらむ風や鯉職
大佛のねむたさうなる茂り哉
あら海や月にきこえむ時鳥
此頃の日記や雨と時鳥

子規の俳句に、五月のドライブは大體含まれてゐますが。

若葉を訪ねて、山の中腹を横断するドライブウェイをまづ試みるのは如何ですか。

花は藤、牡丹、つゝじと、おつとりした遊歩がてらのドライブと云ふべきでしょう。

6月

映畫を見て、美味しいものでも食べながら、友達と、戀人と、ゆつたりした氣持ちで語りあいたいやうな六月、水無月とは云へ五月雨の延長に惱まされることしばしば、一寸外出するのも、自動車なればこそその有難さをしみじみと感謝せずにはゐられないでしょう。自動車を文化の下駄とは、

科學者を超越した偉大な實際家の言葉ですが、よく實感を表現したものと思ひます。大體此の月はドライブアーにとつては暇な月と云ふことが出来ます。纏つたプランも無く、當てもなく乗り出して肌に汗を湧かして、又一と走りと云つたやうな調子です。墓參かたぐい郷里に歸つて見たいと考へてゐる方は、なるべく今月決行したがよろしいのです。三月から四月、五月と、春のシーズンが一としきり終つた後の、休息的季節です。だからモーターレース等、此の月にやると必ず相當の効果を擧げることが出来るではないかと思ひます。まづ夏のプランを練るとか、その下準備とか、古い車はオーバホールをして待期することにしやうではありませぬか。たゞ一つ、六月一日から中旬にかけて全國の鮎の解禁が行はれます。鮎漁と云へば、前日から出かけて河邊に釣場の陣を設けたものですが、自動車はこれ等の舊時代的頑張りズムを徐々に解消して行くやうです。釣に自動車があれば、殊更に鮎漁にとつて此の感が深いでしょう。自動車を有しながら釣の出來ぬ方は、釣黨に自動車を與へ、共に一日の清遊を樂しむことの無駄でない責任を持つても差し支へありません。

ドライブの月六

螢狩

ドライブとは縁が遠いやうで、その實捨て難いものが螢狩りです。東京附近なれば大宮、荒川堤へ京阪からは近江路へ、更に郊外へ一と走り出て螢籠を賑はして歸るのによろしいでしょう。歩いて、夜露に濡れたせいかなかかなり疲れる螢狩りに、自動車の足を頼るのは至極現代的と云へるでしょう。

朝露

五月の夕と反對に、朝露を蹴つてのドライブは心身清涼の妙藥の如きものです。其の他河鹿の鳴く音を求めて溪谷の温泉へ、菖蒲見物に、水鶏の啼く水郷へも、季節らしい趣があります。

ドライブの月七

7月

夏！ それはモーターリストに與へられた最上の興趣です。ホキールの廻轉するところ、涼風は颯と車上を拂ひ、輕装してスピードの快をむさぼる時は、夏ならではと思はれるのです。然し何と云つても七月の妙味は夜のドライブでしょう。都會の苦熱を遁れて海濱を一と走りするもよし、ネオンサインのさんざんと燿く繁華な大通りの軽いドライブینگも全く悪くはありません。

だが眞の夏の夜のドライブは、夜をかけての遠乗りを筆頭に數へ上げてはならぬでしょう。午前二時起床、人は今寢苦しいまゝに床の上に反轉してゐやうと云ふ時、エンヂンの唸りも軽く、冷やかな早朝の空氣を浴びて疾驅する有様は、體驗者のみの知る快心事なのです。而も遮切る者の少ないドライブウェイをひた走る壯快さは、大平野を滔々と流れる彼の清流を想起するではありませぬか。

明け易い夏の東天がほのかに白み初める頃には、既に百キロを走破してゐるでしょう。朝炊の煙を、野良に通ふ農夫の姿を、峠に一と休みして見下す情景は、文字通り回生の氣分に浸るに充分です。

かくて日中は爽涼の地に遊び、夕景を乗せて馳せ歸る歡びは、モーターリストが固く秘めてゐる「夏の快樂」なので

避暑地巡り 情れ氣味の夏は還境に變化を求めることが何よりです。今日は山へ、明日は海濱と、避暑地を駆け巡るのも愉快なものです。

納涼ドライブ 此の月に二回位は出かけたいたいものです。早朝出發して太陽の昇る頃には目的地へ、終日を遊んで夕方歸るものですが、場所は水郷、湖畔、神社等を選ぶのもよく、最適地としては俗化されない海濱、溪谷がよいでしょう。

避暑行 單に避暑地と名のつく處へ宿をとつて遊ぶのとは大いに趣を異にしてゐます。北陸へ、北海道へ暑を避けて長途のドライブに上るもの、關東では何と云つても奥羽から北海道、關西では信越又は中北部の山岳地帯縦走が好適と考へられます。

8月

土用半ばに秋風ぞ吹く……と云へど、炎暑未だ焦くが如く、夏の疲れも思ひやられるので、今月は無理なドライブは一般的に避けたいと考へます。尤も若い元氣旺盛組は身の廻りの軽やかさに乗じ、思ひ切つたプランを立てることは面白いでしょう。

最も歓迎されるのは、避暑地へ落ち着いて附近のドライブか、さもなければオートキャンプでしょう。殊に昨年あたりからオートキャンピングは非常に流行して來てゐますが、つまらぬ避暑よりも寧ろこれを推奨したいと思ひます。知人と語らつてもよし、家族連れも仲々楽しいものです。

コースはなるべく所謂大圏コースを選定するがよく、氣兼ねなしに山の中へ飛び出すのも興味のあることですが、一般的には海岸と山を取り入れた一周コースがよいではないかと思ひます。奥羽では東海岸と湖水、關東では伊豆箱根か又は富士と駿河海岸、中部は信州と北陸海岸、關西は山陰旅行、九州は別府の海と山と云つたコースがよいでしょう。

ドライブの月八

八月は前にもある通り餘り無理をしないことにして、単一のドライブよりも寧ろ遊びを取り入れたものがよいでしょう。例へば避暑地でのドライブ、朝夕のドライブにより日中を遊びに過すもの……海水浴、舟遊び、登山等々々。長距離ドライブは、それを欲する人々のみのものであり、元氣旺盛な場合は道路が最も凝固してゐる時であり探勝旅行には好適と云へるでしょう。然し一般的にはすゝめるわけにゆかぬでしょう。夏期は幌を歓迎し、幌を倒したオートプンで飛ばすオートナーが多いやうですが、幌を倒すことはあまり感心出來ないやうです。幌を開けたり閉ぢたりしてゐると損傷が早いからです。二萬哩走破しない中に駄目になつてしまふでしょう。最近の自動車技術で問題となつてゐるベンチレーションはセダン型の場合を云つたもの、しかしセダンの通風とか換氣は充分研究し盡されてゐるため、セダンは夏に不向きだと云つたのは數年前のことです。セダンでも窓を開け放せば通風に何等差し支へなく、フェイトンもサイドを外せばそれで充分わざ／＼幌を倒す必至はありません。殊に新車に於いては絶対禁物と云ふべきでしょう。

9月

新秋、愈よ秋のドライブ・シーズン來る。暑氣にうだつた心身は、今や爽涼を求めてみのりの自然に向つて大きく息つきしやうとするのです。ドライブアーにとつても、腕の鳴る思ひではありませんか。

何と云つても覘ひ處は家族的なピクニックでしょう。恰も春の三月に相似たものがあり、峠に、麓に、愛車は一日としてガレージに納まつてゐる違のないこと、思ひます。

注意としては、夏に相當エンジンを傷めてゐると見なくてはならず、それでない迄も埃を被つてゐることは確かと見て間違ひありませんから、一度サーヴィスにかけて良く清掃して置ませう。埃をそのままにして置くことは、エンジンにとつては最も大敵です。更に秋の用意としては、暮れ易いのと時雨に見舞れることが多く、従つて電流を費し勝ちとなりますから、充分注意しなくてはなりません。

栗拾ひ 中旬過ぎれば栗拾ひの盛りとなります。

茸狩り 續いて茸狩りですが、更に芋堀り、柿拾ひと、秋の收穫を追つて賑やかにドライブするのも一興でしょう。

高原 待たれたた高原のドライブが訪づれました。ハイキングを兼ねた所謂オートハイキングは若人にとつては誂へ向きのものでしょう。

讀書 と云ふと變ですが、自動車を飛ばして高原から峠、さては人靜かな濱邊を求め、ゴロリ寝をべつて二・三時間を讀書に過ごし、飽きるとさつと一と走り……と云つたことが流行り出しました。

ドライブの月九

10月

いつしかもう深い秋に變つてゐた……。峠に紅葉見物の車を飛ばして、失望して歸ることが往々ある程、往く秋の足は速い。高原の観楓を終へると、既に温泉巡りが戀しくなるでしょう。

十月は、一年を通じ最もドライブに恵まれてゐます。花と紅葉と稔りと、その上に氣候は澄み、

春の如く埃が多くはないし、いやが上にも氣分が落ち着くからです。行樂によし、遠出によし、早朝から夜をかけての旅行にも厚着をする必要もなく、従つて最も多くタイヤが減り、ガソリンを食ふ季節です。他郷の俱樂部との交歓もよろしいし、本土一周の計畫を立てるのも此の際です。友と遊ぶのも、子供を伴れて遊山氣分で軽く走るのも面白く、わけて食後一時間のドライブは、正しく文化生活の並行線を描くものと云ふことが出来るでしょう。

ドライブの月十

紅葉探勝

何と云つてもこれが十月の筆頭に上せるべきもの、而も平凡さを捨て、未開の秋を發見するところにドライブの妙味があるのです。

ピクニック 野の花を求め、清冽な流れに添ふてのオートピクニックは、文化の香りのいと高きを感じるでしょう。

銃獵・釣 銃獵も釣も愈よシーズンとなりました。何れも自動車があることの如何に便利であるかは既にご承知の筈。此處等が自動車利用の一つのポイントともなるわけです。

11月

峠に霜を見る頃ともなれば、溪谷を分け、山岳を縦断しての探勝ドライブが始まるのです。ピクニックも、周遊も一と通り終へ、勇壯な自然開發の快舉は隨所に展開するでせう。探勝コースが最も多く現はれるのは實に十一月なのです。一般的には麓の紅葉遊覽か、菊見と云ふところ、その何れにてもよく、一・二ヶ所の「私のコース」を選定しやうではありませんか。強ち奇を追ふのみがドライブコースの規ひ處ではありません。如何にしてドライブの氣分を満足するか、目標なのですから、案外手近な場所に短篇的コースがあるかも知れないのです。

すばらしい秋のドライブに刺戟されて、オーナーの列に参加しようと思ひますが、かゝる人々で、セコンドハンドをお求めになりたい方は今が買ひ時です。明年の新型のニュースがチラホラ見え始めたでしょう。

観菊

秋となつて菊作らうと思ひけり、懸崖の一と鉢位欲しいと思ひませんか。遠方此方の菊の名所をたづねて氣紛れ半分のだかなドライブも俳味があつて面白いではありませんか。

溪谷美

紅葉をとり入れた溪谷美は夏とは異つた風趣のあるものです。殊に溪谷に温泉を取り入れることが出来れば今月の王座に据るべきものです。

釣

釣りは全く最盛期、海陸到る處案内所があり、半日ドライブ、半日釣は理想的な一日の清遊です。

ドライブの月十一

12月

師走、木枯と年の暮が一時に訪づれると、何となく日常も騒々しくなつて來ます。我が愛車も、ともすれば此の騒音の中に消え勝ちですが、然し折を見て、又は日曜を選んで温泉場へ一と走りしなくては承知出來ないでしょう。

たゞ一つ見逃せないのはスケートです。北國の冬は早くも池水を凍結してゐます。夜の氣象通報を聞いた上、早朝出發してリンクへ向ふのは、十二月の唯一つの楽しみと云はなくてはならぬでしょう。然しそれには、一と通りの車の注意を怠つてはなりません。冬特有のエンジンのスタートの緩慢、オイルの凍結等、早春の候にある如き手入れを忘れたがため、とんだ失策を演じることがあります。更にルームには毛布一枚準備して置くこと、スリッパ防止のタイヤチエーンは忘れてはなりません。

十二月のドライブ

温泉行 休暇を利用しての温泉巡りもよく、一泊の温泉地行は十二月の生活に一つの潤ほひを齎らすものと云へます。

雪見・スケート・スキー

歳末 これはドライブと云ふには少々氣後れの感じですが、歳末の買ひ出しに又は用足しに、自動車が無事に便利重寶な役割を果たすか、これと對蹠的な師走の觀劇に、歌留多會に、明年は相當濃厚な新自動車風景を見せるであらうと興味と期待の裡に歳を重ねやうではありませぬか。

全

國

花

の

名

所

經濟的な操縦法

運轉の上手と下手とは、運轉經濟上非常な相違を起すことになりす。而して純運轉經濟と云ひますと、大部分はガソリンに影響しますので、主としてガソリンを中心とした經濟的な運轉方法を述べることにします。

一體上手と下手とはガソリンがどれ位違ふかと云へば最高一五パーセント違ふと云ひます。十五パーセントと云へば、一日五ガロンとして〇・七五ガロンとなり、一ガロン四十三錢として三十二錢餘りといふ計算となりますから伸々馬鹿にならぬものです。

では運轉の上手と下手はどう違ふか？ これは結局注意の相違と云ふだけのこと、別に難かしい技術關係等はありませぬ。誰れでも平常の僅かな注意で、小型自動車で一ケ年四、五十圓、大型では三百圓位違ふことになるわけです。これから見ると、自動車税の少し位高い等は問題とならぬとも云へませう。

◇ 相當高速運轉で ◇

どの車にも經濟標準速度と云ふものがあり、速度を出し過ぎてても運過ぎてても不經濟となりすが、まづ小型ですと三〇キロ、大型五〇キロ程度を經濟速度と云へませう。従つて經濟的に云へば或る程度高速を必要とすることになります。

◇ 惰力の利用 ◇

惰力を利用することは最も必要ですがと云つて此のためわざと吹かすことではありません。要は餘剩速力を利用することで、此のため人混、交又點等では特に注意が肝要です。停止状態から進行状態に移るには三倍乃至五倍のガソリンを要します。

◇ 空廻轉を避ける ◇

極力エンジンの空廻轉を避けねばならぬことは當然ですが、それかと云つて少時の停止にエンジンを通り止めることは不經濟となり時間を冗費します。

◇ 制動機の注意 ◇

制動機の使用度数をなるべく少なくすることは大切ですが、無暗にスピードを出すことは禁物です。

◇ クラッチの作用 ◇

クラッチは完全に作用せしめ、半クラッチは絶対避けなくてはなりません。

◇ 調整 ◇

スパークレバー、スロットルレバーは常に調整し適當の位置にをなくてはなりません。

◇ 混合氣 ◇

混合氣の調整はスクリユーで行ふのですが、スクリユーを締める時混合氣は薄くなり、反対に緩めると濃くなります。運轉中混合氣の濃度には堪えず注意し、加速の時「クシヤミ」を起さぬ程度に、高速の場合ガソリンが濃過ぎるとメーターリングロッドを替へなくてはなりません。

◇ 道路の關係 ◇

アスファルト道が最もよく、然し舗裝の粗悪なアスファルト道は良い砂利道よりも劣り、舗木道は砂利道と大した變りはありませんが、煉瓦道は最も結果が悪いやうです。

◇ タイヤ ◇

ガソリンとは別ですが、左右のタイヤを取り替へると長持ちがし、軌道の上を走ると摩擦が多くなります。

◇ ドライヴの智識 ◇

●●● 疲 勞 ●●●

ドライブすると如何に疲勞するかについて、慶應大學醫學部教授加藤俊男先生の發表によると、二〇〇哩走つて體重は僅かに五〇〇グラム位より減らない。體温も二三分より上昇しないから、一般的なスポーツ、労働等に比し身體の疲勞は極く少ない。

然しドライブの後には確かに疲勞を感じるが、これは何故だらうか。

これは精神的疲勞が肉體に感じるのである。ドライブすると視力、聴力、感覺等が甚だ鋭敏となり、時に雲を山と見たり、立木を人間と見る錯覺を起すことがあるが、其の證據には、乗車中眼を開いてゐる時と閉ぢてゐる時とは、脈膊や血壓の状態が異つてくる。要するにドライブ中の外界よりの刺激が精神的疲勞に陥り、これを肉體に作用した如く感じるのである。

●●● 恢復の方法 ●●●

ではドライブの疲勞は如何にして恢復するかと云へば、入浴が最もよい。入浴すると緊張してゐた末梢神經及び中樞神經は一度に弛緩し、血液循環が旺盛となるためこれが肉體に作用し、而して精神的疲勞恢復を促す。

更にドライブすると皮膚に埃が附着し易く、此のため知らず知らずの間に皮膚の呼吸が低下するから、此のためにも入浴することは絶対必要である。

●●● 運轉の姿勢 ●●●

運轉席は自分の軀長と適合させることが必要である。疲勞が少なくし、操縦が容易であるから、事故の率も少ない。

腰から上下の角度は、大體シートの角度に添つてゐればよいが、その人の體軀によつて調節すればよい。中腰の状態で運轉することは絶対禁物、急停止とか、他より衝動を受けた場合身體が崩れて不測の怪我を起すことがある。

シートが廣く且つ深過ぎ、而もシートの調節のとれない場合はクッションを入れよし、長軀のドライブアーは片腕を窓にかけると樂であるが片手の操縦は決して衰めたことではない。

運轉中の心得

●左バツク

左バツクは右ハンドルの車では後ろが見えないので却て厄介ですがハンドルを切り過ぎぬことが何より大切です。曲らうとする道幅にもよりますが車の二倍位の道幅の道路へ曲らうとする時には、操縦者の眼の位置が角から一尺位離れた頃にハンドルを一杯に切るやうにすればうまく曲れます。早くからハンドルを切ると左側が角につかへるやうになります。

●方向轉換

一本道路上での方向轉換では、切り通しを最少二度はしなければなりません。此の際、道路を一杯に利用することを心掛けなければなりません。道路の端に車がつき當ると思はれる位までにするべく、寄せてから切り返すことです。そうでないと、切り返しの度敷のみ多くなつて来て、而も

まく曲れません。それから切り返しを行ふ時には、車が止るホンの直前に、ハンドルを逆に切つて置くことが大切です。そうすれば、切り返しの際に、ハンドルの切り方がおくれることがなくなります。たゞ、生

ハンドルの絶対には避けなければなりません。門とか入口とか、少しでも角のやうな所があれば、之を利用すると、方向轉換が非常に容易になります。そこに一度バツクすれば、一度の切り返して、充分に轉換が出来ます。

●ロータリー

ロータリー設備のある街角を右に曲る時には、早くから右曲りの信號(方向指示器)をして、右方に注意して、徐々にロータリーの縁に寄つて行くことです。ロータリーだから危険が無いと思つて急に曲ると、右から来た車につき當ることがあります。自

動車の交通が頻繁な所であればロータリーを設備しないのですから、他車の防害にならぬやう、事故を起さぬやう充分に注意すべきです。

●十字路

交通の頻繁な十字路での操縦は一番厄介です。特に右廻りは危険ですから、慎重な態度で行はなければなりません。交通取締規則でも、左側に一旦停車して、交通の開かれるのを待つて進行を開始すべしと明示してある通り、左側に一度車を止めて危険がないやうになつてから右廻りをしなければなりません。此の車を停止する位置が初めての人には却て見當がつかない。曲らずに真直ぐに進行する車の邪魔にならぬやうにづつと左によるやうにするのです。道路の中央に止つて、その後を他の車が通るやうになると危険の上ない話で、動くも退くもなくなりますが、ですから左側により過ぎたと思はれる迄に寄つて差支へありません。僅かの研究によつてこれ位の便利を齎らすことになります。

ドライヴ二十訓

- 〔一〕診断は健康のもと
車の點検怠るな
- 〔二〕癖を知れ
癖を知ると御し易い
- 〔三〕應急の用意
ガーゼ、綿、絆創膏、ブドー酒
- 〔四〕経験に聞け
コースは経験者に聞け
- 〔五〕繩を忘るな
タイヤの入り止め車輪の引揚げ
- 〔六〕ガソリンを濫に
一升持てば絶対安心

〔七〕軌道は鬼道

タイヤを減らし身を減らす

〔八〕クラクションを持つて

山や峠では遠慮はいらぬ

〔九〕抜くな譲れよ

抜くは怪我のもと

〔一〇〕起すな眠れ

眠くば眠れ三十分

〔一一〕近廻りより遠廻り

近廻りは衝突のもと

〔一二〕保険は保健

車の保険は保健に通ず

〔一三〕一人て乗るな

同乗車は同情者と知れ

〔一四〕眼の置きどころ

前方三十米に半圓を描け

〔一五〕速度を守れ

出し過ぎに得なし

〔一六〕避けるより當れ

難所は下手に避けるな

〔一七〕地圖は良き友

地圖は唯一の良友なり

〔一八〕車を寝かせよ

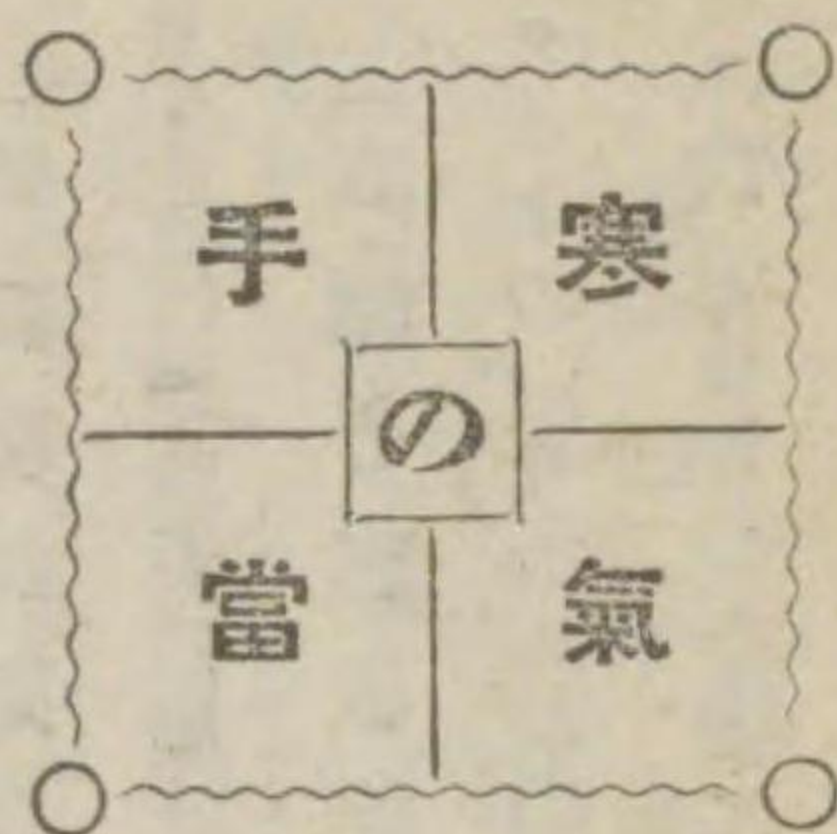
自分より先に車を寝かせよ

〔一九〕入浴をせよ

疲労恢復の妙薬と知れ

〔二〇〕工具は保護者

工具は車の保護者なり



我が國では、冬季早春の寒氣が自動車に相當影響するから、充分注意しなくてはならぬ。夏はせいとエンジンが焼ける程度であるが、冬になると種々厄介な問題が起つて来る。注意すべき二三の事項を掲げると

冷却器

冷却器中の水が凍つたためパイプが破裂した等の例も多々多い。これを防止するには壓力の高度なラヂエーターを使へばよいわけだが、一般的には「アンチ・フリーズ」を使ふとよい。然しこれは伸々高價なものであるから、使用に先立つてパイプやコラー等の漏洩をよく注意しなくてはならぬ。又アンチ・フリーズが氣筒内に入ると、曲柄室内に膠着を起すことがある。

我が國では一般にラヂエーターグリセリンを使つてゐるが、これは防錆作用をも兼ねる。又かゝる用劑の調達に困る時は、砂糖を一振り混入すればよい。

近頃はサーモスタツトが一般化されてゐるのでこれは甚

だ結構なことであるがラヂエーターシャツターやラヂエーターカバーも悪くはない。

油料

ガソリンには絶對水分を近附けぬこと水は凍結し易いから、時にガソリンの流出を阻むことがある。従つてドレーンコックを時折開いて水を抽出しなくてはならない。

又ガソリンは特に品質の上等なものを選び、潤滑油は凝固し易いからこれも優良品を選ぶことが肝要である。

電気

凍結とは何等關係がないが、冬季は日中短く天候不順のため電流を使用する量が多く、更に電動始動も激しい。だから幾分充電率が高まるやうにダイナモをアジラストしなくてはならぬ。

保温器

最近各種保温器(ヒーター)を使用するやうになつたが、これに伴ひ換氣に相當注意を要する。又寒氣のためジョイント等が弛み勝ちで此のため悪瓦斯や臭氣がルームに侵入し、頭痛や嘔吐を催すことがあるので注意を要する。

之だけの注意は是非必要

誤つて自動車で人を轢いた時、若し被害者が立ち上つて動くことが出来れば、直ちに最寄りの病院へ連れてゆかなくてはならぬ。

若し被害者が重傷で動くことの出来ぬ場合は、加害者が自動車で醫師を迎へに行かなくてはならぬ。

例へ負傷者が動かさずに呻つてゐても、必ずしも重傷とは限らない。被害者の方で、人を安心させるために苦痛を忍んで立ち上つてくれるのはあまりない。

最初被害者が驚愕から快復する迄、しばらくそのまゝとし、手を下すことなくそのまゝ、瞬時見てゐる方がよい。而して實際重傷と解れば、少しも動かさないで置く。こんな時に動かすと、却つて悪化することになる。但し

道路の眞ん中の事故なら、人手を借りるなりして通行の邪魔にならぬやうにしないで、然らぬが、出来るだけ動かさぬやうにしないで

はならぬ。

注ぎ込んでゐる人の口へ、ブランドー等を注ぎ込んだ時、心臓の弱つた時に用ひるとよいが、それは負傷者が飲み下すことが出来る場合に限り、失神してゐる者にこんなものを注ぎ込むと、時に窒息させたり肺炎を起す憂ひがある。

顔色が蒼白になつて氣絶してゐる者を持ち上げてはならない。頭を下げて、頭へ血液が循環するやうにしないで

被害者が驚愕した時、又は興奮劑を與へる注意は述べたが、胸部を冷すか、温めるかし、又は四肢を温めることは、血液の循環及び神經作用を敏活ならしめる。

然し驚愕の症候、即ち顔色蒼白となり脈搏が不規則に

それが次第に進み、又は被害者の容態が穏やかならず、呼吸が苦しきうになれば、十中の八九は内部出血であるから、少しも動かしてはならない。

手當てとしては、兩腕と兩腿の附根の處をきつく縛つて置けば、四肢に血液を留保して、内部出血の起つた部分の凹所が、血液で壓迫されることを防ぐことが出来る。

此の手當てには、伸縮するゴム紐が一番よい。然し大事なことは、醫師が来る迄絶對安靜を保たなくてはならぬ。

血管が潰れた場合には、外部へ出血しないものであるから、自動車に轢かれた時は、傷口がどんなに大きくても、外部へ多量に出血することは少ない。自動車で受ける傷は大抵打撲傷、擦過傷、裂傷等である。

傷口に手を觸れることは絶対いけない。水か、さもなければ湯をかければ、土や芥は取れる。清潔なハンカチに純粹なベンゼンをつけ、傷口のまわりを拭くのが最もよい。

ヨードホルム一%と、パラフィン二五〇%をベンゼン

で鎮痛してやらなくてはならぬ。小さき火傷なら、油、バター、クリーム等を塗つて繃帯して置けばよい。硼酸軟膏は火傷によいが普通外皮火傷に用ひる。

脱臼又は挫傷の時は、動かすと痛むし又害になる。知識のないものが無理に動かして、單純な挫傷を大事にしてしまふことがある。

一番よい方法は、被害者が最も苦痛を感じない位置に据え、支柱か副木でその位置を保つとよい。

即席の間に合せとしては、丈夫な方の脚で傷ついた方を支へて置くのがよい。

又腕の上部が挫傷した時は、胸にその腕を縛り附けて運ぶとよい。二本の木か竹に大形の毛布か膝掛けをつければ、即席擔架が出来る。擔架で運ぶ時は、衣服等を巻いて被害者の體に當て、動かないやうにして置く。

口、鼻、耳等から出血するのは、腦挫傷かも知れないから、餘程氣をつけなくてはならぬ。醫師が来るまでそのままにして置くが、徐々に半身が麻痺して半身不隨

に混じたものは、世界中何處の醫師でも用ひてゐる。

清潔なハンカチ、又はタオルは消毒品と見なされるので、傷口に付けるのは必ずこれでなくてはならぬ、ガーゼを持つてゐればこれにこしたことはない。

ハンカチかガーゼの上へ綿を載せれば出血を止めるが綿を直接傷口につけてはならぬ。

小さい傷口なら、膏藥を切つて綿の上から貼つて脱落を防ぎ、大きな傷は無論繃帯しなくてはならぬ。

こんなものはいつでも手許にあるとは限らぬので、ハンカチやタオルを裂いて括ることだ。

防腐劑を用ひる必要はない。場合によつては、こんなものを用ひたゞめ、却つて皮膚を刺戟し、全快期を遅らすことがある。

傷口を押さへる布に、石炭酸を用ひることも禁物、時には此のため脱疽になつて、指位無くすることがある。

火傷した場合には……全身の半分以上になると大變である。苦痛が非常なものだから、直ちにモルヒネを用ひ

になると、それは頭蓋内部の出血である。

脊骨の挫傷も下半身の麻痺するやうな挫傷、大小便の放射等のある場合には安靜が第一である。

若し挫傷のため皮膚や肉が破れてゐると、注意しないと不潔物のため手足を失ふに至ることがある。

胸の上部を自動車で轢かれても、鎖骨が折れて打傷を受けるだけで済むことがある。それは短くて強い肋骨と肩脾骨に保護されるからである。

然しその下にゆくと、長くて脆い肋骨が兩方の肺と心臓の下部を保護してゐるだけであるから、此の邊をひどくやられると助からぬ程の重傷になる。

こんな傷害だと、二・三時間以内に開腹手術を行へば助からぬこともないが、時間が経つと、まづ駄目である。胃、肝臓、脾臓、膽、膀胱等、すべて内臓の脱出は、

直ちに手術さへすれば成功するものである。こんな場合には、被害者の口からは何物も入れてはならない。

外見上、車に轢かれて打傷があるのみで、外に何も傷

は見えないが、顔面蒼白、嘔氣を催し、激烈なる苦痛、極端なる柔軟、腹壁部の筋肉硬直、薄弱急速で時々聴き取れぬ脈搏、不安靜、沈衰等の徴候を現はすと、大ていそれである。

腹部の凹所を切開し、直ぐに内臓を縫ひ合せて洗滌する外道はない。

然し時によつては、傷口が重複してゐたり、傷口が面倒になつてゐたりするから、手術が非常に難かしく、餘程熟練した醫師、良い助手、便利な處と三拍子揃はぬと望みがない。

而も一・二時間の中に手術しなくてはならぬから膝と臀とをぐつと曲げた半座のまま、自動車で運ばなくてはならぬ。自動車は出来るだけ動揺しないやうに運轉して、終りに非常の場合の用に供するものを列記するから、いつもこれだけは車中に用意して置きたい。

ガーゼ ▲綿 ▲縲帶 ▲絆創膏 ▲硼酸軟膏 ▲鉄 ▲良い強い
コーヒー ▲葡萄酒少量

法...見...發...障...故...

車をたへず使用して熟達することは、俗に調子を呑み込むと云ひますが、此處まで來ると「ドライブ」の味をしみじみと感ずることが出來ます。

しかし長い月日の間には巖礁も波のために姿を變へるやうに、まして機械のことですから調子が異つたり、又不注意のために具合の悪い個所の出來ることは避け難いところである。こんな場合『大したこともなからう』位に考へて押して運轉してゐると、最初僅かの手入れで済むものが意外に大きな故障になつたり、思ひも寄らぬ災厄を招くことがないとも云へません。

だからたとへ何處か變な音が發した場合でも、直ちに停車して原因を突き止め、それが不良な状態にある時は、その部の修理をなしそれでも安心出來ないと思ふ場合は、直ちに

子供はルームへ

ドライブする時、子供を運轉席へ載せる方が多いやうですが、子供はなるべくルームへ載せて下さい。子供が運轉席にゐると、足や手を絶えず動かして操作の邪魔となり、又危険な個所では喜んで立ち上る癖があり、又無暗と把手持つ人に話しかけるから、運轉上非常に危険が伴ひます。

主人がドライブし、夫人、子供、女中と同行する時は運轉席へは主人と夫人、ルームには子供と女中を載せるのが一番よろしいのです。止まれば夫人もルームへ乗り替えて下さい。

友人とドライブする時は、最も親しい友達を運轉席へ、これはドライブの作法で、別に危険とか何とか云ふわけではありません。友人にドライブさせて、自らルームに納まる如きことをすれば、非禮の最たるものとなります。

最寄の自動車修理工場なり、販賣店のサーヴィスを利用することが萬全の策です。

其處で簡單に見分けのつく故障發見法を述べて参考に供しますと、

▲前車輪、換向機の故障は「ハンドル」に異様の手應へが起ります。

▲後車、軸輪の故障は座席の下部若くは變速筐に異常を感じます。

▲傳導機、變速機の變調は、發着又は速力變換の場合に支障となつて現れます。

▲制動機の故障は緩急に圓滑を缺く時既に起つてゐます

發動機の始動せぬ場合

- 一、ガソリンを使用し盡した時
- 一、ガソリン・タンクの下のコックが閉つてゐる時
- 一、發火栓又は配電器の連結が緩んでゐる時
- 一、點火用スイッチがは入つてゐない時
- 一、ガソリン供給管が閉塞してゐる時

府縣別自動車臺數

昭和九年十月末日現在

種類	乗用車	貨物自動車	特殊用途自動車	計
北海道	一、三三二	九三三	五	二、三三九
青森縣	六八	三〇〇	四	九四二
岩手縣	四九一	三〇九	一五	八四五
宮城縣	八四三	四七三	四七	一、三五三
秋田縣	四七三	一三三	九	六一五
山形縣	六八	三三	五	一、〇七
福島縣	九三	五九	六	一、五八
茨城縣	一、三〇三	七九	六	二、一〇七
栃木縣	一、一七一	四〇〇	四	一、五七九
群馬縣	一、〇九五	七九	四	一、〇九八
埼玉縣	一、二七七	一、〇五	五	二、三三九
千葉縣	一、二七	一、〇〇	五	二、二八二
東京府	一七、四三三	八、五八三	三二	二六、〇四七
神奈川	三、〇九一	一、八四三	六	五、〇九
新潟縣	一、三三八	九三	六	二、二一六
富山縣	四二	五	一	八七

石川縣	六〇五	四〇三	三	一、〇三六
福井縣	四三〇	二五〇	三	七〇七
山梨縣	五七六	三三四	一	九一〇
長野縣	一、〇八二	七五〇	三	一、八三三
岐阜縣	八八一	七五五	六	一、六四二
靜岡縣	二、三六七	一、四五五	三	三、八三七
愛知縣	二、八三三	一、六九八	三	四、五三三
三重縣	九三四	六五〇	五	一、六三三
滋賀縣	五九九	四七六	三	一、〇七六
京都府	二、四九三	一、〇八三	一	三、五七六
大阪府	五、〇三三	三、九六五	一	九、〇〇
兵庫縣	二、六九五	一、四七五	五	四、一三五
奈良縣	四三三	四三	一〇	八七六
和歌山	六四	二二	四	八八〇
鳥取縣	二八〇	一四七	三	四三〇
島根縣	四七	三三	三	七六二
岡山縣	一、二二二	七三六	三	一、九六二
廣島縣	一、四三九	六二二	五	二、〇六六
山口縣	一、〇三〇	三六五	三	一、三九八
徳島縣	四七	三三	八	七七七

香川縣	五九	三六	七	一〇二
愛媛縣	四〇	三六	五	七九
高知縣	五九	三九	三	九三
福岡縣	二、四六二	八〇	一〇〇	三、三六二
佐賀縣	六七五	一七五	八	八五八
長崎縣	七五	三六	三	一一四
熊本縣	一、〇〇	四四	三	一、四五
大分縣	九二	三三	二	一二五
宮崎縣	六〇	二八	二	九三
鹿児島	七九	三三	三	一一五
沖繩縣	一四	一〇	四	二八
内地計	七、四八六	三、四一六	二、一三三	一〇、〇三五
朝鮮	三、四九	二、四八	三九	六、二一六
臺灣	二、一四	七五	一三	三、〇六六
關東州	一、五〇	五九	一八	二、二四九
及滿鐵	二〇三	一三	三	二一六
南洋	九	三	一	一二
内地外	七、七〇	三、九一	二、二五	一〇、九六六
領域計	一、〇三〇	三六五	三	一、三九八
合計	一、〇三〇	三六五	三	一、三九八

操作の葉

●左バツク——左バツクは右ハンドルの車では後ろが見えないので却て厄介ですが、ハンドルを切り過ぎぬことが何より大切です。曲らうとする道幅にもよりますが車の二倍位の道幅の道路へ曲らうとする時には、操縦者の眼の位置が角から一尺位離れた頃にハンドルを一杯に切るやうにすれば、うまく曲れます。早くからハンドルを切ると、左側が角にかへるやうになります。

●方向轉換——一本道路上での方向轉換では、切り通しを最少二度はしなければなりません、此の際、道路を一杯に利用することを心掛けなければなりません。道路の端に車がつき當ると思はれる位までにすれ／＼に寄せながら切り返すことです。さうでない、切り返しの際の端のみ多くなつて来て、而もうまく曲れません。それから切り返しを行ふ時には、車が止るホンの直前に、ハンドルを逆に切つて置くことが大切です。さうすれば、切

り返しの際に、ハンドルの切り方がおくれることがありません。たゞ、生ハンドルは絶対に避けなければなりません。門とか入口とか、少しでも角のやうな所があれば、之を利用すると、方向轉換が非常に容易になります。そこに一度バツクすれば、一度の切り返して、充分に轉換が出来ます。

●ロータリー——ロータリー設備のある街角を右に曲る時には、早くから右曲りの信號（方向指示器）をして、右方に注意して、徐々にロータリーの縁に寄つて行くことです。ロータリーだから危険が無いと思つて急に曲ると、右から来た車につき當ることがあります。自動車の交通が頻繁な所であればロータリーを設備しないので、すから、他車の防害にならぬやう事故を起さぬやう充分に注意すべきです。

●十字路——交通の頻繁な十字路での操縦は一番厄介です。特に右廻りは危険ですから、慎重な態度で行はなければなりません。交通取締規則でも、左側に一旦停車し



て交通の開かれるのを待つて進行を開始すべしと明示してある通り、左側に一度車を止めて危険がないやうになつてから右廻りをしなければなりません、此の車を停止する位置が、初めての人には却て見當がつかない。曲らずに眞直ぐに進行する車の邪魔にならぬやうに、と左によるやうにするのです。道路の中央に止つて、その前後を他の車が通るやうになると危険この上ない話で動くも退くもなくなりません。ですから左側により過ぎたと思はれる迄に寄つて差支へありません。

◇車の診断◇

身體に適時健康診断が必要な如く、自動車にも時々診断の必要なことは云ふ迄もないことでしょう。

病氣でも、早期診断によつて早く治癒することが出来るやうに、自動車の故障でも、これを早く発見して手當をすることは、自動車の壽命をそれだけ永く保つことに

なります。では自動車の健康診断はどうしたらよいかと申しますと、近くのサーヴィス工場、又は買ひつけの販賣店等につき、毎月一回エンジンを調整して貰ふことです。無論サーヴィスマンの手によつて、その車を少時運轉して貰ふことも大切です。これによつて不良個處があれば直ちに修理すれば、大きな事故を起したり、思はぬ故障を起す等と云ふことはありません。又毎月一回エンジンの調整を行ふ位の費用は僅かなものですが、注意しなくてはならぬことは、家庭に侍醫がある如く、一定したサーヴィスにかけることです。さうすれば車の癖や缺點をよく呑み込んでみますから、遺憾なく愛車の健康診断を行つてくれます。

此の代りに、一泊又は長距離のドライブをする前に、必ずサーヴィスにかけて調子を整へるやうにするのもよい方法です。外國等では、長いドライブに出る時には、一時サーヴィス・エンヂニヤーの手にかける人が多いやうです。

ドライブの疲勞恢復法

自動車を運轉したり又は單に乗つたりしたのみでは大して體に影響はない。即ち運轉するとしても大して肉體の運動とならない。故に自動車の操縦といふ事は肉體運動でないから、これを以つて直ちに他の野球とか、フットボールの様なスポーツと同一に扱ふ事は出来ない、且運轉は一人のみだから、共同作業といふ事がない。而して他の理由で自動車は立派な一種のスポーツであるがその議論は茲では論じないが、ドライブそのものが決して勞働でないといふ事は二百哩位走つて體重は僅に五百瓦位より減じないし、體温も二・三分より上昇しない。これをランニング等に比ぶれば全く問題にならぬ。疲勞の一つの規準となる白血球の増加に於ても亦非常な差がある。

ドライブは以上の如く肉體的方面からのみ見ると他のスポーツとは全く異つて疲勞といふものがない様である。而しドライブした後は確に疲れた感がする。

この原因は精神的のものが大部分であつて、精神的の疲勞が逆に肉體的にも影響を與へるのである。

即ちドライブすると視力、聴力、感覺等が甚しく鋭敏になる。一例を挙げればエンジンの音を聞いてゐる時と、市中の雑音を聞いてゐる時とでは注意力に大きな差がある。又眼を開いて車に乗つてゐる時と眼をつむつてゐる時とでは脈搏や、血壓の状態が異つてゐる。又精神の疲れた現象として時々錯覺を起し雲を山に見たり、立木を人間に見たりする。

要するにドライブ中は外界の刺激によつて感覺器が極度に緊張してゐる。その結果精神的に大なる疲勞を來すのである。

従つて疲勞の恢復法も、單なる肉體の場合とは異つてゐる。肉體的の場合には糖分を多く攝ればよい。即

甘い菓子でも食べればよいが、精神的の場合にはキャラメル位食つては恢復しない。最良の方法は「入浴」である。入浴はドライヴした後の最良の健康法である。湯に入ると今迄緊張していた末梢の神経及中樞神経は一度に弛緩して、血液循環が旺盛となつて肉體的疲勞が恢復すると共に精神的方面も速に復舊して来る。

加ふるにドライヴすると目に見えない様な塵芥が皮膚に付き且夏期等は風を入れて走るので一見して汗は出ない様でも風によつて汗は目に見えない様に出てゐてこれに塵が付いて自然と皮膚呼吸が低下してゐる。水で肌を拭つた位ではなか／＼とれないのが湯に入ると忽ちにして清淨となる。この意味に於てドライヴの目的地を温泉場とする事は誠に結構な事である。

X
X
X

……
ドライ
ヴァー
必讀法規集
……

運 轉 注 意

- 一、自動車取締令、同施行細則、交通取締規則其の他交通關係法規を研究し、常に法規に違反せぬやう心掛けねばなりません。
- 二、自動車運轉中は必ず運轉免許證を携帯せねばなりません。
- 三、自動車を運轉して故意又は過失に因り人を傷害し又は物件を損壞すると運轉免許の取消又は停止を受けることがあります。
- 四、交通事故を起したときは被害者の救護其の他に付き必要な應急の措置を爲すは勿論、警察官吏に直ぐ事故の届出をせねばなりません。
- 五、高速度自動車は市街地又は人家の連つてゐる道路では最高速度毎時四十軒、低速自動車(車輛の後部に三

角の標示をなすもの) 最高速度毎時三十五軒でありませぬ。

- 六、運轉者は(五)の最高速度の範圍で道路の状態及び交通の状況に應じて公衆に危害を及ぼさない程度の速度並に方法を以て運轉せねばなりません。
- 七、道路の交叉點、曲角、急坂路、隧道又は幅の狭い橋梁等では勿論、濫りに他の自動車を追越してはなりません。
- 八、方向の轉換、徐行、停止又は後續車輛を追越させるときは、方向指示器又は手信號で正しい合圖をせねばなりません。
- 九、交通整理の行はれない道路の交叉點で異つた方向から同時に他の自動車と出合つた場合には左方の自動車に進路を譲らねばなりません。但し小道路から大道路に入る場合は左右に關係なく必ず大道路の自動車に譲らねばなりません。
- 一〇、消防自動車又は救急自動車が接近して來たときは

- どんな場合でも道路の左側端に直ちに避け、其の進行の便宜を圖らねばなりません。
- 一一、鐵道又は軌道の踏切場所では一旦必ず停車し、安全な事を確かめた後でなければ通過してはなりません。
- 一二、自動車を駐車若は停車させる場合は交通の方向に従つて道路の左側端であつて、交叉點、曲角、横斷歩道又は安全地帯の左側等の様な交通妨害になる場所以外を選ばねばなりません。
- 一三、電車が停車して乗客が乗降中は其の側方を通過してはなりません、但し安全地帯がある場合又は電車の左方に自動車との間に一・五米以上の間隔がある場合には徐行しても差支へありません。
- 一四、濫りに騒音又は爆音を立て、はなりません。
- 一五、運轉中惡臭若は有害の瓦斯又は煤煙を多量に發散させてはなりません。
- 一六、酒氣を帯び又は喫煙しながら自動車を運轉してはなりません。

- 一七、自動車の積載には左の各項を守らねばなりません
- イ、車輛の安定を失ふやうな積み方をしないこと。
- ロ、運轉操作に困難な積み方をしないこと。
- ハ、運轉上必要な視野を妨げる積み方をしないこと。
- ニ、検査證に記載してある乗車定員又は最大積載量を超過しないこと。

車輛検査

- 一、自動車は車輛検査を受け、車輛検査證及鑑札番號の交付を受けた後でなければ運轉してはなりません。
- 二、車輛検査を受けない自動車(検査證の有効期限の経過したものも含む)を運轉する場合は警察署の許可を受け、其の許可證を携帯し、一時運轉許可標板を標示せねばなりません。
- 三、自動車を運轉する場合は其の車輛検査證を規定の個所に標示して置く必要があります。
- 四、車輛検査證の有効期間を経過して運轉してはなりません。

- 五、有効期間の満了後も引き続き自動車を使用し度い場合は繼續検査申請書を提出し、係の認印を受けたる後車輛検査所に往き、検査を受けねばなりません。
- 繼續検査申請書は有効期間満了前三十日以内に受付検査は毎日午後三時頃迄施行してゐます。
- 六、自動車の使用を廢止し又は車輛検査の有効期間満了した場合は検査證返納届に検査證を添へ届出せねばなりません。
- 返納届には市、區、町村役場の奥書(役場にも鑑札と共に廢車届を提出すること)が必要であります。
- 七、自動車の讓渡、住所變更其他検査證記載事項に變更のあつた場合等は届出で検査證の書換を受けねばなりません。
- 此の場合も市、區、町村役場の奥書が必要あります。

* * * * *

要塞地帯の心得

駿足をもつオーナーは何處へ行つても、思ふ存分にカメラを働かすことが出来ますけれども、常識としても知つてゐなければならぬほんの一寸した事に、うつかりして思はぬ災難に一日のドライブを滅茶苦茶にしてしまふ事があります。

陸軍の要塞、海軍の軍港、要港附近は國防上重要な場所であるから、撮影する事は禁止されてゐます。

- 一、「東京灣要塞地帯」 房總半島の東京灣沿岸の一部、横須賀、葉山、逗子附近(鎌倉附近は概ね撮影自由)
- 二、「大湊要港」 青森縣大湊附近
- 三、「函館要塞地帯」 北海道函館青森縣大間岬附近
- 四、「由良要塞地帯」 淡路島の東西南端由良海峡和歌山附近
- 五、「舞鶴要塞地帯」 京都市府舞鶴附近

- 六、「下ノ關要塞地帯」 關門海峡附近
 - 七、「壹岐要塞地帯」 壹岐肥前半戸附近
 - 八、「對馬要塞地帯」 對馬嚴原及北端佐須郡附近
 - 九、「佐世保要塞地帯」 佐世保佐伯灣附近
 - 一〇、「長崎要塞地帯」 長崎附近
 - 一一、「鎮海灣要塞地帯」 朝鮮鎮海灣附近
 - 一二、「永興灣要塞地帯」 朝鮮永興灣附近
 - 一三、「澎湖島要塞地帯」 臺灣澎湖島附近
 - 一四、「基隆要塞地帯」 臺灣基隆附近
 - 一五、「旅順要塞地帯」 大連旅順附近
 - 一六、「豐豫要塞地帯」 豐豫海峡佐田岬佐賀附近
 - 一七、「小笠原父島要塞地帯」 小笠原島、父島、兄島附近
- 如上の地帯に於ての撮影は、原則として禁止されてゐるのですが、各々要塞司令部の許可を得れば寫すことが出来ます、其の出願手續としては、次に示す様な願書二通を作り、信返料を添へて司令官宛に送れば、直ぐに許可證を送つて呉れます。軍港や要港の場合は長官宛に出

さなければなりません、そして送られた許可證の範囲内で行動すれば、法に觸れる様な事はありません。

三浦半島の半分、横須賀、葉山、逗子地方は横須賀鎮守府所管で、横須賀鎮守府長官宛に出します。

観音崎、浦賀、城ヶ島油壺一帯と東京灣を隔てた房總半島の東京灣沿岸は東京灣要塞司令部所管で横須賀市東京灣要塞司令長官宛に出願します。

今、東京灣要塞司令部、横須賀鎮守府所定の撮影許可手續を記して、御参考に供し度いと思ひます。

撮 影 願

一、目的(研究、記念、營業)

一、位置(區域)、神奈川県三浦郡逗子町ニ於テ何々(人物建物又ハ一部分ノ風景)

一、期限(自何年何月何日至何年何月何日)

右御許可相成度要塞地帯法施行規則第四條ニ依リ奉願候也

本籍 縣 郡 市 町村 番地

現住地 同

年 月 日

氏

名 印

東京灣要塞司令官 何某殿

右の届中、位置は成る可く詳細に記入することが必要です。又、風景は一部分に限り許可されます。

用紙は白半紙、願書は二通必要で、發送の封筒には「願書」と朱書し、返送用封筒に切手を貼付して同封いたします。

尙ほ鎮守府には出願書中「要塞地帯法施行規則云々」を、「要塞地帯法規第九條及軍港規則第十九條に依り及出願候也」としなければなりません。

(((

ドライヴ用お辨當

(((

最近は、和食よりも洋食の方が、一般的な要求に應ずる様になつてまゐりました。和食は御家族づれの場合の御老人に限られてゐると申しても過言ではないでせう。

洋食で携帯用として最も賞美されるものに、アソルテツドコールミートがあります。これは色々まぜ合せたもので、例へば、ハム、ロースビーフ、ロースチキン、ソーセジ、ポイルドエッグス等に、パンをそへたものを折詰めにしたものです。

斯うした手数をぬきにしたものに、サンドウキツチがあります。玉子、野菜、サーデン(鰯)、ハム、ビーフ、チキン、ソーセジで拵へたサンドウキツチを最も御手軽なものとして御薦めいたします。

この中、サーデンには二種類あります。オイルサーデ

ンとトマトサーデンとですが、オイルの方がみな様によるこばれる様です。

最も高級な贅澤な御食事に、カナツペーがあります。カナツペーといふのは、パンの上に挽肉とか魚肉とかをおさへつけて(ぬりつけて)、チーズをふりかけ、天火で焼いたものです。これは仲々御手数のかゝつたものだけに其の味も格別に賞美されてをります。

サラダは殆ど持つてゆかれないもので、若し強ひて、携帯なされば、トマトか、レタース位のものです。簡單に御家庭で準備出来ますものは、ポテトサラダです。これにパンをそへたものなど、輕便な最も恰好なものでせう。

御食後の果物には、メロン、林檎、バナ、苺、サンキストオレンヂ等が最適です。又、三時には、アイステイー、アイスコヒー等を(魔法壇に入れてゆきます)召上ります。アイスクリームは、魔法壇に入れますも長時間はもたせられぬため、御携帯なさらぬ方が宜しい

様です。カップカスタープツテイングはコツプに入れたまゝになつてをりますから、只スプーンさへあれば、直ぐに頂けるので大變便利で、木蔭の憩には先づなくてはならぬものでせう。それから小人数の場合には、小型の七、八人でしたら大型の、アツプルパイやレモンパイも御すゝめいたします。

セロハンで包んだ杏の砂糖漬、バタービーナツツ、高級な小さいおせんべい、その他キャンデーチョコレートの種類、ブランドー、ペパーミント等の入つた御菓子、コンポート(煮た果物の總稱)、バターケーキ、カップケーキ等で、三時の御茶には、青空と共に澄み切つた食欲を充分に満たすこと、思はれます。

和食は前に一寸申上げました様に餘り用ひられない様です。で御老人方の御好みに投じたものとしましては、次の様な献立が一番よろしいでせう。

くりきんとん、かまぼこ、魚のてりやき、たまごやき(海苔を入れたいそべたまごやき等最もよろしいでせう)

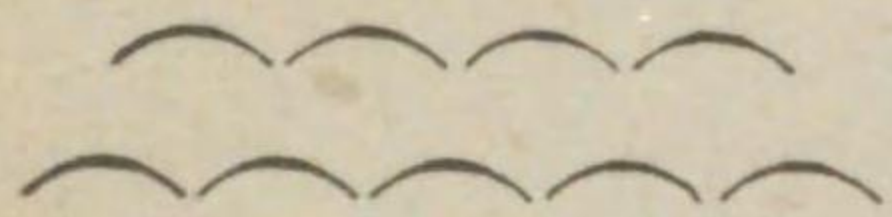
竹の子、八ツ頭、蒔、しひたけ、肉だんごみtainなもの奈良漬、味噌汁、紅しやうが、これに御飯は、幕の内(握つたもの)に黒ゴマをかけたもの。御壽司も結構です大阪ずし、のりたま、箱ずしは御すゝめ出來ます。果物は前述の様なものがよろしいでせう。飲み物は、日本茶を持つてゆかれる方が多い様です。ドライヴにはアルコールはなるべく抜きにしたいと存じます。和食の方ですと、特別に和菓子を御好みになる方も御座りませう。和菓子としましては、ヨーカン、その他餡で拵へたもの(ねりきり)、日本のカステラ等がよろしいでせう。

x

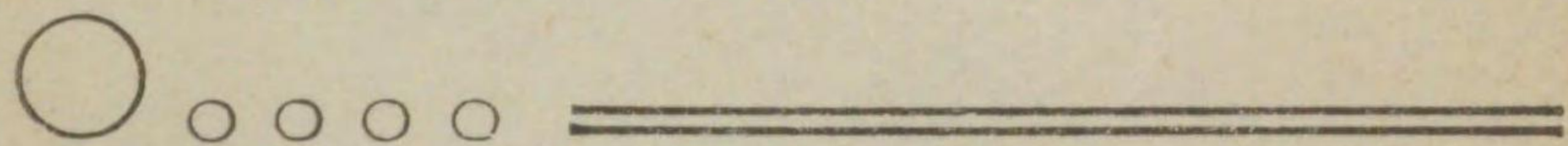
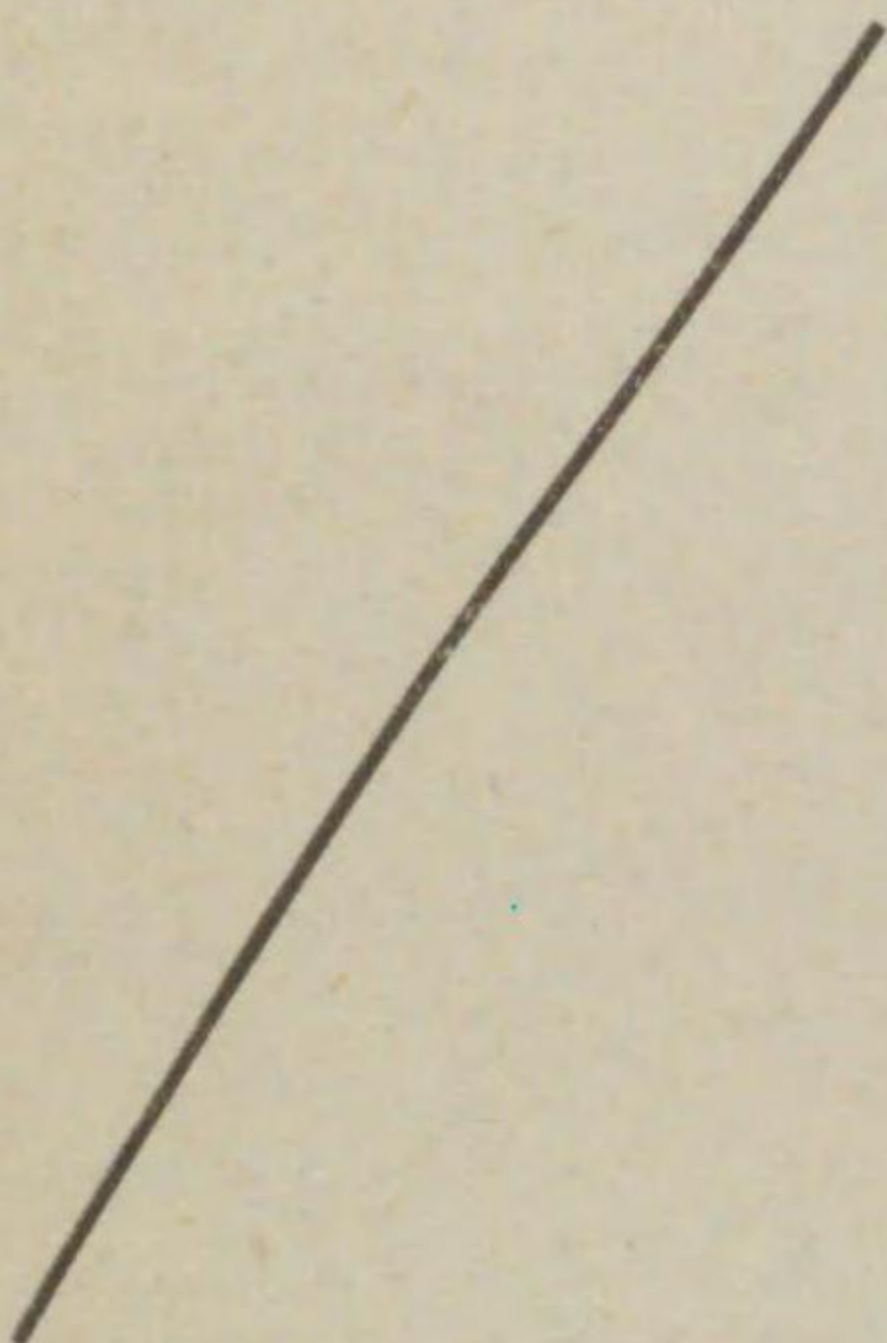
次に、これはお辨當でありませんが、ドライヴしてゐる時に氷砂糖を甜めてゐると、不思議に疲れを覺えないものです。キャラメルを口中に入れてゐるのもよろしいやうですが、無暗に食へることは禁物です。

料と哩の早解り表

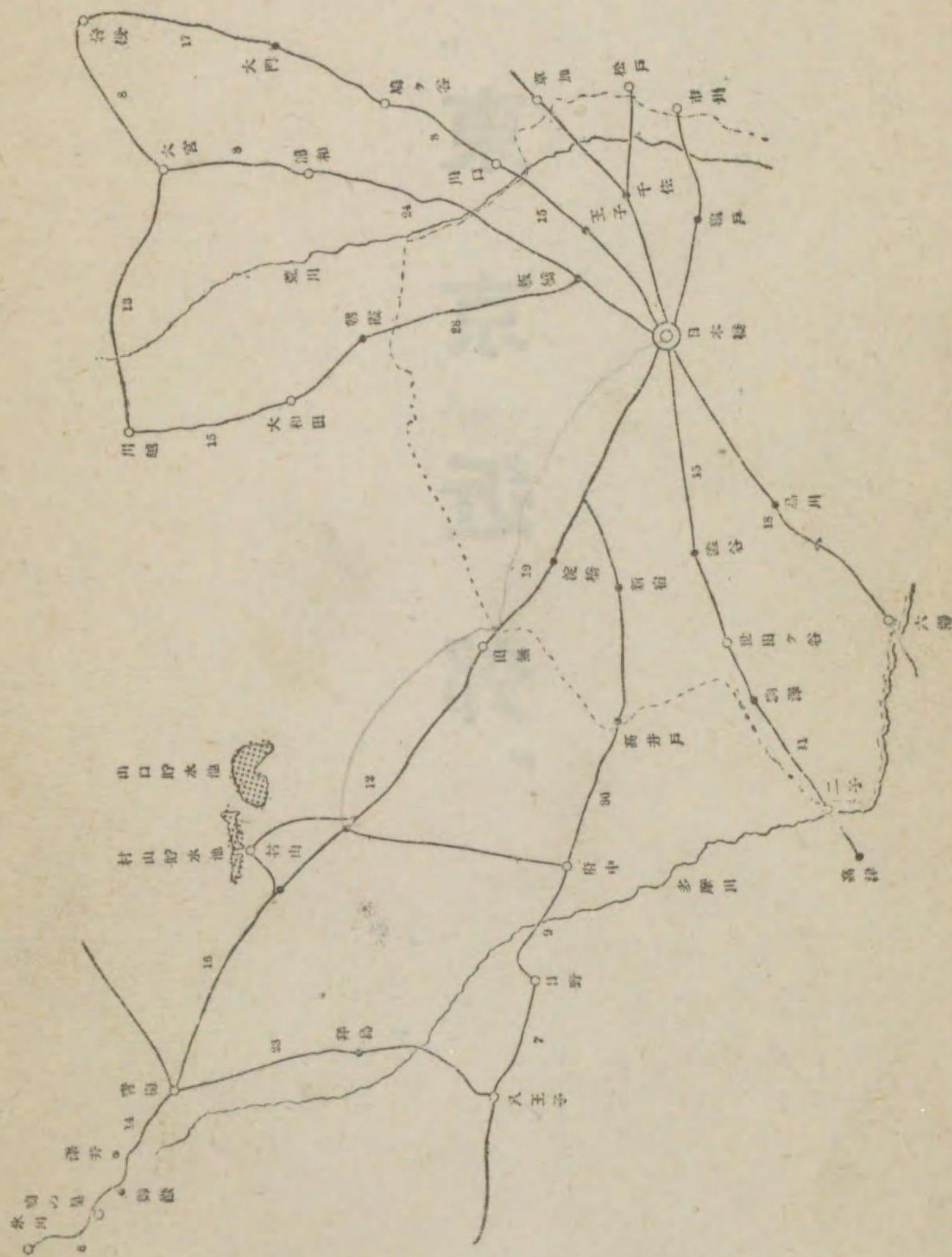
料	哩	料	哩	料	哩		
1	5/8	20	12 1/2	39	24 1/4	58	36
2	1 1/4	21	13	40	24 3/4	59	36 3/4
3	1 3/4	22	13 3/4	41	25 1/2	60	37 1/4
4	2 1/2	23	14 1/4	42	26	61	38
5	3	24	15	43	26 3/4	62	38 1/2
6	3 3/4	25	15 1/2	44	27 1/4	63	39
7	4 1/4	26	16 1/4	45	28	64	39 3/4
8	5	27	16 3/4	46	28 1/2	65	40 1/2
9	5 1/2	28	17 1/2	47	29 1/4	66	41
10	6 1/4	29	18	48	29 3/4	67	41 3/4
11	6 3/4	30	18 1/2	49	30 1/2	68	42 1/4
12	7 1/2	31	19 1/4	50	31	69	43
13	8	32	20	51	31 3/4	70	43 1/2
14	8 3/4	33	20 1/2	52	32 1/4	71	44
15	9 1/4	34	21 1/4	53	33	72	44 3/4
16	10	35	21 3/4	54	33 1/2	73	45 1/4
17	10 1/2	36	22 1/4	55	34 1/4	74	46
18	11 1/4	37	23	56	34 3/4	75	46 1/2
19	11 3/4	38	23 1/2	57	35 1/2		



ド
ラ
イ
ヴ
・
コ
ー
ス



“東京近郊”



奥多摩村山巡り

東京—高井戸—府中—立川—
 八王子—拜島—青梅—鳩の巣—
 青梅—村山—田無—中野—
 東京

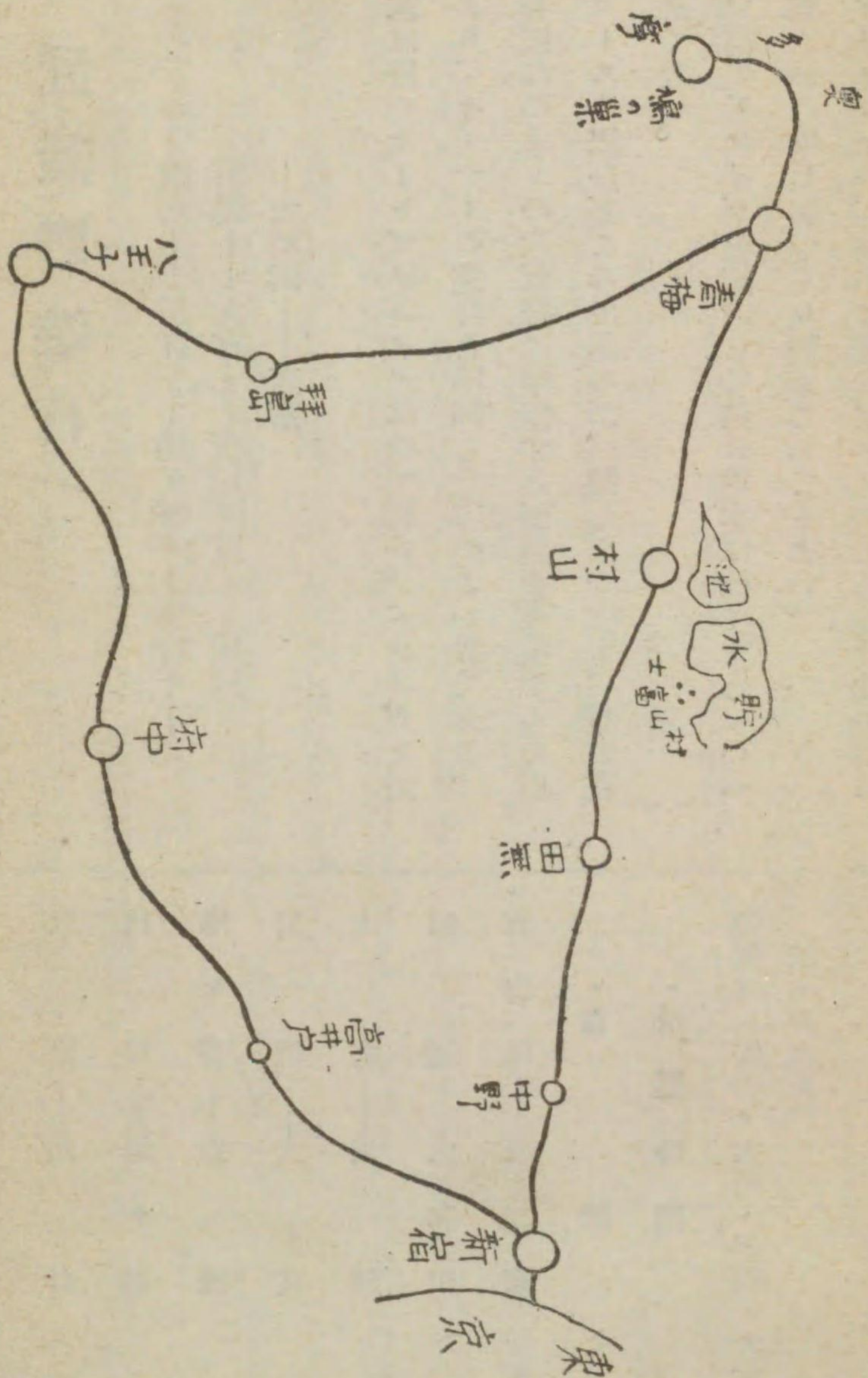
村山貯水池へのピクニックは餘りに輕過ぎるといふので、奥多摩の探勝を兼ねることにした。従つて奥多摩のみの探勝とすれば上流氷川へ上ることが出来るが、村山があるため鳩の巣で引き返すことにした。

午前八時東京出發、新宿より甲州街道を高井戸、府中へ、村山へは此處より分岐しては入るのがよいが、奥多摩へは日野橋を通つて八王子へ、(横濱方面からは同じく

遊覽地 (奥多摩・村山貯水池)	東京—府中	府中—八王子	八王子—青梅	青梅—鳩の巣	鳩の巣—青梅	青梅—村山	村山—田無	田無—東京
・合計	三〇	一六	二三	一四	一四	一六	一二	一九
・所要時間	九時間	一四四	一四四	一四	一四	一六	一二	一九

神奈川より八王子に出で、氷川迄上り村山を放棄して歸るとよい。五日市町へは行かず青梅道へ、途中拜島を過ぎて青梅に着くのが十一時過ぎとなるであらうから、そのまま奥多摩溪谷への入口澤井に向ふ。
此處では秋なれば寒山寺の楓を賞で、少し上つて射山溪で晝食にするとよい。食後御嶽へ、此處の富士見臺より眺める富士はとてもすばらしく、街道に戻つて奇岩蒼樹の溪道を鳩の巢へ、少時休息をとり午後一時半迄に出發しなくてはならぬ。

來た道を引き返し、青梅より村山に出で、村山、山口兩貯水池畔に遊び、人造富士の村山富士に登るのも面白い。夕方出發府中に下つてもよいが、それより田無、中野を経て歸つた方がよい。



武藏野遊行

東京——川口——鳩ヶ谷——安行——
 岩槻——大宮——荒川河原——川越——
 ——大和田——東京

武藏野のオートピクニックは捨て難い。ドライブと云ふより、オーナーの遊行と解釋した方がよい程である。多枯れのまゝの武藏野に横溢する野趣を満喫するのが本コースの観ひどころであるが、然し夏も秋も、春の花も悪くない。

日曜のドライブを豫定して前日愛車は仕度をととのへて置くから少し悠つくり寝過ごしてもよい。ガソリンは一杯詰めて置けば大丈夫である。此の間に

夫人や令嬢令息の仕度が出来て、折詰めを積みばスタート出来るやうになつてゐる。

ハンドルを一路飛鳥山に向け、王子、岩淵を過ぎ、荒川を渡ると埼玉縣である。鑄物の町川口、鳩ヶ谷を過ぎ、少し道を外らすと安行がある。此處は日本一の植木の産地として有名なもので逆コースならば是非共立ち寄つて、一鉢もとめて歸りたいところ、往路でも植木に興味をもつ方は立ち寄つて見たい。三十分も道草をすと思へばゆつくり出来る。

鳩ヶ谷から約七kで大門に着く。舊名主宅鷺の巢がある。五、六月の候に來ると數萬羽の鷺が群棲してゐて、その壯觀極まりなく、三代將軍家光が日光への途次立ち寄り、鷺を眺めて非常に悦に入つたと云はれる。

岩槻町へは一〇k太田道灌最初の築城地で、今に城趾を残してゐる。櫻花多く花見時には賑はふ。此の附近に石器時代の遺跡があるから、時間が許せば足を向けるのも興が深い。

岩槻より道を大宮にとる。此處には官幣大社氷川神社があり、關東一の宮と云ふだけあつて、境内の宏壯幽雅なること驚くばかり、三十分の逍遙には惜しい位である。

大宮公園に着くのが十一時半前後となるから、お腹の具合で晝食にしてもよいが、折角折詰を用意したのだから、少し我慢して川越街道を走り、古谷寄りの荒川河原に休むことにしたい。

隅田川の上流で風趣があり、未だ俗化されない河原の清淨さは、此處へ來たゞけでも日曜を一日つぶして悔ゆ

遊覽地 (安行・大門・岩槻・大宮・荒川河原・川越・野火止)	大和	川越	大宮	岩槻	鳩ヶ谷	川口	東京
所要時間	二七	一五	一三	八	一七	三	一五
合計	九八						K
六時間							

るところはない。

川越市は埼玉縣第一の市邑であり、喜多院は市の東南にある。

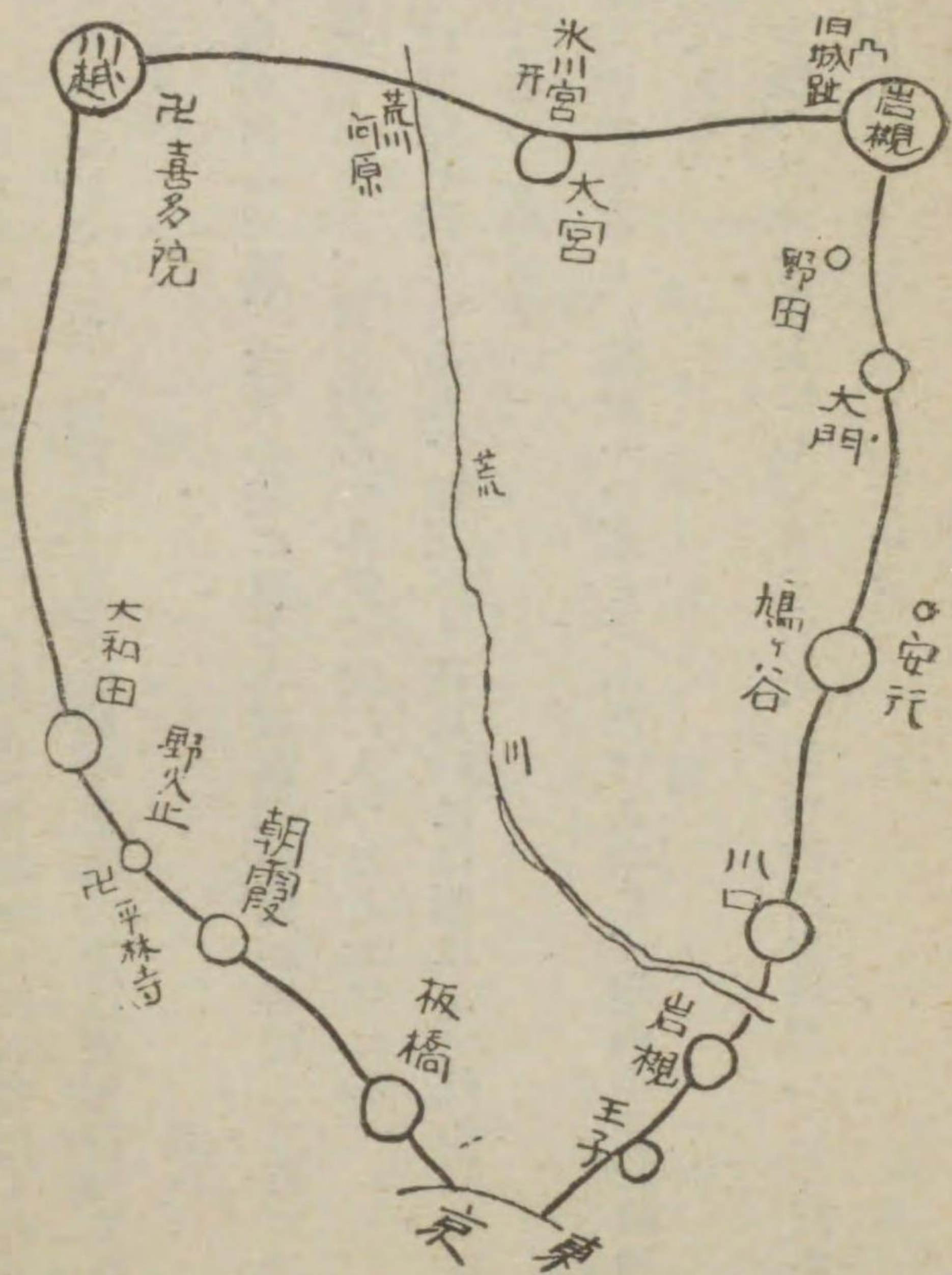
更に道を大和田、朝霞に向ける。愈よ歸路である。約十哩で大和田に着くが、一氣に南下して野火止に到る。

此處は野火止の昔話のあるところ、平林禪寺の境内は幽邃にして雅趣に富み、四季いつ來ても忘れ難いところである。松平伊豆守の墓がある。

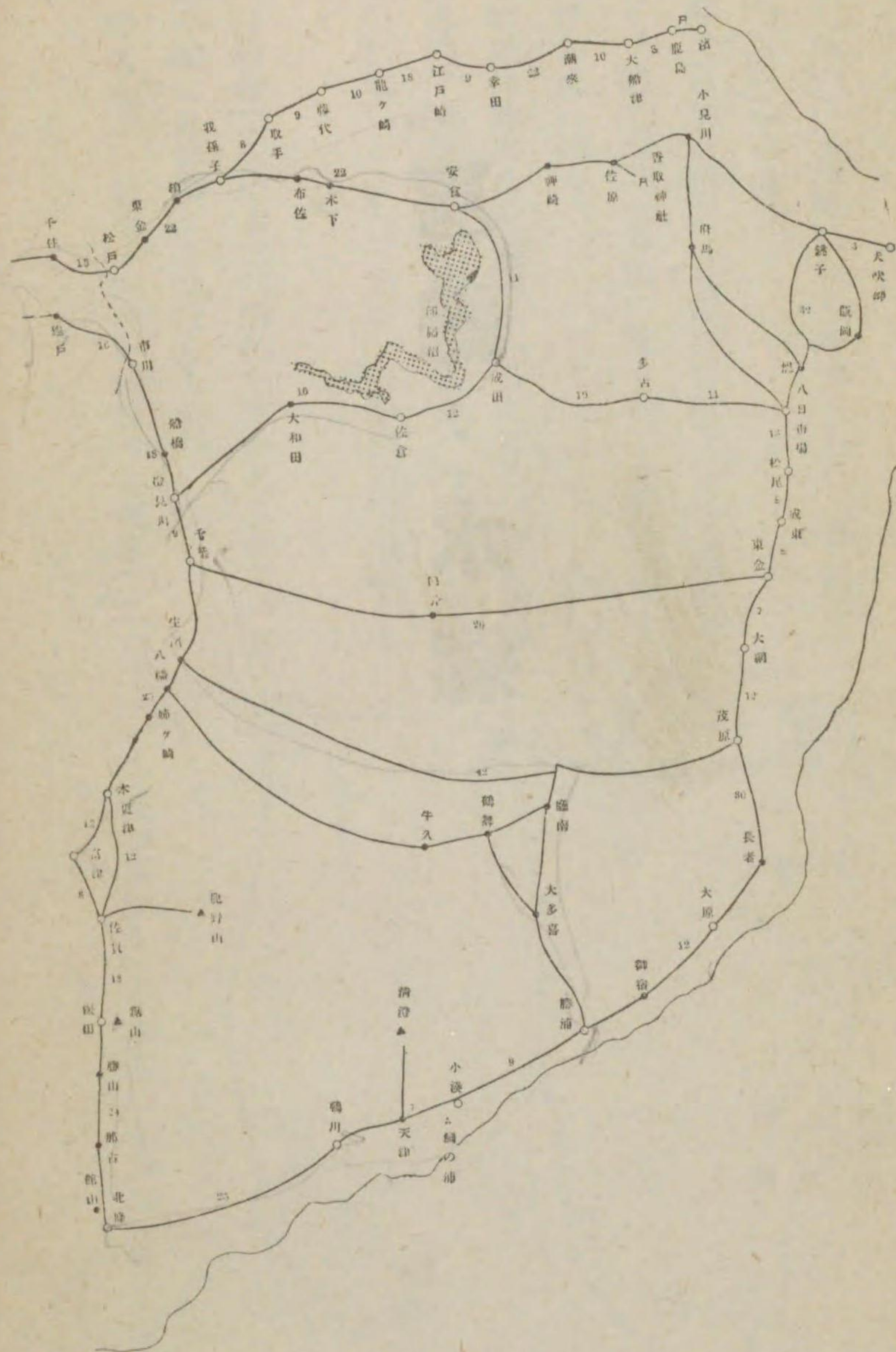
又附近に玉川上水の清流を浮かべてゐる。初

夏の候に足を運ぶとすばらしい。

野火止から朝霞、白子を過ぎると東京である。かくて後の疲れもなく非常に愉快な一日を送ることが出来る。



“房總・水郷”



(13) 房州へドライブの旅

房州へドライブの旅

東京—船橋—千葉—木更津—
 富津—佐貫—保田—北條—鴨
 川—小湊—勝浦—笠森—千葉
 —東京

四季を通じ、その折々のドライブを楽しむことが出来る
 点では、伊豆、南紀、湘南に劣らぬのが房州巡り、従
 つて家族的によく、殊に一泊のドライブとしては、清澄
 さに於いて富士、伊豆を凌ぐものがあると云へやう。
 第一日は鴨川泊りであるから、シートは満員でも大し
 て苦にならぬ。午前八時頃東京を出發すれば、千葉を通
 過するのが十時前となるであらう。朝の裡で疲れも少な

東	千	木	富	佐	保	北	鴨	勝	千	東
京	葉	更	津	貫	田	條	川	浦	葉	京
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
千	木	富	佐	保	北	鴨	勝	千	東	千
葉	更	津	貫	田	條	川	浦	葉	京	葉
—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
二	二	一	一	二	二	一	一	二	二	二
五	五	八	八	四	四	六	六	三	三	三
五	五	二	二	二	二	二	二	二	二	二
三	三	二	二	二	二	二	二	二	二	二
六	六	二	二	二	二	二	二	二	二	二
日	日	日	日	日	日	日	日	日	日	日

遊覽地 (富津・鹿野山・鋸山・北條・鴨川・清澄山・鯛の浦・笠森寺)

いから、そのまま八幡、姉ヶ崎、木更津と過ぎ、道を海岸寄りに富津に着く。此處は新らしい夏の名所であるばかりでなく、観音崎と對して眺望のすばらしさは内房隨一の稱があり、近年避寒地としても有名となつた。富津より海岸沿ひに佐貫町へ、其處より本コースに外れて四ヶ鹿野山にドライブしやう。九十九谷の名のあるところ、天然の山容は言語に絶し殊に紅葉では隠れた秋の名所となつてゐる。

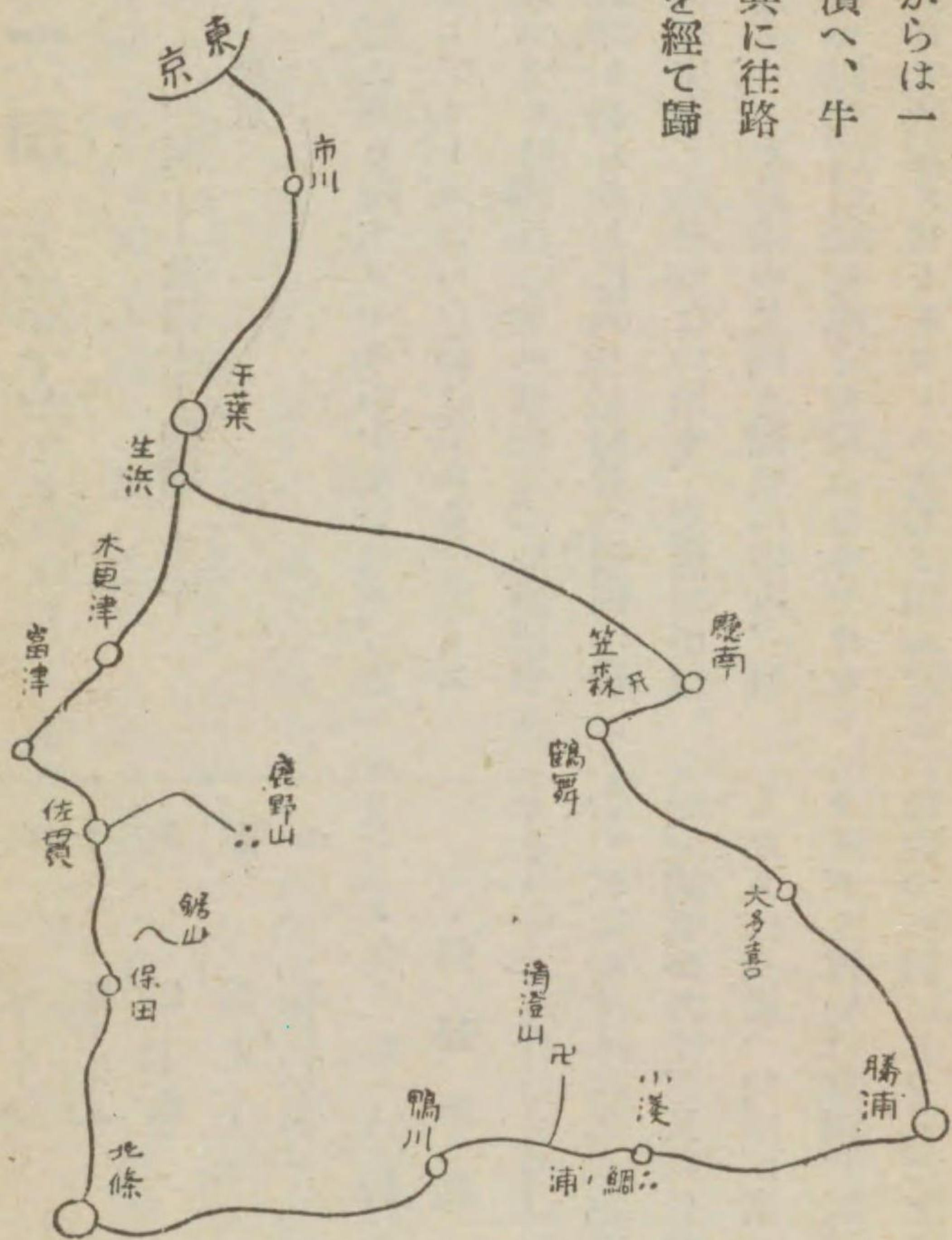
引き返して保田へ、正午前後となるから海近くの旅舎で午餐をとる。しばし休息の上、ぶらり／＼と鋸山へ、山麓へ二ヶ、山は海拔三二四米だから子供でも登れるし、山上の眺めは十洲一覽臺の稱ある位雄大である。

勝山、那古を過ぎ北條へ、鏡ヶ浦の散策に筋張つた脚を醫し、夕方迄には鴨川に辿り着くことにしやう。宿は吉田屋あたりがよいと思ふ。

翌日は八時半出發、天津から分れて北へ六ヶの清澄山へ、寺は不思議法師手彫りの作であるが、山上の雄渾な眺めはこれ又鋸山に劣らない。

小湊では妙の浦(鯛の浦)へ、鯛の餌撒きに興じるのも面白い。海上乗合は一人二十五錢。勝浦に着けば十一時、然し此處は素通りして田と山のラストコースへ向ふ。大多喜迄四十分位、道は左方の鶴舞へ、右折して笠森寺へ、此處は鶴舞と廳南の中間にあり、笠森稻荷へお詣りする。晝食は牛久へ出て鮎を食べたいが、時間がなければ廳南でも、大多喜でした／＼めてもよい。

それより歸路に就くのであるが、廳南からは一直線に北上し生濱へ、牛久なれば八幡へ共に往路に出るから千葉を経て歸京する。



房州一周 (スピード)

東京—千葉—北條—勝浦—千葉—東京

東京中心には一氣に乗り廻すコースが少ないため、本コースを更にスピードコースとしたわけである。尤もスピードコースと云つても時速八〇キロ平均でぶつ飛ばすと云ふアメリカあたりのものとは異り、たとへ道幅は幾分狭く、而も路面も完全とは云へない迄も、交通量がなるべく少なく、他方コース沿線の景觀も變化に富み、飛ばすためには天候も比較的順調な地方を求めなくてはならぬと云ふ、所謂日本のスピードコースとして選んだのである。坦々とした舗装道路はスピードの快適を楽し

東	千葉	北	勝	千葉	東
京	葉	條	浦	葉	京
—	—	—	—	—	—
千	北	勝	千	東	京
葉	條	浦	葉	葉	京
—	—	—	—	—	—
千	北	勝	千	東	京
葉	條	浦	葉	葉	京
—	—	—	—	—	—
計	計	計	計	計	計
四三	七八	四一	四二	四三	二四七
一三	時間	時間	時間	時間	時間

むのによいやうに思はれるが、こんなところは大きい交通が多く、又はGO・STOPが多いか、さもなければ交通の秩序が紊れてゐる我が國では割にドライブし憎い。京濱、阪神兩國道の如き代表的な例で従つて眞にドライブアがスピードを楽しむには却つて主要舗装道路外に掘り出し物のコースがある

ことを知らねばならぬ。此の意味で房州廻りを選んだ。無論吞氣なドライブではないから、午前六時には東京を出発しやう。前日車の點檢、ガソリンを一升壇に一本用意することはしばしば繰り返してゐる通りである。千葉迄は立派な舗装道路、恰度朝の市場通ひのトラックが一巡した後の交通閑散時、だから一時間で突破しやう。時速四〇キロは左程難事ではあるまい。

それより一氣に南下して姉ヶ崎、木更津、佐貫、保田、北條。此の間二時間半、九時過ぎだ。東京を早朝出發し箱根で日の出を拜む時、云ひ知れぬ優越感に浸るのであるが、早朝東京を出て九時に北條に着いた氣持はそれ以上である。箱根と云へば馴れた道のためか、北條には渺茫たる太平洋が待つためか、とも角ドライブアである有難さをこのコースにしみじみと味ふのである。

北條では三十分休憩、エンジンを休め、紅茶をすゝつて呼吸を整へて、脚の筋肉が緩むと再び車上に入り、外房の海を眼指して一氣に東進すると、正午には鴨川の町に着く。勿論遊覧が目的ではないから、旅館の二階で晝食をとつた後、ゴロリ横になつて一寝み、いゝ具合に風呂が沸いてればザツと一浴びするもよからう。

午後一時には出發しやう。再び東進し、鯛に名高い小湊も素通り、勝浦迄は一時間、此處より道を大多喜の山中へとるため、少時エンジンを改め、燃料を補給する。勝浦より生濱へ到る道を大多喜—廳南(鶴舞へは行かず)生濱へ、元の道を千葉へ辿ると六時頃、一氣に東京へ歸着すると午後七時をよほど過ぎてゐる。

成田詣で

東京—市川—検見川—佐倉—
成田—安食—我孫子—東京

京濱のドライブ初詣と云へば、江の島、逗子を含む鎌倉八幡宮か、成田の不動尊であるが、やはり一般的には成田不動に出向いてゐるやうである。成田不動のお守を肌にかけてゐれば事故を起さぬと云ふやうなところにも原因があるかも知れない。

全コース七時間とすれば呑気なもの、婦人子供でも気軽なドライブが出来やう。

東京から船橋へ、津田沼を過ぎ検見川で千葉街道に分れて總武線沿ひの道を佐倉へ、此のあたり丘をめぐり、

東京—市川	一六
市川—検見川	一八
検見川—佐倉	一六
佐倉—成田	一二
成田—安食	一一
安食—我孫子	二二
我孫子—東京	三八
合計	一三三
所要時間	七時間

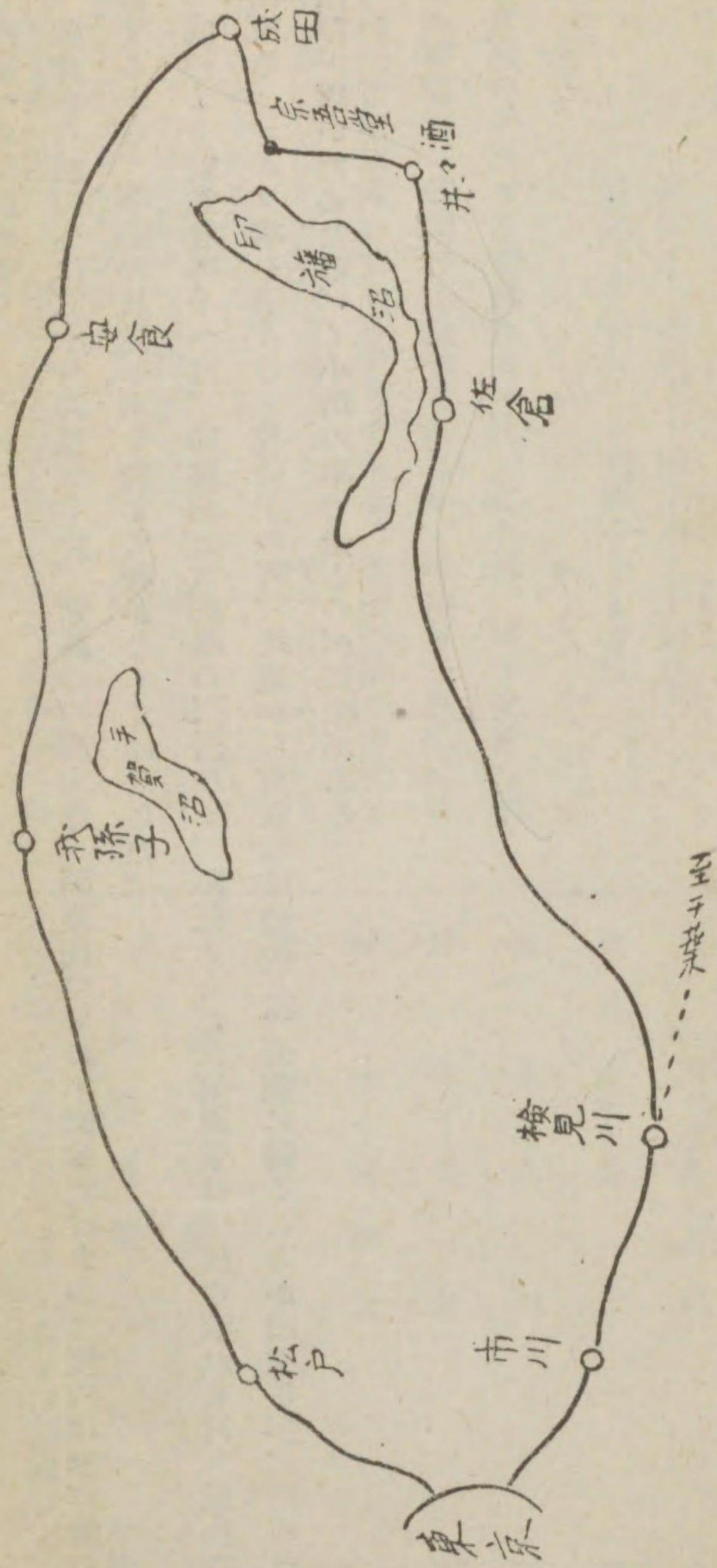
遊覽地 (佐倉靈堂・成田不動・印旛沼)

林を縫ひ、林間をしぼしまよふには好適。林間を抜けると緑の平野を佐倉へ、其處から酒々井を経て義民宗吾の靈堂へ車を進めやう。

佐倉から成田へは二十分乃至三十分、新勝寺の御本尊、關東切つての不動尊だけあつて境内は參拜者の群で雑沓するから、手近の旅館へ車を託して置かなくてはならぬ。

成田より安食我孫子へは、印旛沼と大利根の川沿ひで、渺茫とした水郷風景は午前の疲れも打ち忘れることが出来る。ゴルフ場を過ぎると我孫子の町、此處から東京迄は殆んど一直線に歸ることが出来るが、此のコースは道幅が狭いためなるべく小型の車で走るのが興味がある。

72133
49



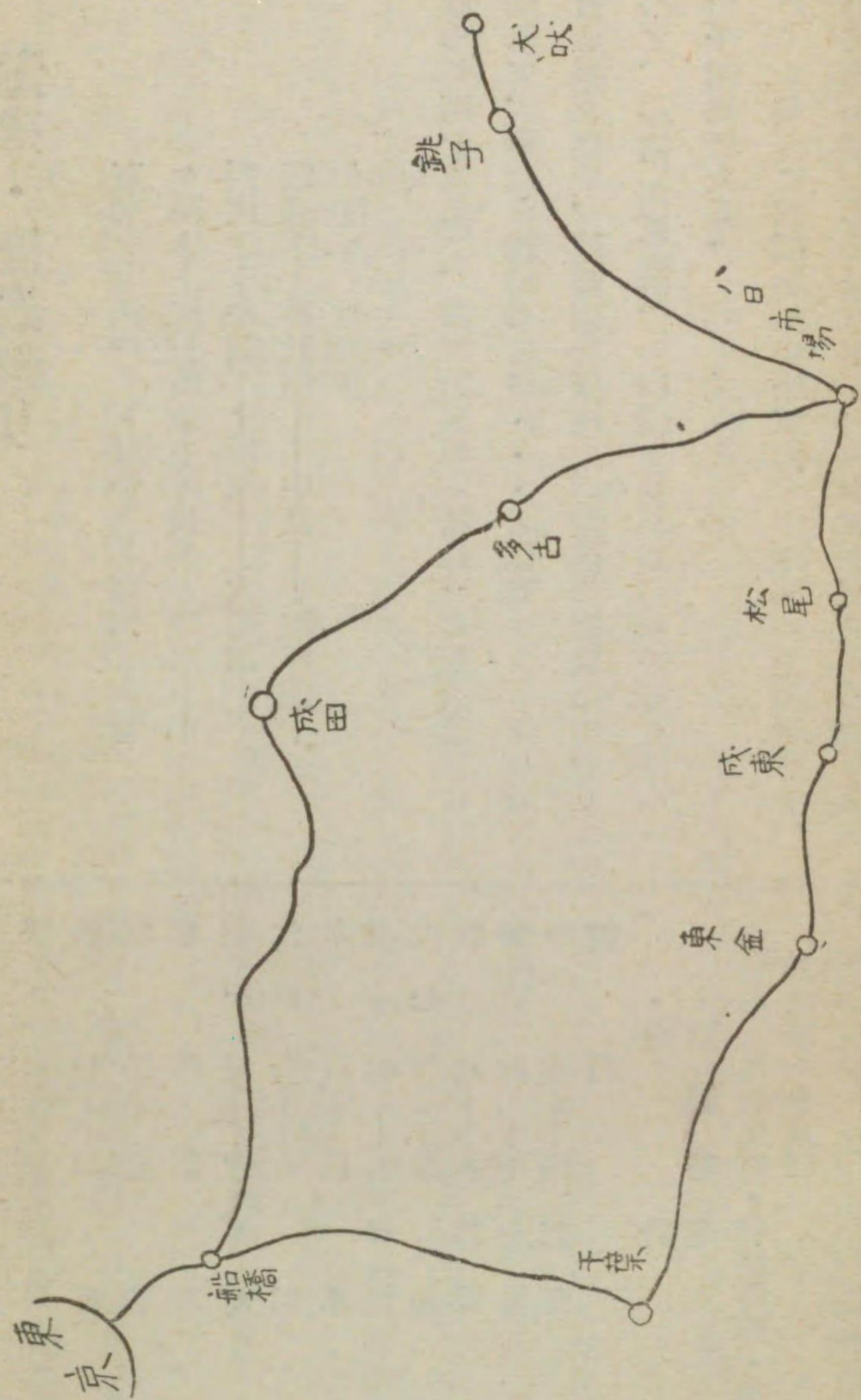
銚子・犬吠廻り

東京—千葉—東金—銚子—犬吠—八日市場—成田—船橋—東京

雄大な犬吠岬に接しやうと云ふのが此のコースの目的であるから、中途には殆んど寄るべき寸暇もなく、ひた走りに銚子に走り、犬吠の燈臺も急いで見物して歸れば午前七時に出發しても午後は七時を過ぎてゐるであらう。

然し此のコースは一泊によつて非常に興趣を添へることになるから、單に銚子と犬吠のみを見て來やうといふ方以外は一泊をおすゝめしたい。

遊覽地 (銚子・犬吠岬)	成田	多古	八日市場	犬吠	銚子	八日市場	松尾	成東	東金	千葉	東京
所要時間	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
合計	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
十二時間	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
	五	一	一	三	三	一	八	八	二	四	三
	六	九	一	五	二	三	八	八	六	三	五



即ち東京を午前八時出發とすれば銚子に著くのが午後二時頃となるであらうから、一とまづ港の宿に少憩した後犬吠見物に出かける。其の夜は何よりも活のよい魚に銚子の味を貪り、翌朝は飯岡より道を海岸線にとつて九十九里の長汀を遺憾なく車上に眺め、野田より八日市場へ出て復路の多古より成田へ、不動尊へ詣でた後やがて歸路に着くことにする。

尙ほ此のコースと、「房州巡り」を結び着ける時は、理想の所謂大圏コース房總一周が完成するわけで、これは北條、東金の二泊でもよく、北條、勝浦、銚子の三泊とすれば申し分のないことになる。

水の流れの様に、ボン／＼蒸氣は悠々として進んでゆく、西浦の漸く細まつた處、水邊に高く聳え立つたボブ
ラ數株、澄む空に感傷をゆすつてゐる。

橋を渡つた處、牛堀でガソリン補給。潮來の、福彌旅館にて晝食をとる。一時半につき、二時には出發、其の
間三十分。潮來より北浦のくびれ目、新宮橋を渡つて、大船津もすぎ鹿島の街路を素通りして神社の大鳥居前に
着く。

參拜後、道を神池にとる。池畔にグライダー練習場、時間がおそくなり相なので、深芝より中島の松原に入る
此處から眞直ぐな松並木を縫つて、深芝濱へ、砂丘の彼方は灘だ！ 車を捨て、大海の潮風にウーと呼吸のと
まる思ひがする。

遙かの水平線、薄墨色に濁つた彼方には大洋通の汽船がかすかに見える鹿島の灘、壯絶極りない怒濤の姿！

既に四時半。中島より此の濱に至る、三・七軒。

これより一氣に歸路に着く。

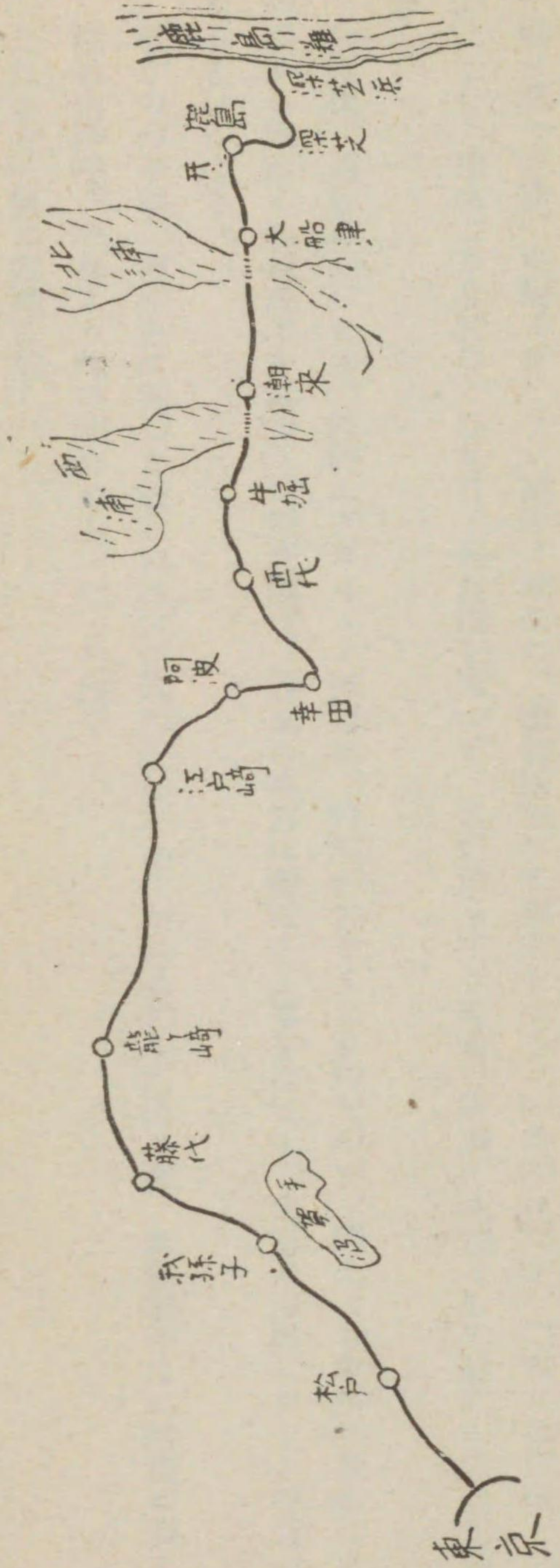
江戸崎をすぎた頃から、黄昏の薄靄があたりをこめて、蒼茫と平原は暮れてゆく。次第にスピードが高まつて
行く様に思はれる。やがてとつぷりくれてしまった。ライトは眞暗な田舎道に三十度ほどの光芒を擴げてくれる
金泥を散らしたかと思はれる小さな蚊の様な蟲が、其の光芒の中に明滅しては、フロントガラスに打ち當る。

砂塵は闇に吸ひつくされて解らない。死んだ様に黒い塊となつて、部落が靜寂の中に沈んでゐる。

取手町を六時五十五分通過、松戸八時、歸りついたのが九時少し前、全所要時間約十二時間。

豆

相

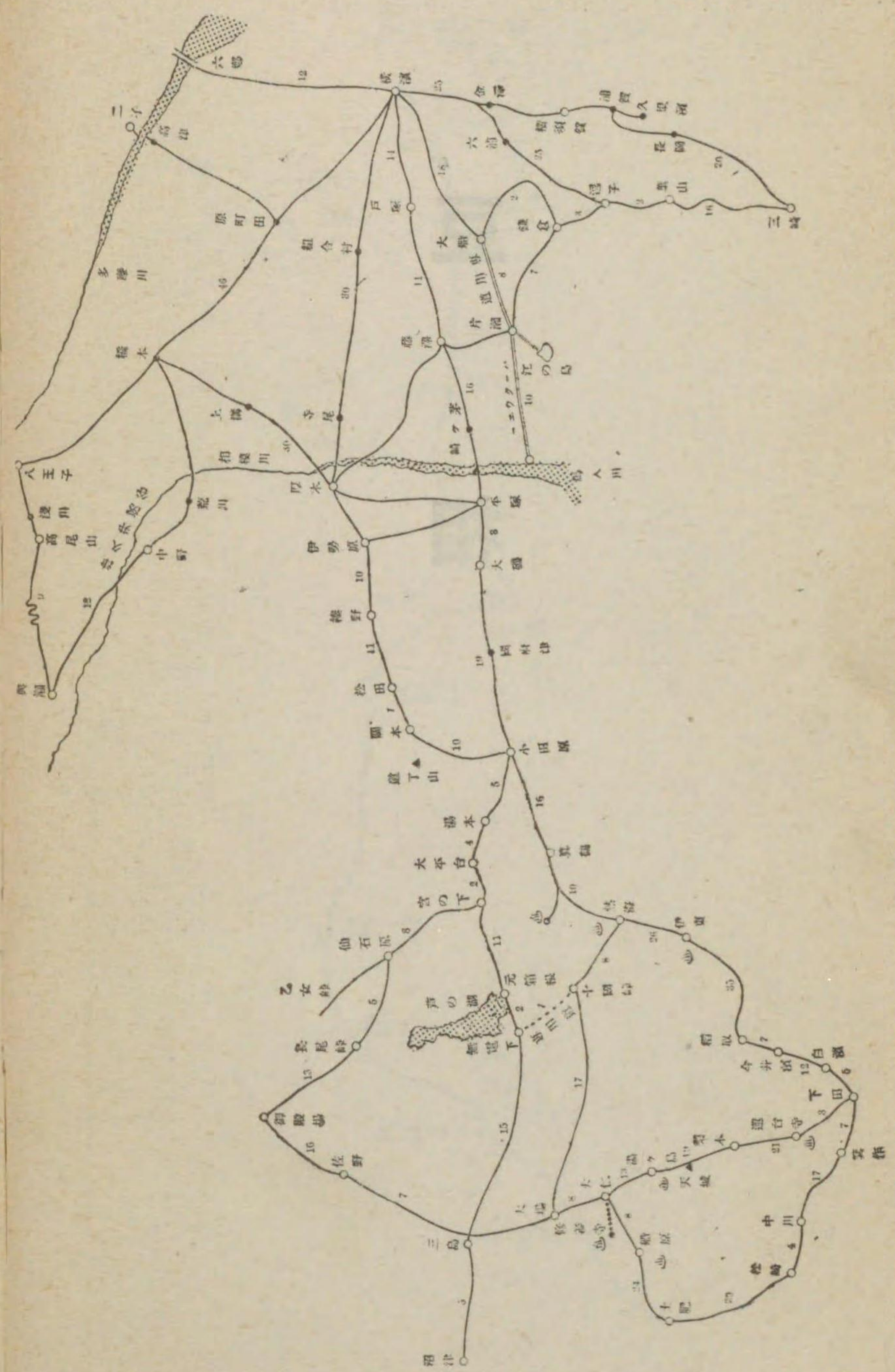


津久井溪谷探勝

濱
 中野——津久井溪谷——厚木——橫濱
 橫濱——八王子——高尾山——與瀨——

遊覽地 (高尾山・大垂水・津久井溪谷)

・合 計	一三五
・所要時間	一〇時間
原 木——橫濱	三〇
中 野——厚木	三〇
與 瀨——中野	一二
高 尾 山——與瀨	九
八 王 子——高尾山	八
橫 濱——八王子	四六



最近とみに賣り出した津久井溪谷（相模赤壁、相模耶馬溪等と云ふ）の探勝もドライブの好適地であるが、これは純然たる探勝コースであるから、運轉には相當慎重を要するものであることをまづ注意して置かなくてはならぬ。

便宜上横濱を起點とするが、東京の場合は八王子迄、又は富士へのコースを與瀬迄送り、それから先は橋本迄横濱起點のコースと同一、橋本から原町田——高津町より二子多摩川を渡り歸京する。東海道東行中に乗り入れるには平塚より厚木に出で、コースを逆に迎ればよい。

さて横濱より八王子へ、これは八王子街道を進めばよく、淺川より多摩御陵へ參詣した上、高尾山へ登ることにしやう。

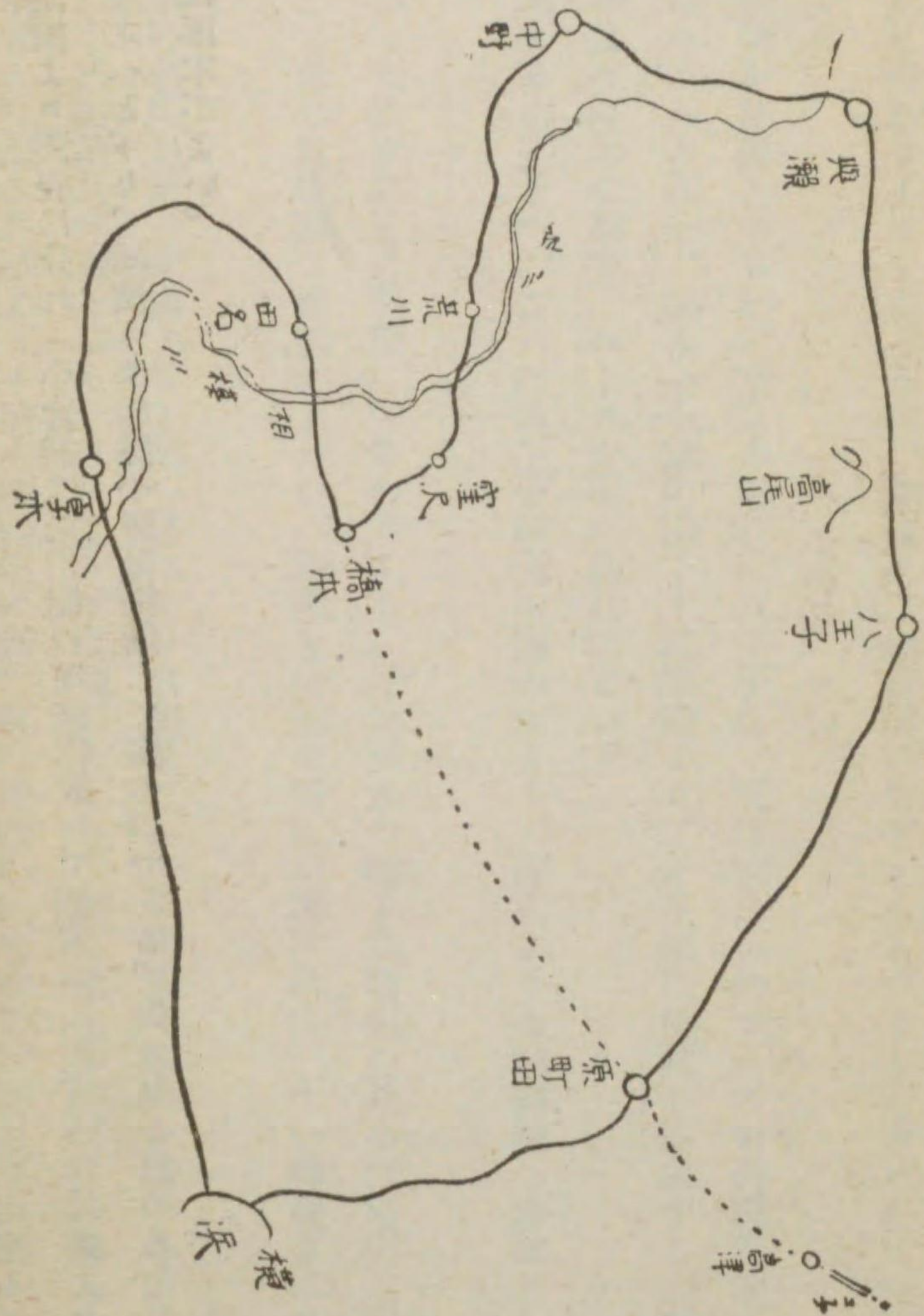
高尾山から大垂水越えに與瀬に下るのであるが、大垂水の頂上見晴臺の眺めは格別であるから、出来ればランチを用意して此の見晴臺で晝食としたい。横濱を午前七時に出發すれば、十一時過ぎには見晴臺へ到着するであらう。

與瀬は鮎の名所だが、此處より下流一帯は鮎の名産地だから、與瀬で時間を費すことなく桂川へ、川沿ひに下ると間もなく吊橋津久井橋である。これより下は荒川となり、愈々津久井溪谷に分け入るのである。

津久井溪谷とは津久井橋より下流小倉橋迄の溪谷美を總稱したもので、道は概ね荒川に沿ふて下ること一時間

川の兩岸に奇を競ふ岩壁の妙、正しく相模耶馬溪の稱あるも尤もと首肯くことが出来る。

下流荒川橋より溪谷に分れ（小倉橋は荒川橋の下流二K）て橋本へ（東京へは此處より歸る）再び川を目指して田名、原木へと下り、横濱へは相模平野を横斷して歸るのである。尙ほ鮎を求めるなれば荒川橋附近がよく、食べるには厚木がよい。



箱根より下田へ

宮の下——長尾峠——御殿場——大仁
 ——湯ヶ島——梨本——蓮臺寺——下
 田

既設コースとも云ふべき伊豆外廓、箱根より三島、富士の各コースの中間を行くものとして此のコースを上掲することにした。従つて中間コースとも云ふべきものであるため、このコースと他のコースを組み合せ思ひのまゝのスケジュールを立てるとよいわけである。

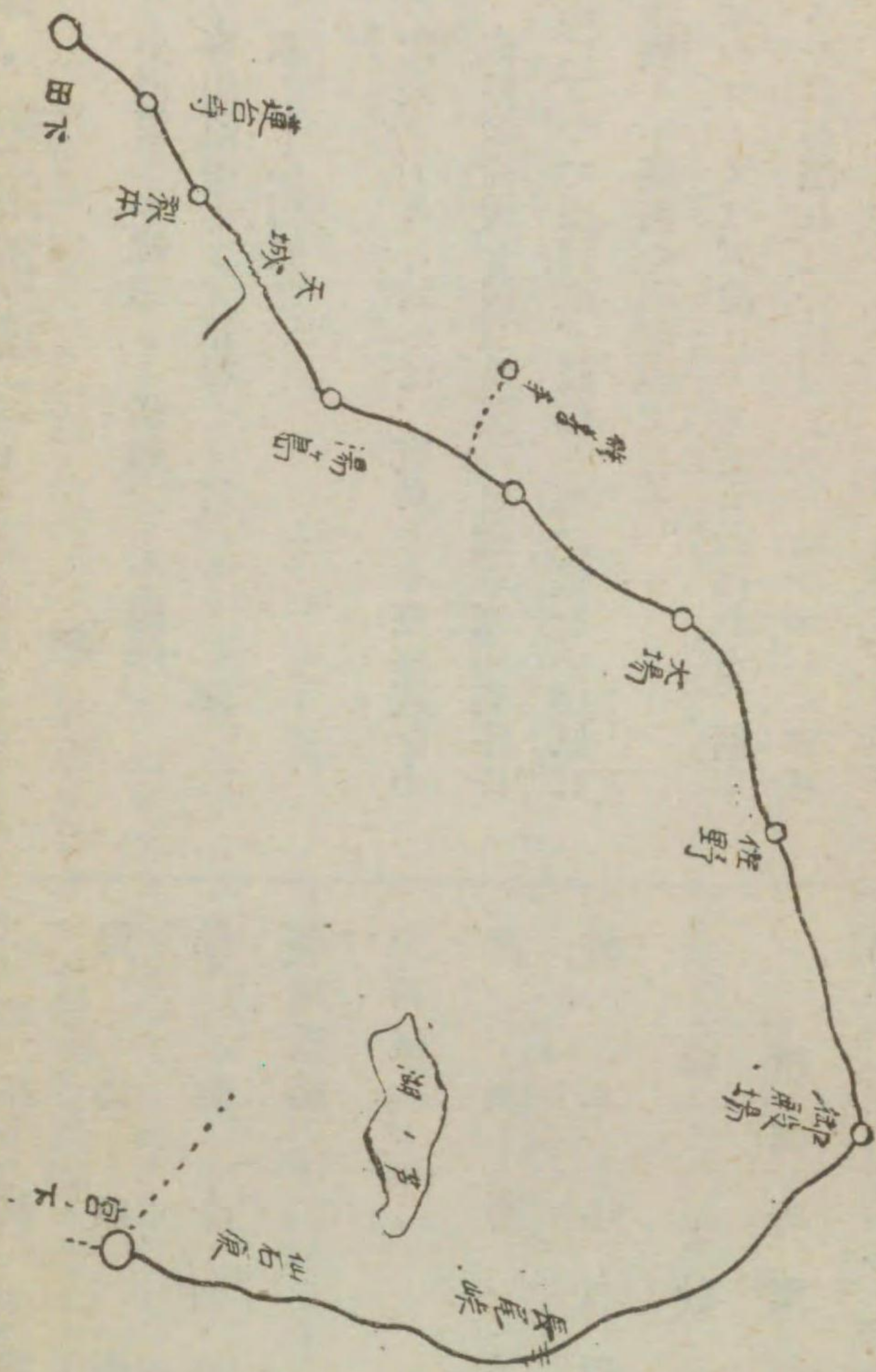
宮の下より底倉、仙石原、長尾峠（富士の眺望）御殿場は衆知のもの、御殿場から佐野へ、道幅は狭いが悪くはなく、下田へ急行したい方は佐野より三島へのコース

宮の下	千石原	長尾峠	御殿場	佐野	大仁	大湯ヶ島	大湯ヶ島	梨本	蓮臺寺	下田
千石原	長尾峠	御殿場	佐野	大仁	大湯ヶ島	大湯ヶ島	梨本	蓮臺寺	下田	
計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計
六時間	一一三	三	二一	一九	一三	八	七	一六	一三	五

遊覽地（長尾峠・湯ヶ原・天城・湯ヶ島・蓮臺寺）
 下田）



をとるが、此處では大場、大仁へと進む。大場から大仁迄は再び伊豆の外廓コースとなるが、湯ヶ島より大仁から天城へ向ふと伊豆の中央コース、天城越八キロもと程案じたものでなし。梨本より湯ヶ島に通じる山上の眺望は伊豆随一との稱があるが、道路にカーブが多く注意を要するところ、山を下れば蓮臺寺温泉、下田へは數分にして達する。



箱根・熱海循環コース

小田原——眞鶴——熱海——十國峠——
専用道路——元箱根——宮の下——湯
本——小田原

東京附近の代表コースと云へば、東京より東海道を小田原に出で、箱根新街道を駿豆鐵道の自動車専用道路にそれより熱海に下つて湯河原、眞鶴と海岸線を小田原に還る、所謂箱根——熱海の循環線である。

だから、此のコースは試験コースとも云はれる。新車が此のコースを無事歸れば合格であり、此のコースを突破すれば運轉技術は一人前と云はれる。自動車の把手を握つたものは、誰れしも一度は通過しなくてはならぬと

小田原——眞鶴	一六
眞鶴——熱海	一〇
熱海——十國峠	八
専用道路——	七
元箱根——	二
箱根——湯本	一七
湯本——小田原	五
合計	六五
所要時間	六時間

遊覽地 (萩尾橋溪谷・眞鶴・伊豆山・熱海・箱根)

いふ、最も重要なコースである。

東京を出發したのは朝八時を過ぎる十分、小田原に着いたのが十時三十五分であつた (驛附近のガソリンステーション前)。東京——小田原間は、本コース以外に利用することが多いので、これは稿を改めることにする。箱根循環コースは、小田原より箱根を登り、熱海に下るのが順路であるが、晝食其の他の關係から逆コースをとつた。

循環コースの小田原は、水道工事のため相當荒れてゐたので、子供洋服店の角から曲つた。平常時でも逆コースをとれば此處からは入るのがよいやうである。

小田原出發が十時三十九分であつた。

早川迄は道が狭く、小型自動車だからよいやうなものゝ、大型だと非常に不愉快を感じなくてはならない。やはり地方に出ると、日本ではホキールベース一二〇吋等といふ乗用車は使はれない。

早川を過ぎても、道の狭いことには變りはないが、左の車窓眞近かに豆相の碧海を一望の裡に入れることが出来る爽快さに、不愉快は一時にケシ飛んで、一轉してドライブの有難味を満喫することが出来る。

秋から冬にかけては、右方一帯の山腹に蜜柑が黄色に映えて、伊豆ならではの見られぬ珍らしさがある。天氣がよければ、左方遙かに御神火を眺めることも出来るし、前方には伊豆の初島、偶に三宅島を霞の如く見

受けることもある。と云つた風景は、やゝもすれば把手を奪ひ勝ちであるから、要心しなくては眼下は白鷺が岩を噛んで押し返してゐるのである。スピードは二〇K程度がよい。

小田原より四K、鐵道線路に並行すると見る間に、相當急カーブの危険個處があるから注意しなくてはならない。行く手が雑木林に埋もれてゐるので、曇り日等はうつかりすればスピードを出し過ぎてとんだ事故を起さぬとも限らぬ。

小田原より七Kで、道は海岸を去つて溪谷に分け入る。行き詰りに萩の尾橋があり、此の邊りの夏の氣分は悪くなかつたことを記憶してゐる。

九K程行くと、櫻のトンネルに差しかゝる。花見時分は誂へ向きであるが、更に此處を過ぎると、眺望は伊豆第一かと思はれる絶景に直面する。わけて西方に向ふ景觀は、實に何とも云へぬ雅趣がある。

やがて眞鶴岬を眼前に見出す頃、峠の盆地の如き平坦な、山腹とも平原ともつかぬ靜寂な芝生原を通過する。地名を聞き洩らしたが、家族連れで折詰でも持参すればよいと思はれる。界限切つての海水浴場、湯河原海岸ヨシ濱は恰度一六Kである。

伊豆山の道の狭さは天下一品と云ひたい位、這々の態で熱海に逃げ出す。驛前に着いたのが十一時三十五分、小田原から二・六Kである。所用時間殆んど一時間。

途中眞鶴に降るか、湯河原に上つてもよいが、日歸りとするには枝道に入ることが出来ない。熱海泊りとすればも少しゆつくり出来るが、然し殊更に見なくてはならぬ古蹟も名勝も少ない。東京を九時頃に出發し、湯河原で中食をとり、熱海で一泊すれば面白いスケジュールとなる。

しばし温泉に浸り、中食を終へ、宿を出發したのが午後二時二十分、來の宮前通過が同二十二分、丹那トンネルの上方で梅林口に分れて山に向ふ。

此處は山麓の七曲り、而も大ていは順コースを辿つて下りの車がかかり多いから、スピードは一五K位で行つた方が安全である。煩いのはバスの通行が非常に多いことで、その上彼等はかなりのスピードで飛び下りて來る馴れた道だからそれでもよいやうなものゝ、バスの運轉手は少し注意してくれてもよいと思はれる。

みなと橋を過ぎると、左右の連山一帯に若檜の植樹がしてあり、緩く傾斜した尾根の軟かい感じは、山毛櫨も稀な奥山に踏み込んだやうだ。

順路をとつて下れば、此のあたりより見下ろす眺めはすばらしい。熱海の湯煙の消える沖合に、ポツチリ初島の浮くのも、宛ら夢のやうに、繪のやうに、新熱海名所もなる程と肯かれるのである。

來の宮前より八K、大場に通ふ街道に分れると、此處は有名な駿豆鐵道の箱根自動車専用道路入口である。所要時間四十分、だが途中十分間の休憩をしたから正味三十分を費したことになる。

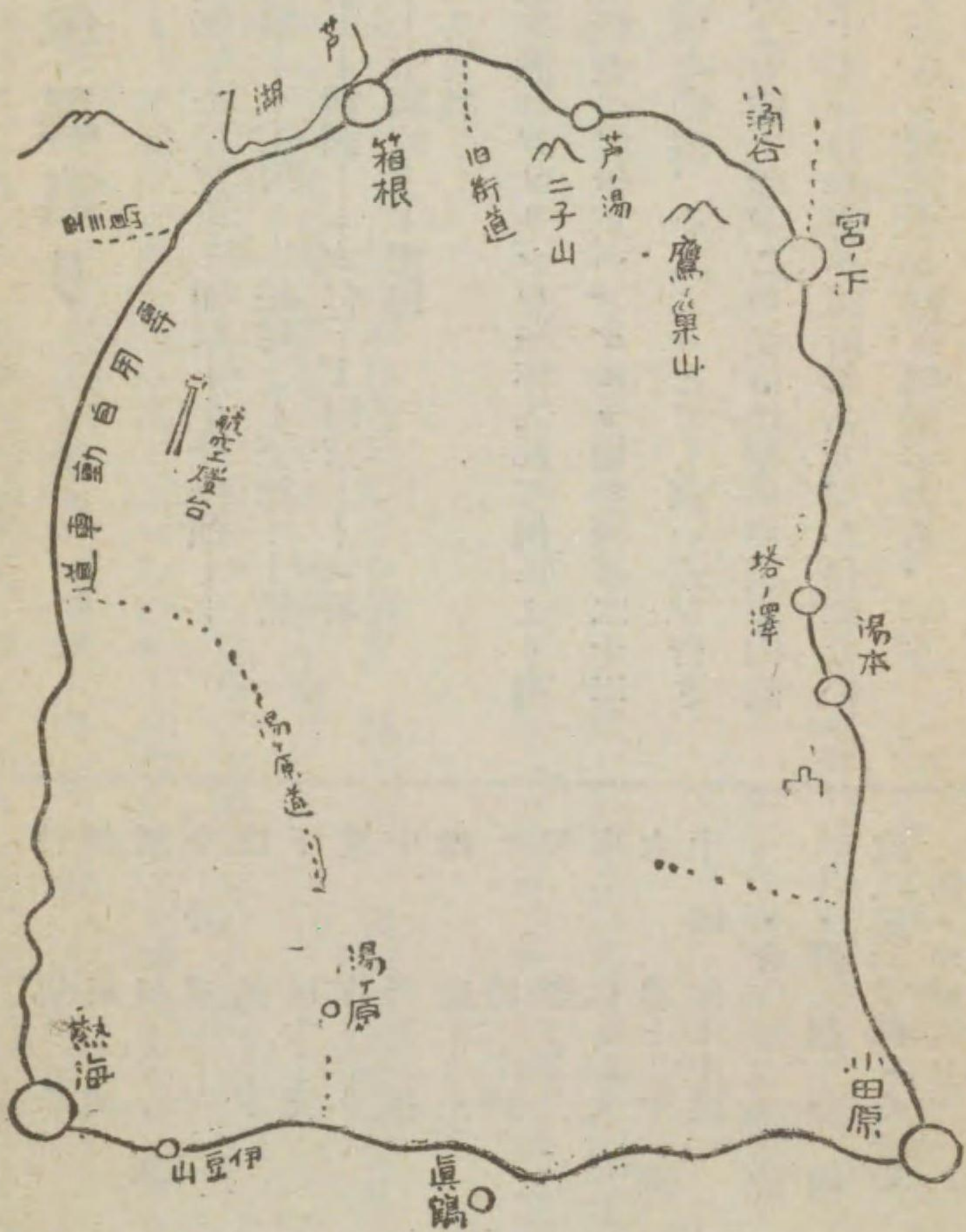
専用道路の入口ではまづ八十銭の通行料を拂はなくてはならぬ。此の道が出来たゝめに非常に便利にはなつたが八十銭はちとどうかと思はれる。箱根循環ドライブは、此の専用道路を通るのが目的の一つであるから、それから見れば八十銭は一圓でもよいやうなものゝ、四哩八十銭はお安くはない相場と云へやう。而も路面は未完成のまゝである。樹木が育たぬ位風が吹くにもつて来て、埃が相當激しい。

殊に此處を通るバスは、専用道路にはスピードの取締が適用されぬとあつてか實に猛然と驀進する。地響きを立て路面を削つて走るのだから、遠くで見ると、灰の中を猪が往くやうである。

箱根の頂上に來て埃を被つて歸らうとは誰れしも豫想してゐないところである。未舗装で八十銭を惜しんだ者も、舗装されゝば一圓は惜しくはあるまい。

何と云つても、専用道路の景色は格別である。青く萌える若草の原、夏は涼しく、秋は笹龍膽が咲き亂れ、配するに右方の富士に左方の沼津の浦、麓に仔馬が草を求めて彷徨する様は、他に見ることが出来ぬ興趣がある。十國峠には航空燈臺が出来た。此處に上れば眺望更によく、土地の人達は見晴臺と呼んでゐる。

元箱根迄熱海より二一K、ほんの素通りで一時間三分を要した。かくしなくては日歸りが出来なくなるので止むを得ないが、これは峠の夜を警戒したからで、順コースをとれば専用道路で二時間を過ごすことも難事ではあるまい。元箱根より小田原へは一四K、これは東海道ドライブの項を参照されたい。



伊豆半島巡り

熱海——伊東——稻取——今井濱——
 白濱——下田——松崎——土肥——船
 原——横瀬——大仁——田京——大場
 ——十國峠——熱海

午前九時熱海出發。ガソリンを一杯入れて例により凄く悪い路を十六哩走つて伊東へ。ゴルフ場を過ぎ二十二哩で稻取、四哩で今井濱、それよりとても狭い道を行き濱橋を左に白濱まで約七哩、この途中は極めて狭い山道で殊に注意を要する。待避所が諸所にあり、かはれない所は Klaxon をならし問答する様に標識がある。

白濱附近は伊豆七島が眺められる。三哩で下田に、零

熱海	伊東	稻取	今井濱	白濱	下田	箕作	川崎	松崎	土肥	船原	大仁	大場	十國峠
伊東	稻取	今井濱	白濱	下田	箕作	川崎	松崎	土肥	船原	大仁	大場	十國峠	熱海
二六K	三五	二七	一五	一七	一七	一七	二四	二九	二四	一八	一八	一七	一一
計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計	計
所要時間	所要時間	所要時間	所要時間	所要時間	所要時間	所要時間	所要時間	所要時間	所要時間	所要時間	所要時間	所要時間	所要時間
一〇時間	二〇	二〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇	一〇

遊覽地 (伊東・今井濱・白濱・下田・松崎・堂ヶ島・船原温泉)

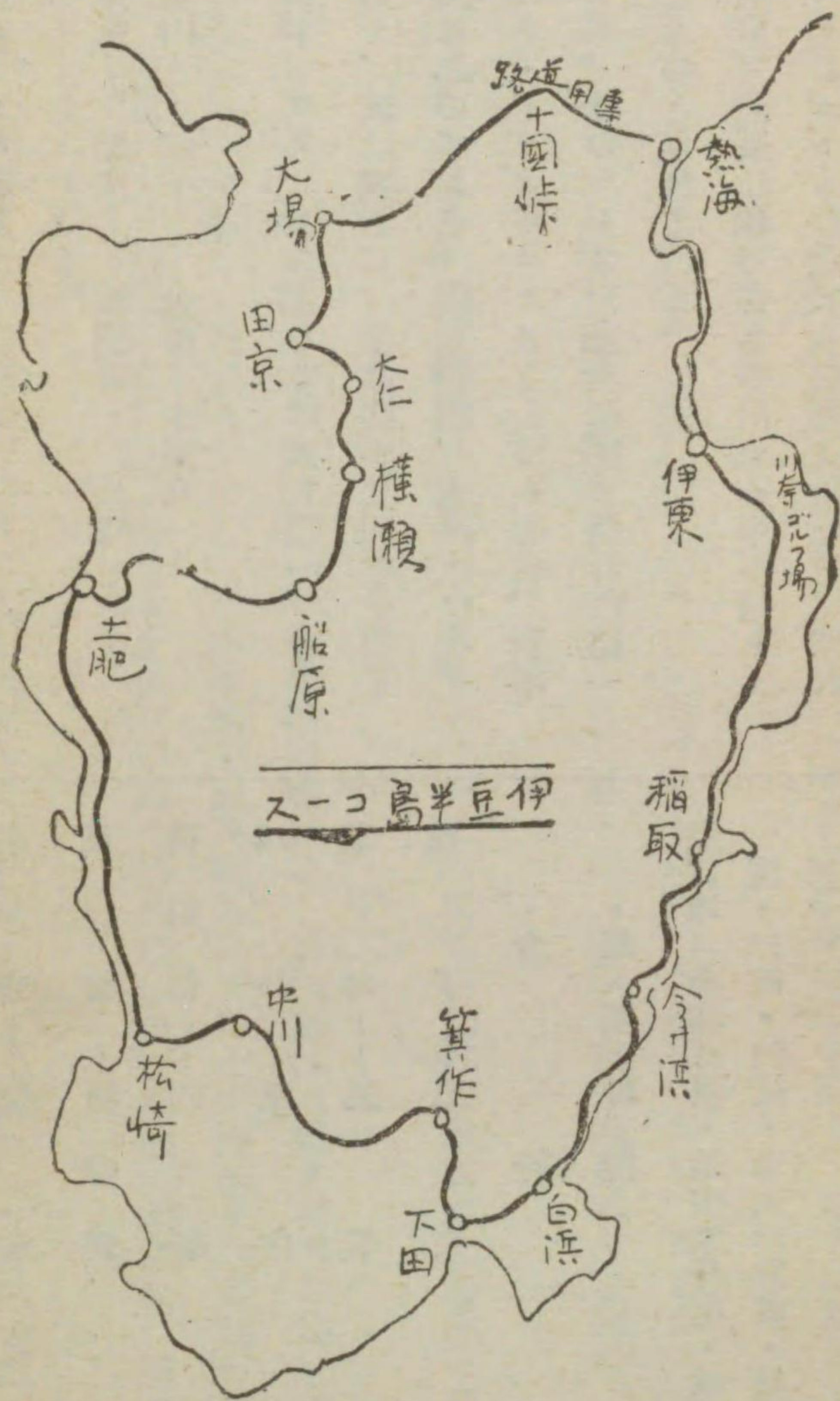
時廿分着。中食はヒユツテクロフネあたりがいゝだらう。下田には見物する所が澤山あるがざつと見て先を急ぐ下賀茂を廻つてもいゝが時間がかゝるので止め、二時にお吉の墓を後に四哩で下箕作。左に折れ比較的良い路であるが道幅の狭い峠を一つ越え十一哩で中川。二哩で二時五十分相當繁華な松崎に着く。これから土肥までの十八哩は幅も廣く、新らしい良い路で堂ヶ島あたり景色もよく伊豆西海岸を走る譯である。船原迄十五哩。途中相當高い長い峠を越す。

横瀬、大仁、田京を過ぎ五時五十分長岡着。往來の頻繁な猛烈な悪路をガタ／＼揺れて四哩で大場。ガソリンスタンドを右に折れ薄暗い中を十國峠に向ふ。峠への山路は非常に良好で自動車の登りいゝ様に敷かれてゐる。トツプでのんびり登れる。

六時三十五分九哩にして十國峠専用道路出口を過ぎ一路熱海に、眞暗な急坂路を或るひはセコンドギヤイを使ひつゝ下り、七哩にて午後七時に熱海ホテルに無事安着。

全走行距離二〇八K、相當疲れるから、東京からならば下田で一泊するのもいゝし、修善寺や箱根によりゆつくりするのもいゝ。又雪などのために路が迂らないやうだつたら、天城越えもいゝと思ふ。然しそれでは西海岸の如き美しい景色は見られない。家族連れもいゝが馴れない方は避けた方がいゝ。

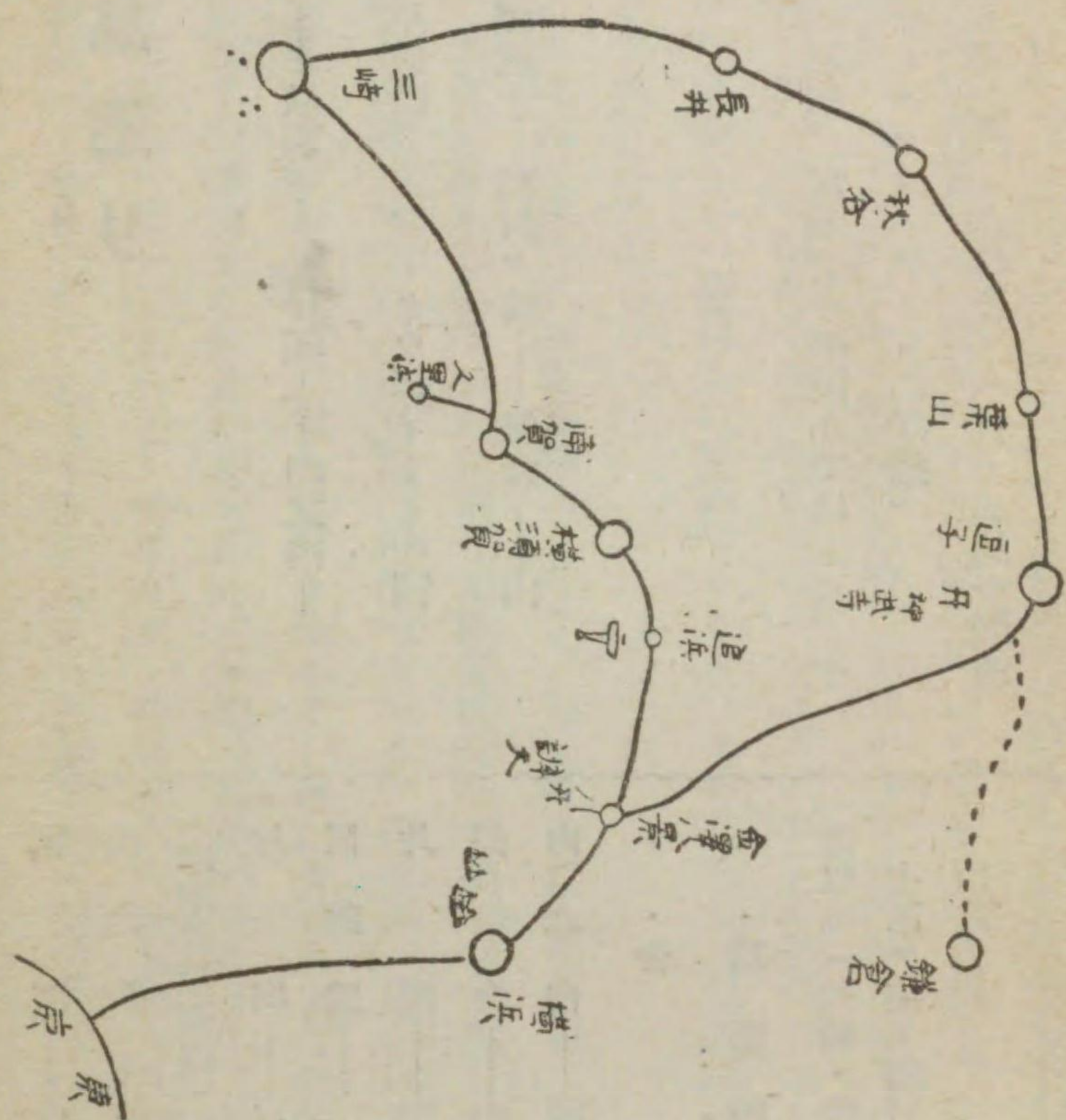
又このドライブは長くもあり、道も比較的狭く、悪く、色々な點で苦心しなければならぬと思ふから、相當



自信のある、経験の多いドライバーにおすすめる。

久里濱である。最近豪壯な久里濱ゴルフ場が出来た。浦賀より久里濱迄は三K。引き返して三崎街道へ、十數K三十分の行程、此處ではゆつくり遊ぶことである。奇岩重疊の油壺があり、油壺と小網代の入江の岬角に帝大臨海実験所の水族館が、更に海上指呼の間に俚謡の城ヶ島が浮いてゐる。城ヶ島の親島の如く向ふに横たわつてゐるのは大島、御神火の煙がゆら／＼と立ち上るのが手にとる如く見える。歸路は長井、秋谷、葉山、逗子と、湘南の勝地を傳ひながら、軽く楽しいドライブで、逗子から時間があれば神武寺に詣でるもよく、元の六浦、金澤八景へ抜けて引き返す。

◎注意 本コースは東京灣要塞地帯のためカメラ携行は遠慮されたい。



江の島廻り

横濱——弘明寺——戸塚——山之内——
 専用道路——パークウェイ——片瀬
 ——腰越——稻村ヶ崎——鎌倉——山
 之内

暖かい湘南、清い湘南、京濱より手近かではあり、やさしい、家族的なピクニックドライブに好適。
 横濱市弘明寺より山之内（北鎌倉）へ行くが此の間四

横濱——山之内	一八K
山之内——専用道路	一
(専用道片瀬迄)	
片瀬——パークウェイ	一〇
同歸還——	一〇
片瀬——鎌倉	七
鎌倉——山之内	二
山之内——横濱	一八
・合 計	七四
・所要時間	七時間

遊覽地（大船・鎌倉山・江の島・パークウェイ・七里ヶ濱・稻村ヶ崎・極樂寺・長谷観音・鎌倉山之内）

十分もあれば充分である。山之内より右折して大船驛へ、新築した松竹大船撮影所を觀るもよし。

再び大船驛へ、驛裏の大船専用道路を一氣に片瀬に向ふ。道は良好と迄はゆかぬが交通量も餘り多くなく安心してドライブが出来る。たゞ急坂が多く前方の見通しが利かぬのと路傍の軟弱の個處が多いから、無暗にスピードを出すことは禁物、ゆつくり四圍の風光を眺めながらドライブする程度がよい。此の専用道路の通行料金は二十五銭だが、箱根の八十銭とか一圓以上に比較すると安いものである。道路は途中鎌倉山より分岐するが右方コースより片瀬へ、此の間八Kである。

終點近く目白山を抜ければ緑の江の島は眼前に浮き、風光最もよろしき處、専用道は瀧口寺口で終つてゐるから、其處で右折し、郵便局前を左折して江の島電車停留所前へ、踏切を右折し線路と分れて左方へ（此のあたり路次裏の如く通行頗る困難、大型乗用車の通行不可能である）山本橋、此處は殆んど四季を通じてハゼが釣れるのと橋上の富士の眺めがよいので有名、附近に車を留めて一時間を釣に興じるのもよい。

山本橋を渡つて左折し住宅地を小田急停留所前へ、其處より橋へ向はず右方の小路を抜ければ坦々とした帯の如きドライブウェイが展開するが、これがドライブアールの待望久しい湘南パークウェイである。左に見えるのが片瀬橋、江の島棧橋はすぐ前に、江の島の坂を登る人々が繪の如く見えるであらう。

パークウェイを西に、未だ正式に交通を許可されてゐないので乗入口が悪く、車の影は至つて少ないから、此

の一二米幅一〇Kの區間を時速一〇〇Kで飛ばすことも出来る。(此の道は大磯迄、昭和十一年内には完成し、更に片瀬より鎌倉へは兩三年間に竣工し、次ぎは起點逗子に伸びるから全部竣工後は我が國ドライブウェイのNO.1に位することになるであらう)

パークウェイは湘南の海を取り巻く如く、渚に近く延びてゐるから、ドライブの快味は到底他の味はひ得ない興趣がある。

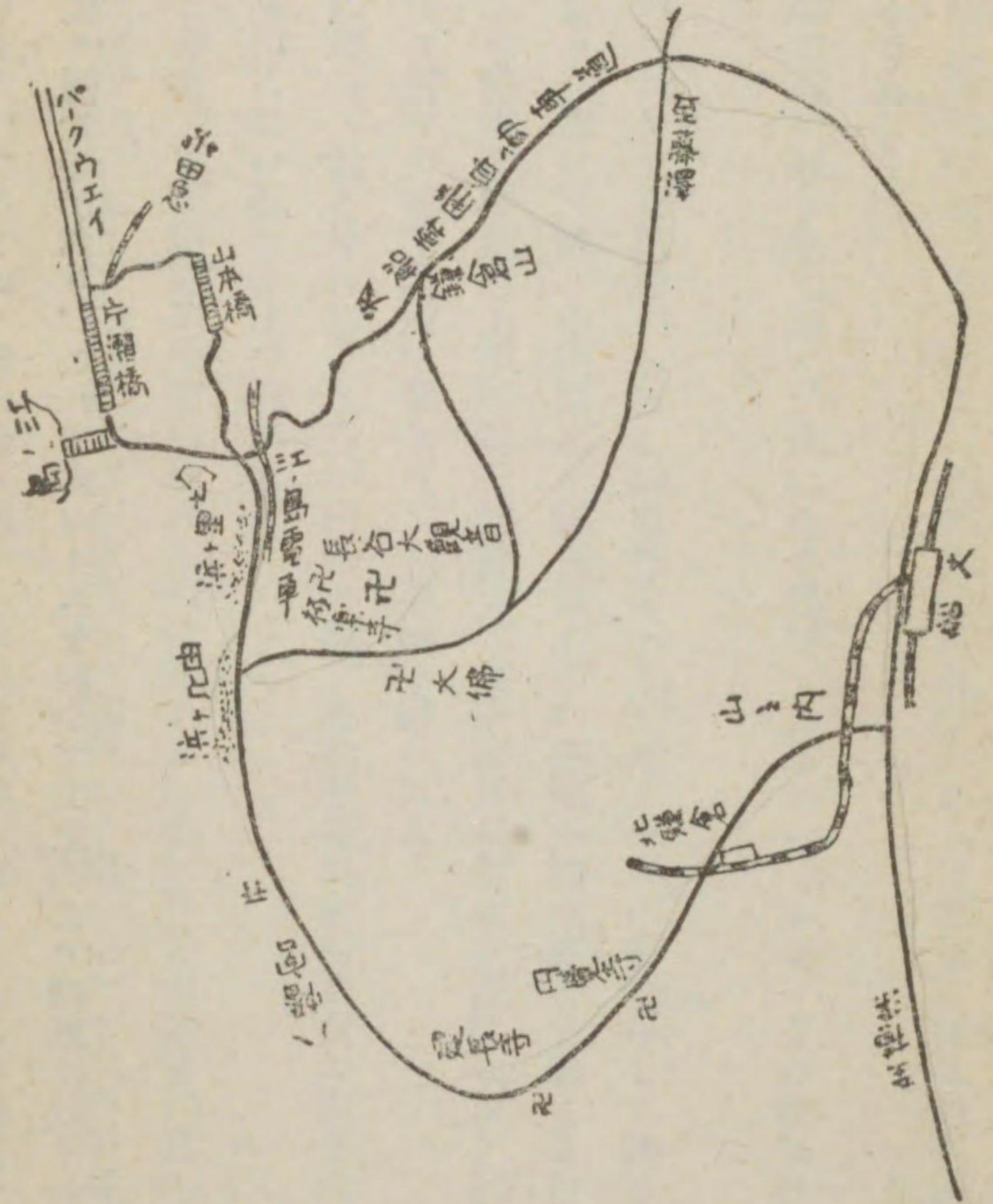
鶴沼の濱でランチバスケットを開け、しばし砂に寝そべり、ポータブルを鳴らして踊るもよい。夏なれば此處を中心に葉山、秋谷より、西は大磯、小田原迄、延長數十Kの海濱が海水浴客で埋まるのである。

午後は引き返して江の島電車停留所上手の道を鎌倉へ、途中窓外に寄せる波は七里ヶ濱の荒汐、電車線路の迂迴場所に「眞白き富士ヶ根」の逗子開成中學生ポート遭難の碑がある。

しばらくは濱沿ひに進み、海と分れるところが稲村ヶ崎、突端附近が新田義貞の古事の跡。坂にかゝると左手に極樂寺があつて、境内に紅白咲き分けの櫻がある。

極樂寺坂を越えると鎌倉、最初の電車停留所を少し行き左折した處が長谷大觀音、更に元の道へ引き返して突き當ると大佛がある。再び途を元へ、海岸寄りへ引き返し、左折した處が由比ヶ濱展望臺、四時渚に遊ぶ人の群は絶えない。

濱で三十分散策しなくてはなるまい。別に急ぐ旅でもないから氣の向くまゝに八幡宮へ、横濱街道を行くと建長寺、北鎌倉の驛に近く圓覺寺があり、これで本コースを終つて山之内より歸路に就くわけである。



相模山の手道了詣で

横濱——藤澤——平塚——伊勢原——
 榛野——松田——關本——小田原

此のコースはドライブの快味から云つても、遊覧地からしても、さ程推奨に足るものではなく、海岸線、津久井溪谷等の比ではないが、然し道了山へは一度ドライブしたいであらう……。

相模山手線として掲げることにした。
 横濱より東海道を平塚へ、其處より伊勢原へ入る。既に眼に楽しむものはなく、僅かに海岸線のドライブに馴れた者が山のある田園風光に興を咬られる程度、それも同じ風景の連続で、たゞわけもなくドライブするのみで

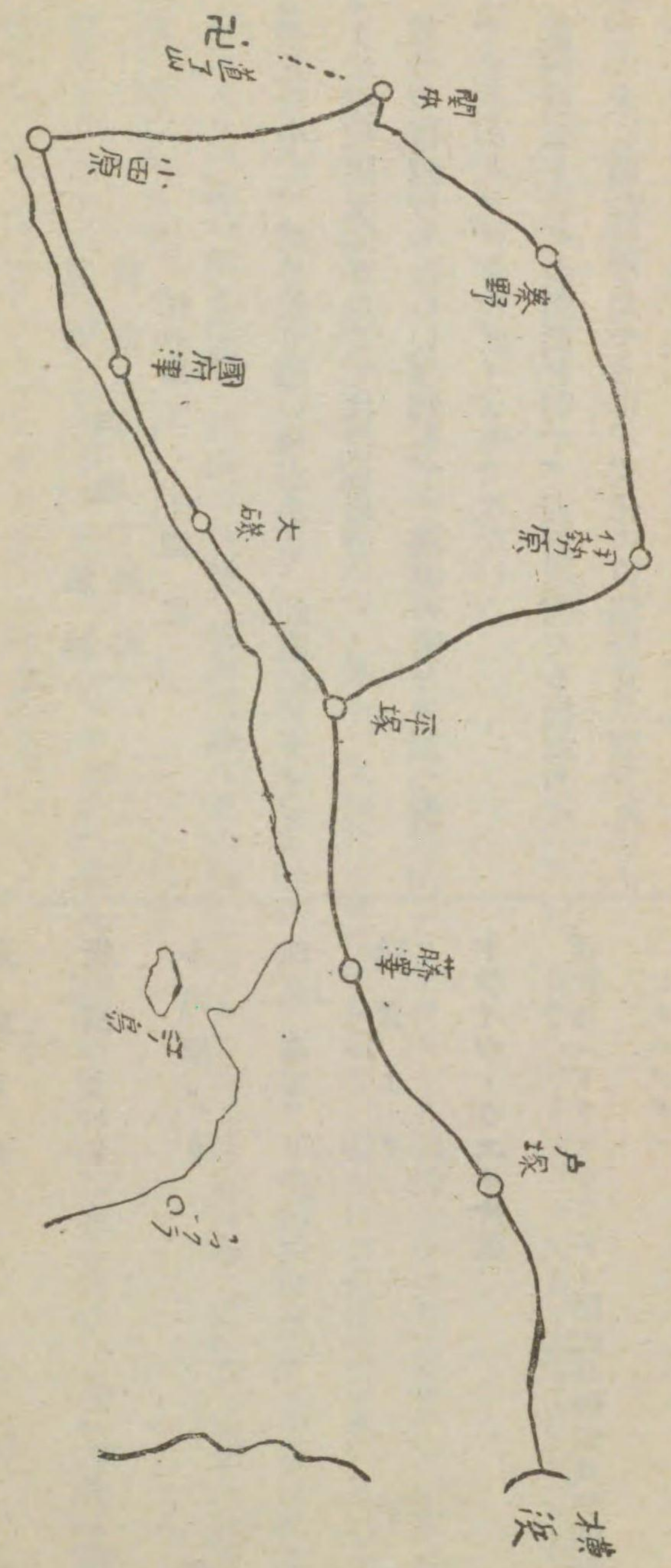
遊覧地 (榛野專賣局・試験場・道了山)	所要時間	合計
横濱——平塚	四一	K
平塚——伊勢原	一〇	
伊勢原——榛野	一〇	
榛野——松田	一一	
松田——關本	一七	
關本——小田原	一〇	
小田原——横濱	六五	
合計	一五四	
所要時間	八時間	

ある。

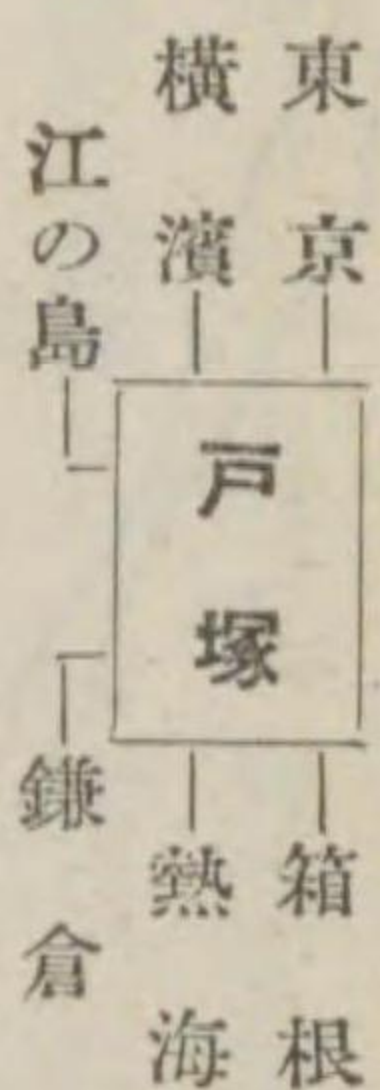
伊勢原から榛野へ、此處は北相の都邑であるのみでなく、日本一の専賣局試験場がある。煙草の改良は殆んど此處で行なわれるといふことを聞けば、是非共十分は費やさなくてはなるまい。

此のあたり道幅もかなりあつて、路面も崩れてゐない。松田迄坂が一つあるが無論案じる程のものでなし。松田より鐵道線路を横斷して、關本へ、此處より道了山へ向ふのであるが、自動車在此處に置いて一時間ハイクルのもよからう。最乗寺は有名な巨剎、山上の眺望又よく、豆相の海を見渡した時は思はず讚嘆の聲を擧げるであらう。

下つて小田原へ、然し此の道は餘りよくなく、小田原近くとなれば整つた道路となる。小田原よりは東海道を氣まゝに東上すれば、山の手をドライブしたことも滿更悪くなかつたと思はれる。



戸塚ドライブ・ウェイ



平凡な中に、案外捨て難い味がある。此處にドライブ
 アーの探究眼を開かなくてはならぬ。

郊外の腹減らしならいざ知らず、騎虎の勢ひでぶつ飛
 ばすのみがドライブのダイゴ味ではない。

東海道五十三次の面影を宿す、古色蒼然たる松並木は
 年とよもに齒が抜けたやうに、文化の貪慾に食ひ荒され
 てゆくが、東端の『歴史』を残す神奈川縣戸塚の松並木
 に、平凡の中に、云ひ知れぬ味はひを感じる。

東京より

四八五

横濱より

一八

小田原より

四九

江の島より

一一

鎌倉より

一八

ドライブ・ウェイ片道

四

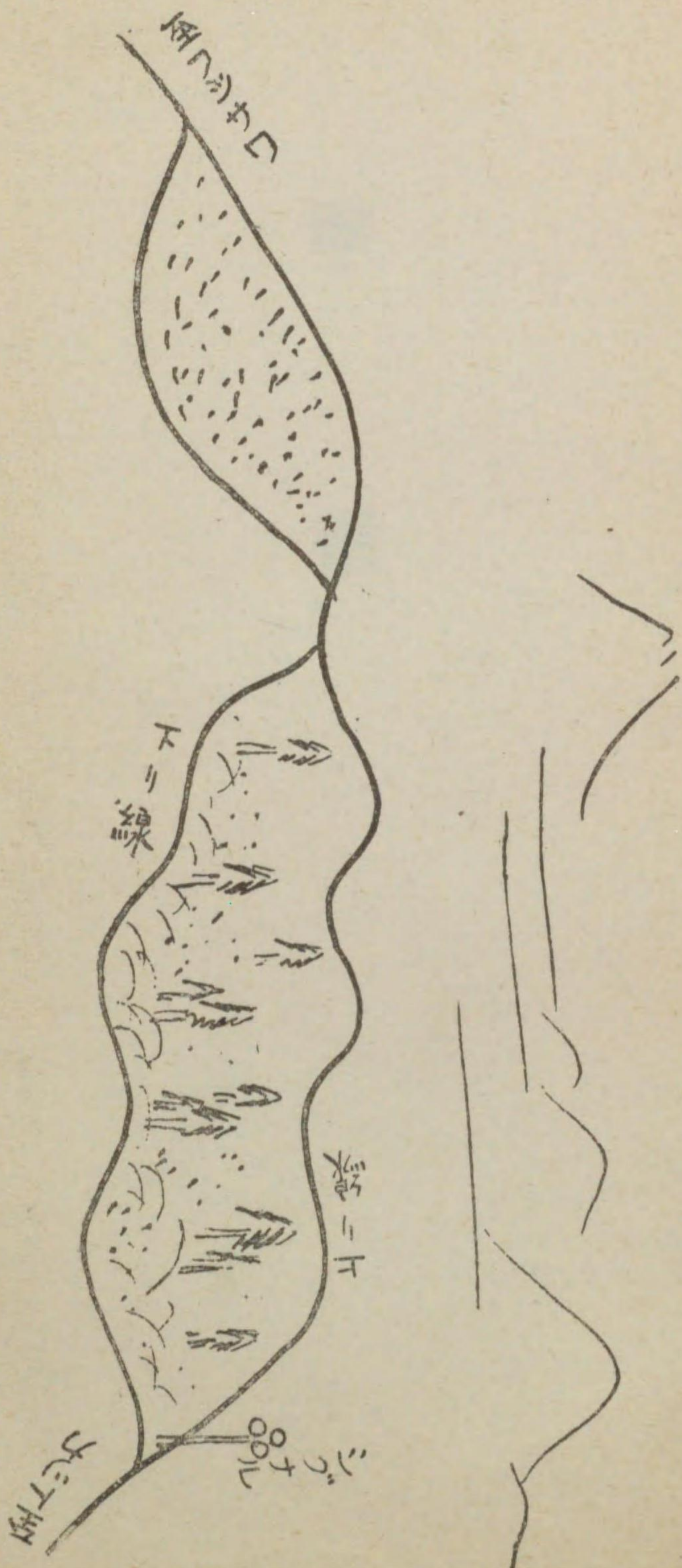
遊覽地 (ドライブウェイ附近の散策及び湘南への
 ピクニック)

第一號國道の改修に際し、打ち並ぶ松の古木を伐り倒し、直線の八間道路をぶち通すことになった。
 これを聞いた保勝會が、古木存命運動を行つた結果、並木を挟んで上り下りの兩線をつけることになったが、
 此のため、偶然的なドライブ・ウェイを完成したわけである。
 自動車東海道中には、誰れしも此處を通らなくてはならない。豆相へのドライブにも、必ず存命の松の下を潜
 らなくてはならぬ。

並木を中に挟んで、一方通行が確立してゐる上に、理想的なコンクリート舗装となつてゐるので、大ていのも
 のは、七十キロ位で、無心の裡に飛び去つて終ふ。又西行の者は先を急ぎ、歸りは夕景に追ひ立てられるから、
 下車してしみじみと戸塚のドライブ・ウェイの好ましさの味はふものもなく、中間的存在としか扱はれてゐない
 東京より戸塚の踏切迄約一時間の行程、舗装道路は更に續いて、モールドは氣持ちよく亙つて約三分で松並木
 の坂に差しかゝる。

坂を上り切ると、眼鏡の如きトラフィック・シグナルが見え、其處から道は二本に分れ、既に古松は肅々と風
 に歌つてゐる。戸塚ドライブ・ウェイの入口である。

幅員六M位、松並木に芝生を盛つた逍遙地帯は、厭でも車を留めずはに置かぬであらう。
 往くこと約五百M、左手に懸崖を見るあたりにストップするが、一方通行なのと、車へ出入りするため、道の



右側に留めて置かう。

並木の根元に上れば、左方に半島の連山起伏し、右方に豆相の高峰を壓して、靈峰富士が偉容を横たへて人待ち顔である。

夏は涼しく、秋は野花を飾り、冬は暖かきこと、山間の地とも思はず、カメラをとれば四、五枚のシャッターを切らなくてはならぬ。

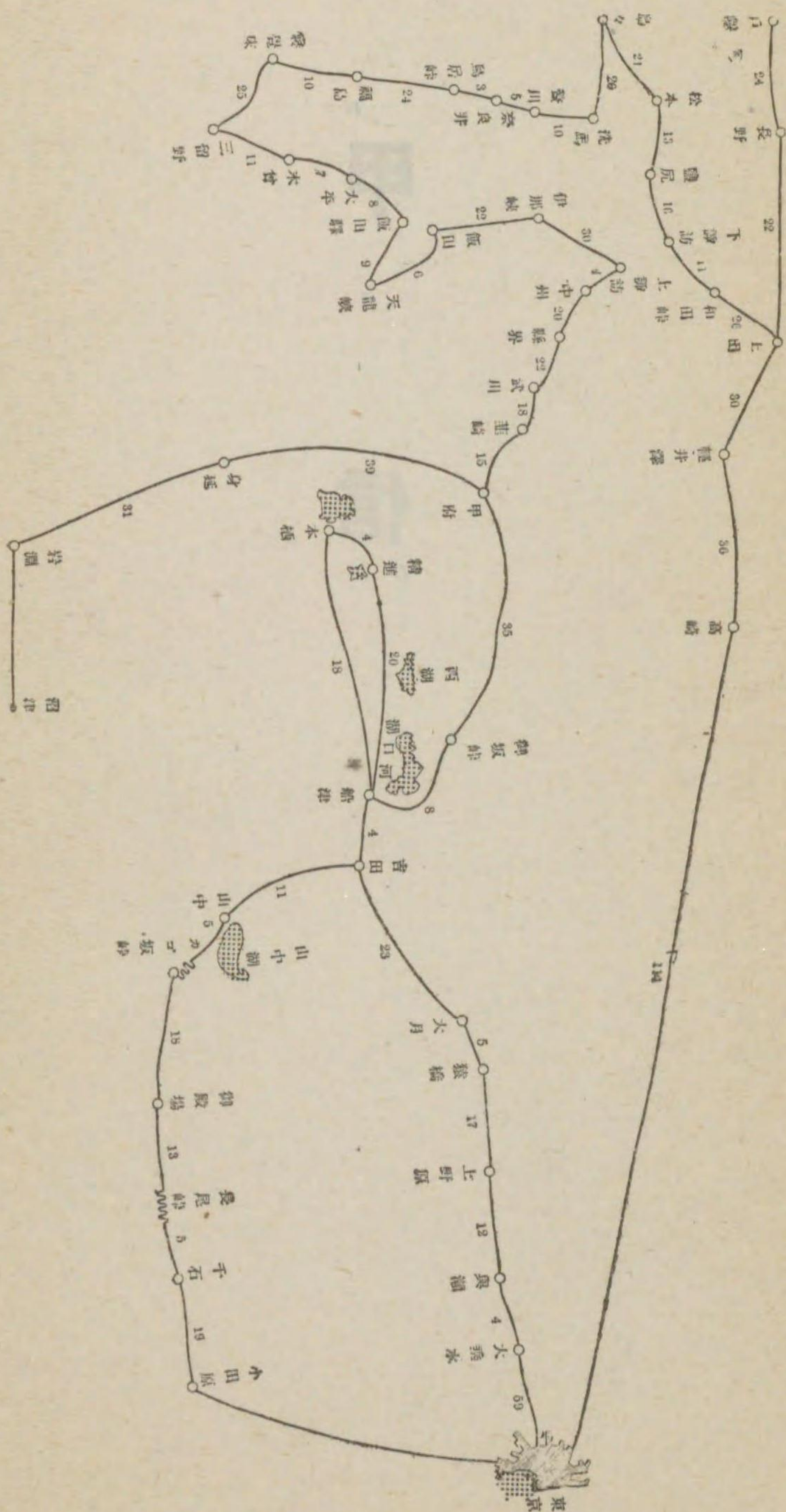
此のコースは約四K半續いてゐるから、悠々二時間は過ごせやう。

然し此處に来て遊べば、箱根にのせず、更に引き返すだけでは何となく一日が惜しい。歸りを利用して湘南の海邊を巡りたいから、是非共家族連れで出かけやう。

無論車中に折詰めの用意をし、晝食は保留して藤澤へ五分、それより道を鶴沼に、其處の濱でしたよめる。數分間にして、中洲の海濱に乗り出すことが出来るが、これよりは江の島廻りのコースによればよい。

甲

信



信濃路と温泉巡り

東京—八王子—船津—甲府—上諏訪—伊那—天龍峽
 —木曾—奈良井—五千尺—松本—淺間—鹽尻—上
 田—輕井澤—東京

武川	韭崎	甲府	船津	猿橋	東京
縣	武川	府	津	橋	猿橋
界	川	崎	府	津	橋
二二	一八	一五	四三	三二	九二K
天龍峽	飯田	伊那峽	上諏訪	中州	縣界
飯田驛	天龍峽	飯田	伊那峽	上諏訪	中州
九	六	二二	三〇	四	二〇
木曾福島	寢覺床	三留野	木曾頂上	大平頂上	飯田驛
鳥居峠	木曾福島	寢覺床	三留野	木曾頂上	大平頂上
二四	一〇	二五	一一	七	八

鳥居峠	奈良井	三	稻	扱	松	本	二四	・合 計	七八八
奈良井	贄川關趾	五	松	本	浅間温泉	七	・所要日數	四日	
贄川關趾	洗馬	一〇	浅間温泉	鹽尻	二六	遊覽地(富士・御坂峠・上諏諏			
洗馬	島々	二六	鹽尻	下諏訪	一〇	伊那・天龍峽・大平峠・寢覺			
島々	稻扱	三	下諏訪	和田峠	一一	床・木曾・梓川・上高地・淺			
稻扱	釜道	一九	和田峠	上田	二六	間温泉・和田峠・別所温泉・			
釜道	大正池	二	上田	輕井澤	二七	輕井澤)			
大正池	五千尺	五	輕井澤	高崎	四六				
五千尺	稻扱	二六	高崎	東	一一四				

朝五時三十分、早曉の東京を後に、甲州街道を一氣に、大月迄つツ走つた。此處から笹子越と行きたい處だが、残念乍ら未だ自動車は不通で船津へ向ふ。河口湖畔で持參の朝食を濟ませ、御坂峠の富士を觀賞しつゝ甲府へ下つた。

思つたよりも道はよく、又變る景色も珍らしい。午後二時に甲信縣界、上諏訪の布半旅館へ四時三十分着、メーターは、二七六K。途中氣のむくまゝに三時間以上遊んだらしい。翌期八時發、諏訪湖から天龍川の上流を伊那へ、此處から二K進んだ處に伊那峽がある。開發者なる、龍宮亭の主人の苦心談や、傳説等を聞き乍ら、舟を浮べて旅情を慰める。飯田から天龍峽へ、同所は餘りにも有名で、改めて此處に記す迄の事もあるまい。天龍峽橋の袂で記念撮影をして晝食をしたため、飯田へ戻り、本コースの難所と思つた大平峠……紅葉の大平峠。日はアルプス連山へ傾いたので、下りは急行で中央線の三留野へ出る。

此處は大平と木曾の兩峠からなつてゐる、中央アルプス木曾峠、海拔四千五百尺と記載してあつた。最早ライトが必要になつたので、未知のことゝて三留野で宿を取る。翌朝は宿の人達の眼覺めぬ内から起き出して、愛車のサービス滞りなく、朝食もそこゝに七時發、木曾川の溪流と同伴で上る事二五K名勝寢覺の床へ着いた。明治大帝の御座所を拜し、傳説で名高い、浦島太郎の釣竿や、姿見池等を見て、しばし御伽の國へ來た様な心地になる。此の邊から、左に御嶽右に駒ヶ嶽と、木曾山水の美を満喫しつゝ、木曾節で有名な福島へ着く。辨當を買ひに驛へ行けば、昔乍らの白衣に白鉢卷の金剛杖を携へた、御山の信徒達が長蛇の列をなして下山する様は、此處な

らでは見られぬ風景、御嶽登山者は毎年十萬を數へる由。フィルムや食料品の補給をして鳥井峠も、木曾節を合唱しながら、何時の間にもやら乗越えて、賢川の關跡を横に見て、往時の旅人の辛苦を思ひやりつゝ、早や洗馬に來る。

此處から松本を通らずに、上高地へ出る道を選んだ爲、道に迷つて閉口したが、どうにか島々へたどり着いた眺望はよし、空腹になつたので辨當を開く。愛車にも水を與へたり、油をやつたり、すつかり準備も出來た。此處からは梓川の清流に沿つて遡る、すばらしい溪谷美である。清流と奇巖、莊嚴と云ふか、奇觀と云ふか、神巧の妙云ふべくもない。

上高地の入り口に近づくと、巖石の間から湧出る温泉があり、道路入夫の樂天地野天風呂が處々に見受らる。

釜隧道は昭和八年秋の開通で、上高地隨一の難所、隧道の中が五分の一の急勾配で、おまけにカーブが有つて水は河の如く流れ、入り口が又角形のカーブの崖で、出た處が又々五分の一の勾配、どんな車でも、一度ストツブしたら前後進共困難だから、一氣に登らねばならない。

目の前に大正池の嚴かなる沈黙、鏡面を流るゝ微風のにほひ、白煙ほのかに浮ぶ焼岳の感觸、初め熱火の洗禮を受けた白樺が、今は池中に水葉を修して居る様は、一種の奇觀である。

梓の中程に風流な釣橋があつて、河童橋といふ。アルプスが人間に送る清純の水、神代が偲ばれる神秘さであ

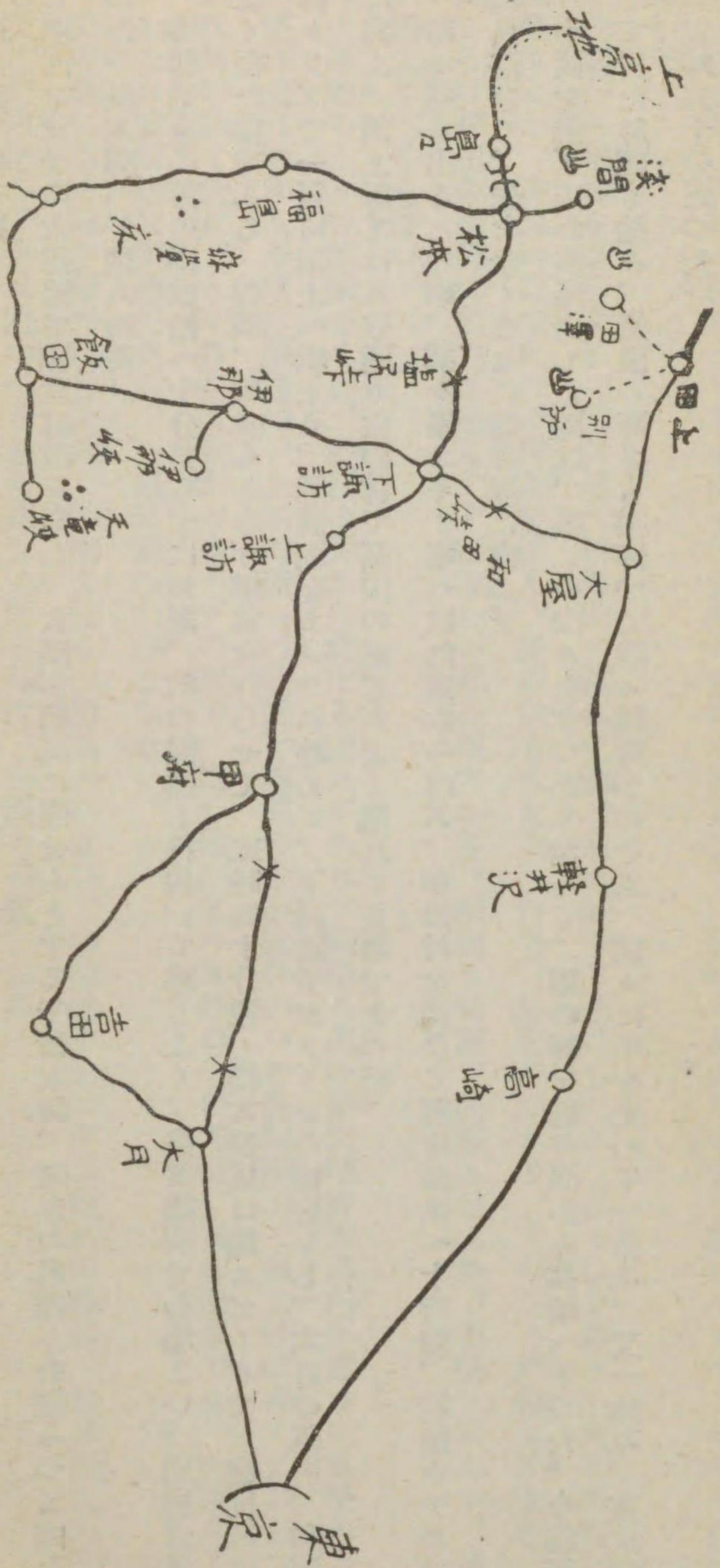
る。文明の力も、自然には抗し難く、此處から先は通行止だ。旅舎五千尺が其の側にあつて、登山者の便利を計り風光悉く俗を抜く。

穂高を背景に大正池で記念寫眞を撮し、太陽が穂高に没せんとする午後五時、盡きぬ名残りを惜みつゝ山を下つた。松本驛へ午後八時着。

浅間温泉の芳の湯旅館へ十分足らずに到着、宿の設備も行届いて感じよく、泉質透明で心地よい。別所温泉によく似た湯である。翌朝、朝食もとらず辨當を作らせて、五時四十分發、松本鹽尻は超スピードで、鹽尻峠は全部トツプで一氣に頂上へ駈上り、諏訪湖をカメラに收めて、下諏訪でガソリンの補給をし、本日の難所、和田峠に向ふ。頂上近くは八分通り白樺林で高山の感じがよく現れて見事であつた。

時々熊も出るとの事、霧ヶ峯スキー場へは此處から四K、和田村を過ぎて別所温泉へ十時着、花屋ホテルで一風呂浴びて、先を急ぐまゝに輕井澤に向ふ。

小諸を過ぎてから降出した雨は、碓の山々をすつかり包んで、霧の峠を輕井澤から高崎へ下つた。今迄緊張して居た神経も弛み、気温の高さも手傳つて時々睡魔がおそふ。處々に車を止めて一休み、又一休み、東京歸着が五時五十分だつた。



富士五湖巡り (一泊)

東京—大垂水—大月—吉田—御坂峠—川口湖—精進
 湖—山中湖—御殿場—東京

東	京	—	日	野	三九K	河口湖	—	本栖湖	一八	小田原	—	大磯	一九
日	野	—	大垂水	二〇	本栖湖	—	精進湖	四	大磯	—	藤澤	一九	
大垂水	—	與瀬	五	精進湖	—	吉田	二四	藤澤	—	横濱	二五		
與瀬	—	上野原	一二	吉田	—	山中湖	一一	横濱	—	品川	二二		
上野原	—	猿橋	一七	山中湖	—	駕籠坂峠	五	合計	三四一				
猿橋	—	大月	五	峠	—	御殿場	一八	所要日數	二日				
大月	—	吉田	二三	御殿場	—	長尾峠	一三	遊覽地	(大垂水・猿橋・河口湖				
吉田	—	御坂峠	一二	長尾峠	—	仙石原	五	御坂峠・本栖湖・山中湖・長					
御坂峠	—	河口湖	七	仙石原	—	小田原	一九	尾峠)					

正午を過ぐる事十分、東京市内を出發新宿を経て八王子へと、甲州街道を約四十五K平均に、ひた走りに走つて(一時十五分日野橋通過)大垂水頂上に一時五十分着、同所にて約卅分休憩、其の間ラヂエターに水を補充し出發の準備をする。

東京大垂水間六〇K、淺川大垂水間に上り坂があるが、其れ以外は完全な補裝道路で運轉頗る容易。

大垂水を二時二十分出發、下り坂を鮎で名高い與瀬に至り、更に七・六Kを十五分で突破して上野原に向ふ。

上野原三時五分通過、猿橋四時九分着、茶菓を喫しガソリン補充の上、四時廿五分出發、大月を経て吉田に五時十五分着、疲勞を覺えたので、下吉田の杉林旅館に一泊する事とし、旅具を手にして二階の室に至れば、遙か大月あたりより雨雲次第に晴れあがり、折から夕空に富士の上半をクッキリ覗かせた壯麗さ、都會に生活する者にとつては、得も云はれぬ爽快さを感じた。

翌朝晴天、朝食をも攝らず、午前七時吉田を出發し河口湖畔(船津)を経て、七時半御坂峠に差掛り八時には頂上に至る。河口湖畔(船津)より約七Kにしてかなりの勾配の爲、途中三四回休み、寫眞を撮り又は見物等に時間を費しエンヂンを休めつゝ登る。

御坂峠は、名にし負ふ本コース中最も景色の優れた所、當コースのドライブを望まれる方は、相當の時間をさかれん事を御勧めする。



頂上では、或は附近のハイキング、或はカメラに風景ををさめ、約四十分にて、先を急ぐまゝ名残り惜しみつゝ頂上を去る。見下す山水の美、何物にも代へ難く思はれる。

下りは一氣に走つて再び河口湖畔（船津を経て小湖）通過九時五分、本栖湖迄、富士獨特の岩石の山路を縫ひながら、九時五十分着、用意の晝食をしたため、ラヂエター用に持參の水を以て喝を癒す。同湖畔を十時十分出發、精進湖ホテル着十時四十分。湖上に舟を浮べて遊び、十二時過ぎにホテル裏を出發。

歸路は吉田迄同一路を辿り、山中湖畔に一時五十分着、晝食の仕度の出来る間を、附近にて遊び、二時廿五分山中湖畔出發、駕籠坂峠二時十五分通過、同所迄上り約六K、其の後は下り勾配にて、御殿場を三時廿五分通過、長尾峠頂上迄十三K一時間半を費したが、約十五分登つては五分又は十分の休憩をとり、風景を眺め、或は富士の夕影を撮しなどしたからである。

全勾配の高低は五百米の差があり、エンジンの負擔を少くするために、斯く長時間を費したもので、此の區間約二十分の短縮は容易である。

仙石原五時廿分通過、小田原着六時廿五分、ガソリン補充後、東海道の夜道を約四十Kの速度で品川に歸つたのは九時十分であつた。

本コースを選ぶのは概ね家族連れであるが、早朝出發して船津（大屋旅館が宜しき由）にて河口湖を眺めなが

ら晝食をし、手荷物の一部を宿に預け、御坂峠に登攀して夕刻迄に同湖畔に歸つて一泊、翌日西湖（これは省略してもよろし）本栖湖、精進湖、山中湖の順にコースをとれば、夕刻迄に歸京することが出来る。右の中、精進湖もホテル側に出ず、同湖上をボート又はモータボートで遊び、本栖も西湖同様省略してボートにてホテルに行き晝食をすまし、山中湖に出るか、或は西湖本栖湖省略の上、更にボートで精進湖廻遊後、山中湖畔山中ホテルを中食とし、歸途につくのもいゝと思はれる。

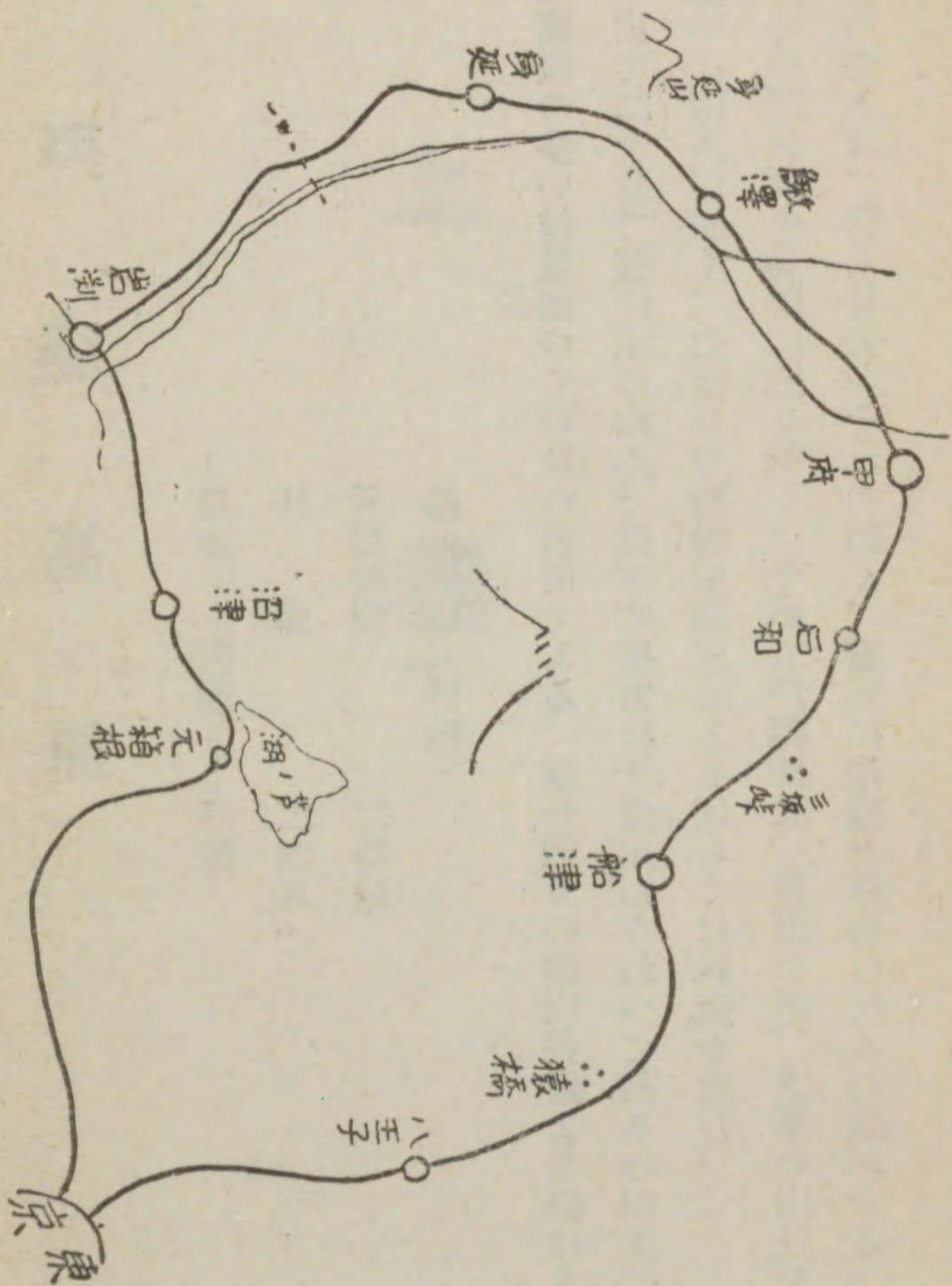
更にコースにも明るく、腕に自信のあるモトリストは、東京を夕刻出發し、夜半船津に着き（豫め先方の旅館に通じて置く）一寸睡眠をとり、夕刻東京に飛ばして歸るのも、夜と夕景を挿むドライブとして味がある。

とり暫く休息する。

此處で二つに分れた道を桑津の方にとつて、身延についたのが四時二十分、何はともあれ身延山にお詣りしていよく身延からは富士川下り、舟でこそ苦もなく一と流れたが、道は狭く、天下の奇勝は眼に止らず、把手に全身を打ち込むのみ。

岩淵、鈴川を通つて沼津についたのが七時四十五分、此處で夕食をとり元箱根九時四十分、小田原十時四十分餘りおそくなつたので、箱根で一泊しようかと思つたが、何しろ箱根までくると、家の玄關へ来た様な思ひがしてとても泊る氣になれない。ついに飛ばして家へついたので午前二時。土曜から日曜の夜半まで、疲れを忘れて面白い難コースを走破した。

富士川縁りの此のコースは、相當な難コース、よほど腕に覚えのある人でなくてはすゝめられない。



戸
隠
高
原

長野—廣瀬—戸隠

往 路 二四K

所要時間 二時間

遊覽地(戸隠)

戸隠は高原の多い信越切つての秋の名所である。信州廻りの途次長野より分け入れればよい。

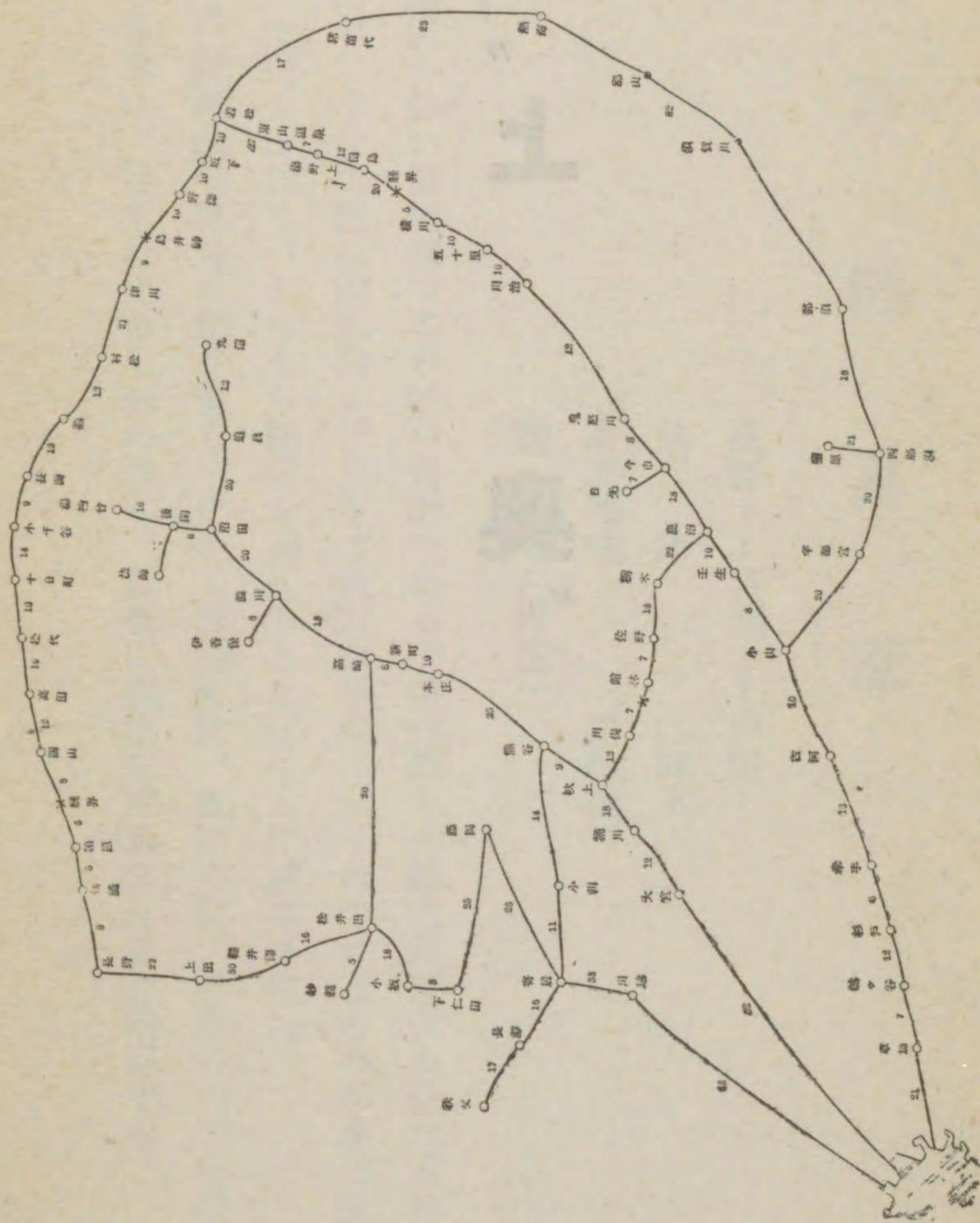
長野を出て二十分で既に山に向ふ。見下す彼方に千曲川がうねつてゐるのがまづ眼を聳たしめる。道は山の中腹を縫つて這ふが如く、七曲りの難所を過ぎるとしばらくは林道を進む。

後數分で戸隠神社の鳥居に辿り着く。やがて戸隠神社、高原の道、芝草の山丘を抜けてゆくと奥社、周圍四米位の老杉の並木は、恰も日光のそのの如く、靈氣に俗塵を淨められる心地がする。

”
上
奥
”

會津・越後廻り

東京—古河—鬼怒川—若松—猪苗代—東山温泉—長
 岡—關山—柏原—長野—上田—輕井澤—高崎—東
 京



鹿沼	壬生	小山	古河	幸手	杉戸	越ヶ谷	草加	東京
—今市	—鹿沼	—壬生	—小山	—古河	—幸手	—杉戸	—越ヶ谷	—草加
一八	一〇	八	一〇	一六	六	一二	七	二一 ^K
猪苗代	若松	湯野上	田島	縣界	五十里	川治	鬼怒川	今市
—金澤東山	—猪苗代	—若松	—湯野上	—田島	—縣界	—五十里	—川治	—鬼怒川
一七	一七	三四	一二	二〇	一五	一〇	一二	八
小ヶ谷	長岡	燕	村松	津川	鳥井峠	野澤	坂下	東山
—十日町	—小ヶ谷	—長岡	—松	—川	—津川	—鳥井峠	—野澤	—坂下
一四	九	一三	一二	二一	九	一〇	一〇	一〇

十日町	關山	縣界	柏原	無禮	長野	長野
—關山	—縣界	—柏原	—無禮	—長野	—長野	—松代
三八	八	八	五	八	一〇	一〇
松代	上田	小諸	輕井澤	松井田	高崎	高崎
—上田	—小諸	—輕井澤	—松井田	—高崎	—高崎	—東京
一六	一五	一五	二〇	二〇	二〇	一一四
・合計	・所要日數	・遊覽地	・山王峠	・湖	・阿賀	・阿賀
六三八	四日	(幸手土堤・日光杉並木)	・湯野上溪谷	・飯盛山	・激流	・激流
			・猪苗代	・東山温泉	・善光寺	・善光寺
				・湯川	・川中島	・川中島

所謂東京の大圏コース、三、四泊の旅を求めて磐越一と巡りに乗り出したが、何がさて足もエンヂンも故障續出でスケジュールは滅茶苦茶、遂ひに夜を徹して走り抜く有様となつた。これによつて我が國の田舎道は未だ不完全なものであることが明らかに首肯されたが、更に不案内な地方の夜のドライブは危険なものであることも體

験した。

短い日數を出来るだけ有効にと頭をひねつて、案出した四泊ドライブ、鬼怒の上流男鹿川を経て會津若松へ出て猪苗代湖に遊び、磐越街道を新潟へ廻つて歸らうとのスケジュール。

前夜の中に用意滞りなく済ませ、午前二時を合圖に發車、大東京の丑滿時、人影もない廣い道路に自動車のライトだけが魔物の様に、右往左往する。

陸羽街道は草加迄の一直線の舗装道路、目を遮ざる何物もない。メーターは六〇から七〇を刻んでゆく。

幸手から栗橋への利根川の土手六Kの櫻樹は、絶好の花見場所、小山の三叉路でメーターは九三K此邊から日光街道特有な情趣に富んだ道筋で徳川三百年の榮華の跡を自然の風景から感じられる。鹿沼を過ぎた頃東天紅に燃え出する。

日光で有名な杉並木の傍らに車を止めて、持參の朝食をしたため、落葉を集めて焚火をすれば、神靈の遊ぶを覚える。

今市から鬼怒川への途中橋の修理の爲に佐越の釣橋を渡つて鬼怒川着が八時、此處から會津若松迄は溪谷美の名所、川治を過ぎ五十里では橋が腐つて渡れぬため河渡りをした。アジア大陸横斷の映畫が胸に浮ぶ。

景觀の優れた縣界の山王峠をフィルムに収め、山を下れば會津平野が眼下に擴がる。

湯野上附近は會津耶馬溪の稱ある景勝地、温泉と溪谷美。川治の上流を處女美と名づけるなら此處は洗練された爛熟美の代表地と申したい。

若松着が午後二時、少し疲れたやうだが、時間もあるので、瀧澤峠を一氣に猪苗代湖へ。紺碧の水底に遠い昔の傳説を秘めて静寂を守つてゐる、廣々とした湖水に帆かけ舟が一艘二艘、前面には會津の名山、磐梯山の秀峰。歸りは飯盛山に車を止め、白虎隊の墳墓、自刃の跡等舊跡を尋ね忠勇義烈な其の心事に敬虔の念を起さしめ、當時を忍んで暗涙にむせぶ。

東山温泉不動瀧旅館へ四時二十分着。湯川溪流飛瀑散る谷合ひの、奇岩連なる處に湧き出るつ温泉、自然風呂に浸り乍ら窓を閉けば旅情を慰むるに充分である。

奥羽三樂郷の一つ、湯川の音を聞きながら寢に就く。翌朝七時半出發。

坂下町、野澤を経て津川迄は自動車は愚か、人も通はぬ淋しい山道。道路は農家の仕事場と化し、天下の公道を頭を下げ乍ら通して貰つた。

津川村、松間は阿賀野川に併行して、通路と鐵道とが走つてゐる。阿賀の壯快な激流、兩岸の山々の雄大さは

本コースで男性美のNO1。

翌くれば……とは云ふものゝ午前三時と云ふに出發の用意。長岡で辨當を求め見覚えの道を超スピードで小千谷迄。此處でコースを間違へて三十K程逆行した。

十日町から大割野へ迎り付けば、大雨の爲に假橋が流失して通行止。東京行は直江津へ迂回と聞かされて唯呆然たるのみ。

かくてはならじと、松代から十文字を過ぎ、新井へ出てホット一息する間もなく關山田口のゴト／＼道。國道の真中に播白大の石が露出して乗心地の悪いこと夥しい。

長野縣へ入つてからは、見違ふばかり道路が整つてゐるのが何より嬉しかった。長野着が五時三十分。民衆信仰のみ光、善光寺へ參詣したはよいが、間もなく事故の續出に豫定より四時間以上遅れたので今夜は戸倉か別所温泉に一泊と、ハンドル切つた刹那、ギャに故障を生じて動かない。

町の修理所にかゝつてゴテついてゐる間に夜中となつた。まゝよ此のまゝすつ飛ばせと午前二時半出發。深夜の信濃路も又興味深い思出だ。川中島の鐵橋を篠井から屋代へ向ふ、一直線の新國道に怪しい二三の人影。さては、あやしき者と、怖々通り過ぎ様とすれば、大喝一聲ストップ。折悪く長野縣下の非常警戒、上田迄六、七回

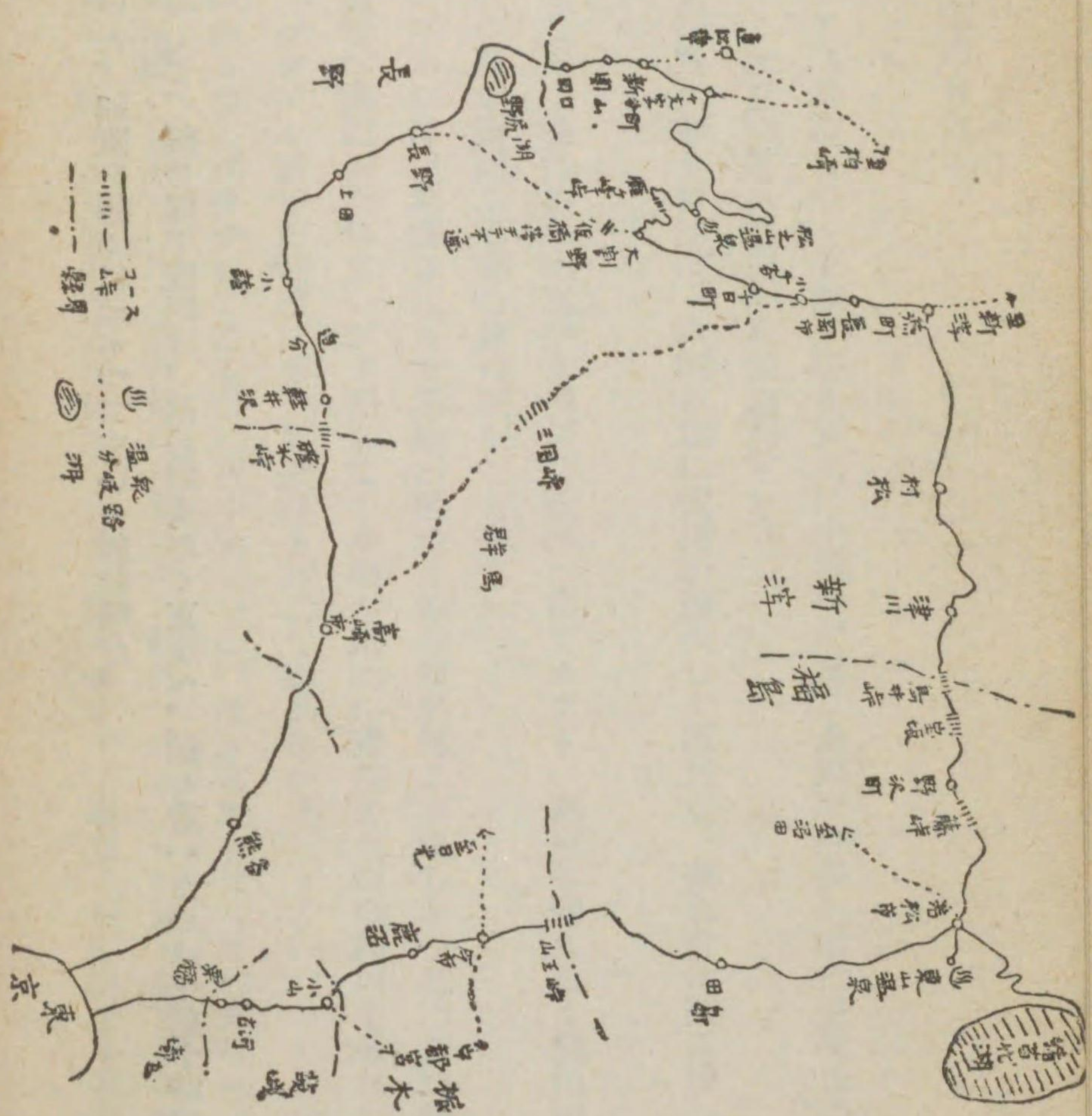
の取調べを受けた。睡魔を拂ふにはもつて來いの刺戟劑だ。

小諸で一休みして、輕井澤で夜明け、休む間もなく東京へ、歸り着いたのは午前十時四十分だった。

會津那須廻り

東京—古河—日光—鬼怒川—
 五十里湖—川治—田島町—湯野
 上—東山—若松—猪苗代—上
 戸—岩代熱海—那須—東京

遊覽地	(日光・鬼怒川・五十里湖・川治・會津耶馬溪・湯野上温泉・東山温泉・飯盛山・猪苗代湖・岩代熱海温泉・那須)
所要日數	計
合	八一日
東京—小川	五六
小川—川治	二〇
川治—横川	二〇
横川—縣界	二〇
縣界—田島	二一
田島—東山	二七
東山—若松	四〇
若松—松代	八二
松代—熱海	一八九
熱海—那須	三四
那須—東京	三日



大東京の新名所としては、粹きすぎる千住の陸橋を越へ、快速七十哩を樂に出して、二本のスペヤールホイールを用意して、朝靄の中に消えゆく自動車は、行く手を急ぐツーリング、目的地は何地であらうか。今日のお晝は表日光川治温泉の上流、男鹿川畔で、ゆつくりと喰べやうかと、上野揚出しへ頼んで作つてもらつたお辨當、萬事OKで、車を馳らせて居る。利根の鐵橋も、古河の松並木も、何時の間にか通り越し、もう此所は栃木縣小山の三叉路、此の行程は二時間たらずで、道を日光禮幣使街道にとり、程なく七里の杉並木の中程、文狭村に着いたのは十時過ぎだつた。

この邊は誠に情致に富んだ村で、日光名所圖會に描かれそうな、老杉の並木間に清き流れ、草葺の茶見世二、昔の榮華を物語るにはふさはしき情景である。

程なく懐かしの杉並木に別れを告げると、これから山路だ、ガソリンをタンク一杯に補給し、大谷川を渡り會津街道へ中岩の勝景も迂回の爲めカメラに納めず、轟村を廻り鬼怒川の假橋を渡り、高德へ向つた。お關所を通つたあとで見返へりの松とは、今も昔も同じこと、つくづく考へれば考へる程スピード時代に馬鹿氣て居る。

うきな鬼怒川も横目で睨んで、男鹿川の溪谷美を探りつゝ、大岩こいわ水の中、わたしやあなたの方の中……など今覺えた許りの歌謠をうなりつゝ、五十里湖を後に川治に着いたのは、一時十分、東京から一三七K走つた。

川治温泉の上流男鹿川は、承德の昔までは長さ三里巾一里水深幾百尺の湖水で五十里湖と云つて居た、享保三年八月仲秋の月明な晩、地軸に響く物凄き音響と共に、山塊決壊して、靜かな湖面は忽ち奔馬の如き水勢で、山海嘯となつて鬼怒川の本流に押出し、平和にねむつた川治、栗山、藤原の村々は一瞬にして水底に没し、田畑家屋は悉く洗ひ去られ、今の鬼怒の谿谷の美を生んだ……と云ふのである。

此の恐ろしさは、今も尙ほ土地の人の口碑に残つてゐるが、今の世の人の走る五十里の高原は昔の湖底で、川柳の茂る山の端に、山毛櫨の林が聳々として連なり、その間を清流が靜かに音を立て、下つてゆく。

此の川筋の瀨には、鮎やヤマメが魚鱗を光らせてゐて、神秘そのものゝ如き風物の中に糸を垂れる釣人が三々五々と眼に映じる。

これより、路はつま先登りで、叢や雜木林の間をぬひ、或は腐ちはてた木橋をさけて水なき河原を渡り、谷川のせゝらぎを耳にしつゝ、横川と云ふ小部落に達した。

こゝより山王峠への登りとなり、砂岩の崩れかゝるデクザク道、登り降り二三哩で福島縣へ入る。道は次第に廣く、平坦な直線路となり、川治より一時間二十分で田島町に着く。こゝは南會津の物資集散地で、材木、炭などの産出多量、今では此處まで若松より汽車も通じて相當に榮へてゐる町である。

今日の行程もいよゝ若松まで五〇K程で終るので、車を走らせた。道路と鐵道とは大川の兩岸に平行して走

つて居る。この間の谿谷の美は鬼怒川とは趣きを全く異にして、砂岩が水蝕作用により、藥研の様に斷崖數丈きり立つて、その兩岸の中腹を、縫ふやうにて鐵路と縣道が通つて居る。外國人は米國コロラドの風景だと云ひ、土地の者に云はせると、會津耶馬溪と云ふて居る。「塔の崩」と云ふ様な奇景が澤山あるが、景色のよい所はなる程自動車の運轉が危険で、實はこの絶景も充分眺めることの出来ないのが残念である。午後三時半湯野上温泉を通過して道路故障のため東山へ一泊。

こゝは會津の東山……奥羽三樂郷の一つだけあつて、翠巒の間をぬふ湯川の兩岸には、巍然と立つたる高樓は軒を並べ階を重ね、夜に入つて絃歌頻りに湧き、温泉情調の濃厚なこと、鬼怒川、川治の比でない。

或る案内記には、美妓は三千の宮嬪か、王母の神婢か、桃李常に花咲き、梅櫻長へに綻ぶ、とは少しく大き過ぎるが、宿の女に内證で尋ねると美妓の數は六十位は居るそうである。流石に湯街の大勢には敵しがたく、夜十二時までとろ／＼眠られず、夜半に至り、玉龍躍る湯川の流水の音を枕に聞いて漸く寢についた。

翌朝若松市内の工業試験所を初め、漆工木工の工場を參觀し、大に得る處が多かつた。市内の見物も終り、白虎隊の墓にも詣でた。飯盛山の中腹に立つと、ローマ市より贈られた記念柱の墓石に刻まれる銘文は、確に武士道の精華を永遠に傳へて居る。

x

x

x

ローマ市、文明の母たるローマは、白虎隊勇士の遺烈に、不朽の敬意を捧げんが爲め、古代の權威を表はす、ファシスタ黨の鉞を飾り、永遠偉大の證たる千年の古石柱を贈る、西曆千九百二十年ファシスタ紀元六年

x

x

x

午後二時、若松を後にして、瀧澤峠を越へ、猪苗代湖畔戸ノ口十六橋に達した。こゝは湖水の排水口で、末阿賀ノ川となり日本海に注ぐ吐口で、此の邊は明治戊辰年八月、官軍と會津軍と双方天險により矛を交へた處で風光亦佳絶、スイツルの湖畔で見るやうな、なごやかな忘れられない景色であつた。

翁島から湖畔に出ると、磐梯山の秀峰も左に見え出した。その山の裾を曳いてるあたりが、猪苗代町である。この邊は冬季スキーに来て、地理も大分明かになつて来た。

あの向ふに見える森のあたりは、常磐津でおなじみの瀧夜叉姫の墓がある。

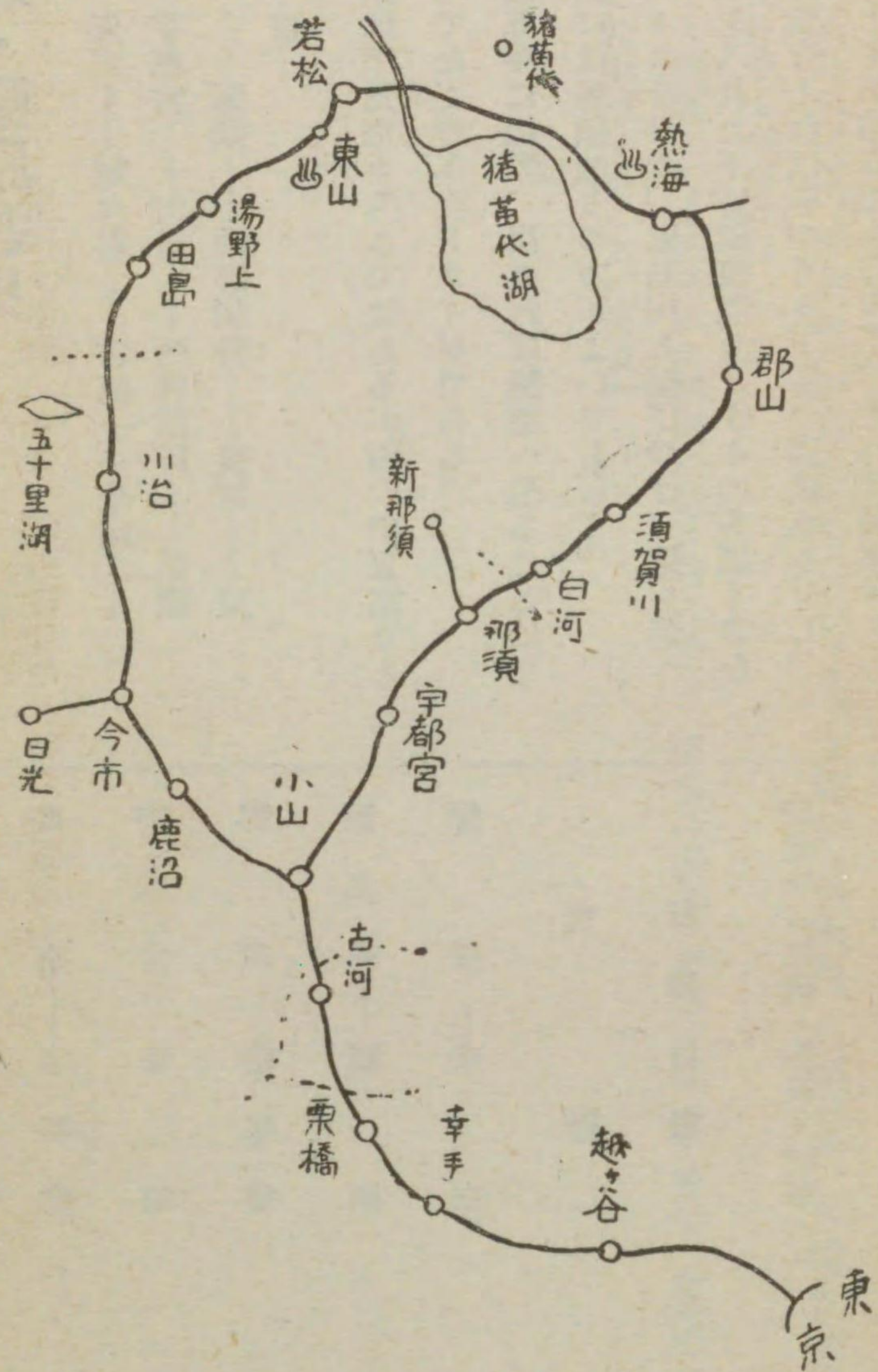
「忍夜戀曲者」俗に「將門」で「ソレ覺へてか若様は、袴も春の朧染、朧氣ならぬ殿振りや、見初めてそめてはつかしの、森の下露思ひは胸に、光國様……これは如藏尼則ち平將門の第三女の實録を劇化したものだそうである。

x

x

x

これより一路上戸に馳り、途中須磨の濱の如き小貫松の畔りで一休みし、安積疏水路に沿ふて、越後街道を東



にく。岩代熱海温泉に一泊、
 那須のいでゆに浸り、翌日は那須、東京へは四日目の夕刻六時歸着した。

那須・鹽原巡り

東京——越ヶ谷——古河——小山——
 宇都宮——矢板——西那須野——黒磯
 京——那須——西那須野——鹽原——東

那須、鹽原は平凡なコースではあるが西の伊豆巡りと相對する極めてなごやかなドライブである。

東京を午前五時に出發、出來れば鹽原へ泊ることになるが、一般的には那須泊りの方がよいであらう。

更に此のコースを日光、鬼怒川と結びつけ、慾を云へばも一つ川治を入れた下野温泉巡りとするのも悪くはない。二泊の豫定をとればゆつくり下野の温泉巡りをし、日光に遊ぶことも出来るであらうが、それは關係コース

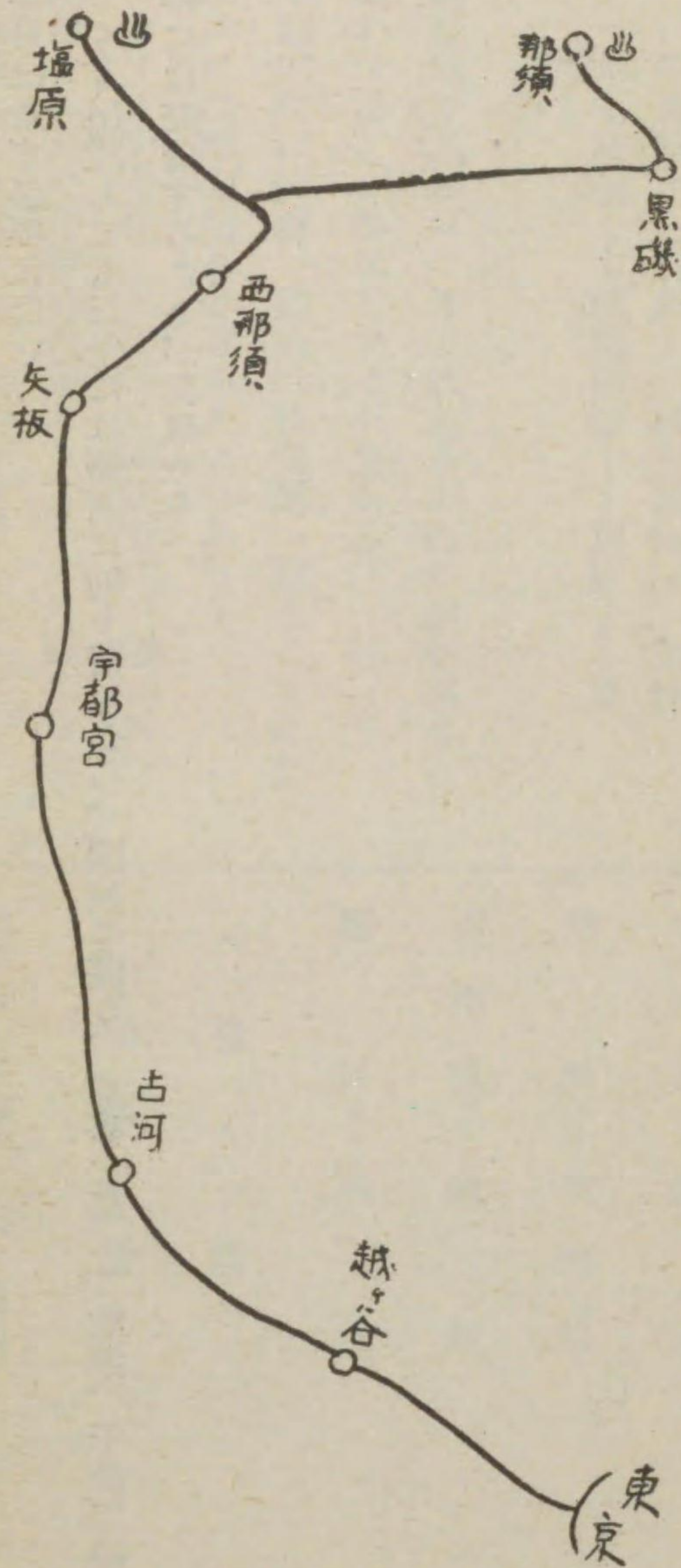
東	京——宇都宮	一〇一K
宇都宮	——那須	四九
那須	——西那須	三〇
西那須	——鹽原	二一
鹽原	——東京	一五二
・合	計	三五三
・所要	日數	二日

遊覽地 (黒磯・那須・鹽原)

との對照によつてスケジュールを立て、欲しい。

東京を午前八時に出發、宇都宮が晝食となるであらう。其處から矢板町、西那須野、黒磯を経て那須へ、宇都宮よりの半日は急ぐ必要はない。

翌朝ゆつくり出發しても正午には鹽原に辿り着くから、温泉に浸り、食事を終へて散策、午後二時に出發すれば午後八時には歸着することが出來やう。



上州廻り日光へ

東京—大宮—吹上—河俣—館
 林—佐野—栃木—鹿沼—今市
 —日光

東京より小山を経て行くコースよりも約一二K位廻り道になるが、館林、栃木のコースを表すためにかくしたもの、別項の「會津、那須廻り」によるのが正當な東京—日光コースである。

此のコースには別に取立て、特筆すべきものもないが、館林のつゝじは其の時期には一度出かけたところである。従つて初夏の候東京を午前九時出發、館林を正午につゝじを眺め、夕方日光へ着いて一泊、翌日は足尾

遊覽地 (館林・日光)	合	今	鹿	栃	佐	館	河	吹	桶	大	東
	市	沼	木	野	林	俣	上	川	宮	京	
所要時間	日	今	鹿	栃	佐	館	河	吹	上	川	宮
計	光	市	沼	木	野	林	俣	上	川	宮	
六時間	一四七	七	一八	二〇	一四	七	七	一八	一八	一二	三二
											K

上奥溪谷丸沼へ

東京—熊谷—沼田—白澤—追
貝—須賀川—丸沼—東京

上州には夏から秋にかけてのコースが非常に多く、此のコースも家族連れに週末に出かけるには相應はしいものと云へやう。

東京より熊谷、前橋に出で、沼田迄一氣に北上する。

沼田迄六時間はかゝるから、東京は午前六時頃出發とした方がよい。晝食は多少遅れても沼田がよい。

沼田からは道を右に、片品川の流れに向つて廻るが、

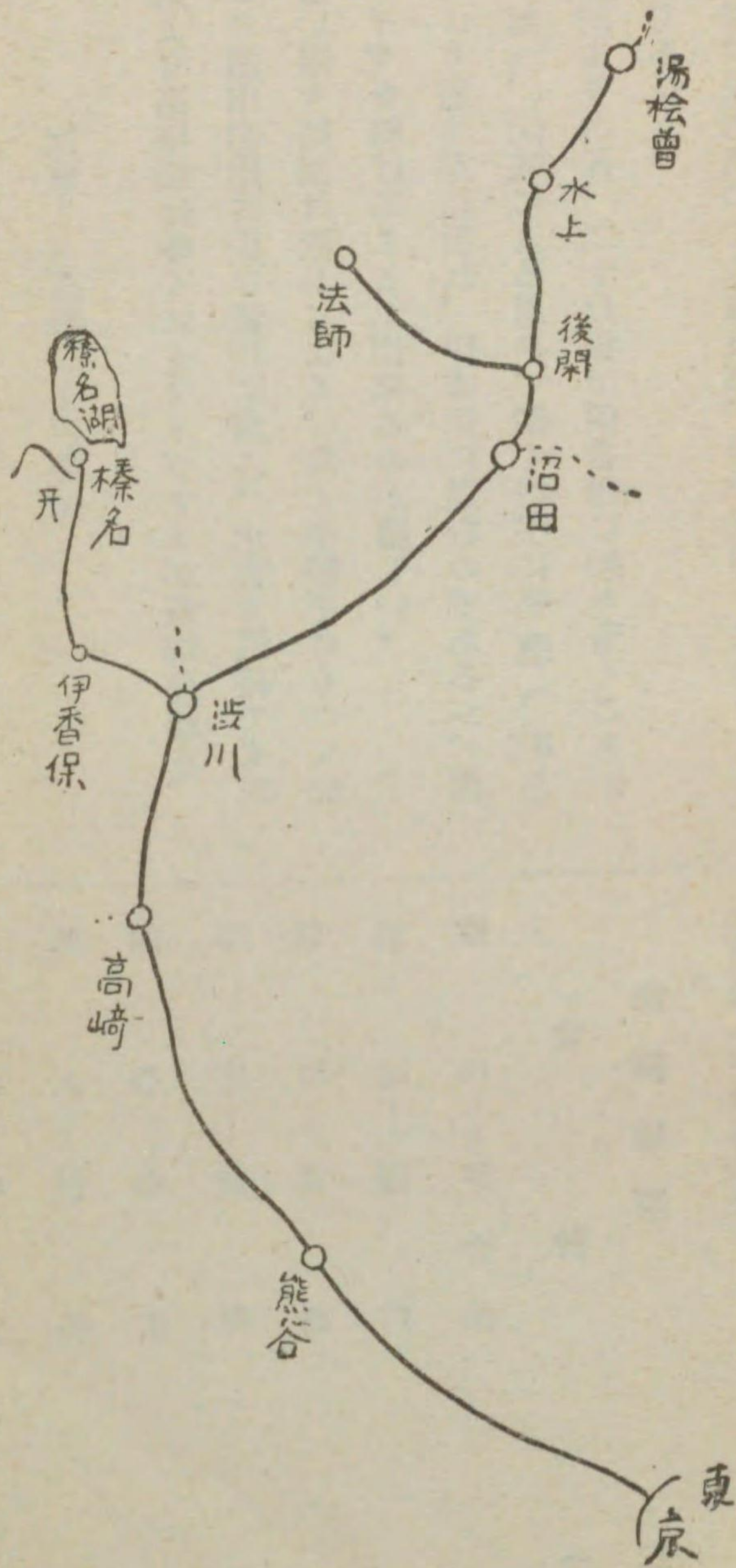
一〇Kで白澤へ着く。此のあたり眺望に勝れた高原があり、まづ都人の心を引き立たすに充分である。追貝迄更

東	沼	追	復		
京—沼	田—追	貝—丸	行—東		
田	貝	沼	京		
一五二K	二〇	一二	一八四		
				合	計
				三六八	
				所要	日數
				二日	
				遊覽地(白澤高原・片品川の清流・白根温泉・丸沼)	

に一〇Kであるが、片品川の清流岩を咬み、道下遙かに蟠居する部落は奇異な眺めである。

追貝を抜け、鎌田より白根に至れば純朴な白根温泉がある。時間があれば一と風呂浴びる程度。溪流に沿ふて行けばやがて丸沼に着く。

丸沼ではホテルに宿を設けやう。玄關へ乗り着けることが出来るし、山中のホテルとしては非常に好感が持てる。ホテルからは、斧鉞の入らぬ大森林の間から幽邃そのものゝ如き丸沼が浮いて見える。靜かに旅の疲れを休養することが出来る點、他に比較するものゝ少ない位である。



程があるから湯檜曾を訪づれ、引き返して水上温泉泊り。

翌朝は午前七時出發。

(但し更に澁川より伊香保温泉に二日目を宿り、赤城を廻つて歸るスケジュールも面白いから、此の場合は午前十時頃出發とすればよい)

後閑驛附近の月夜野橋より赤谷の溪谷を分けて法師へ、早目の食事をしたゝめて一氣に東京へ、午後九時迄には歸ることが出来るであらう。

(代案Ⅱ第一日東京を五時に出發して一氣に水上へ、引き返して伊香保泊り、翌日榛名山へ遊んで歸るのもよいと思ふ。)

伊香保へ

東京——高崎——伊香保

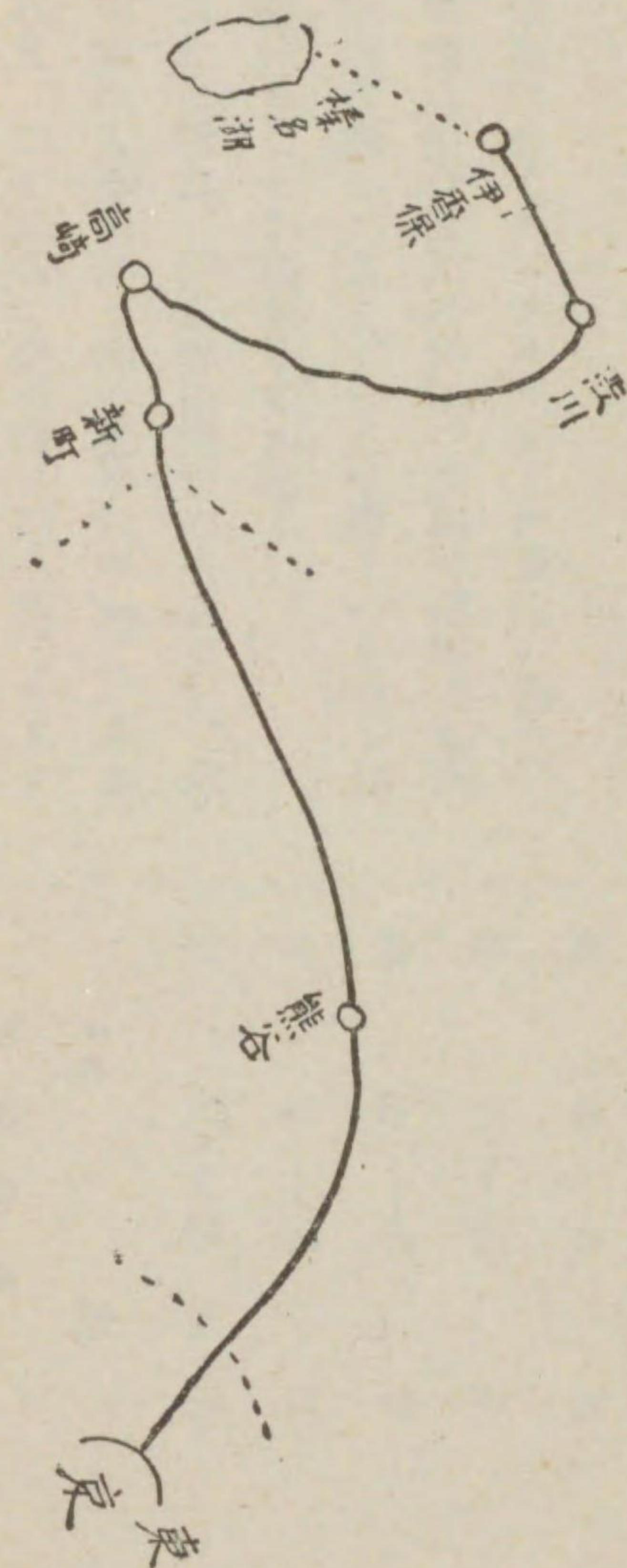
東京より高崎迄は多くのドライヴァーが承知の通り、高崎より沼田街道に沿ひ澁川に向ふ。水害で道路でも決潰しない限り路面は概してよく、全く平靜そのもの、如きドライヴを続けることが出来るのが嬉しい。

澁川より道は左に折れ、伊香保に進むのであるが、道は坂を加へ、山峽に入る思ひ、漸く把手に手應へがある。澁川より八K、二十分程で伊香保に辿り着くことが出来るであらう。

伊香保は上州切つての温泉郷、春の蕨狩りは餘りにも有名である。東京を午前八時に出發すれば、二時間をお

湯に浸つて歸ることが出来るが、出来れば一泊として榛名へ遊びたいものである。

遊覽地 (伊香保温泉)	東	吹	熊	本	新	高	澁
所要時間	京—吹	上—熊	谷—本	庄—新	町—高	崎—澁	川—伊香保
合計	六二K	九	二五	一〇	八	一八	八
五時間				一四〇			



神津より小坂へ

東京—高崎—松井田—小坂—
 神津—下仁田—藤岡—川越—
 東京

本コースは夏と秋、其の他の季節にドライブすることは無駄である。

夏か秋、下仁田に一泊して附近の風光を賞しやうといふのが目的、下仁田泊りとすれば東京を午前九時に出れば午後四時頃には到着するが、午前七時に出発して小坂より神津牧場に遊び、下仁田へ引き返して泊るのがよい。翌日は下仁田の築を見物する。七、八月の候、築に群がって落ち込む鮎は有名なもの、鮎料理を楽しみに行く

遊覽地 (神津牧場・下仁田の鮎)	川	寄	藤	下	小	松	高	東
・合	越	居	岡	仁	坂	井	崎	京
・所要日数	東	川	寄	田	下	田	松	高
	京	越	居	藤	仁	坂	井	崎
				岡	田	坂	田	
	二	二	二	二	一	二	一	一
	八	八	六	五	三	〇	四	四
	二	二	三	三	三	〇	四	四
	日	日	日	日	日	日	日	日

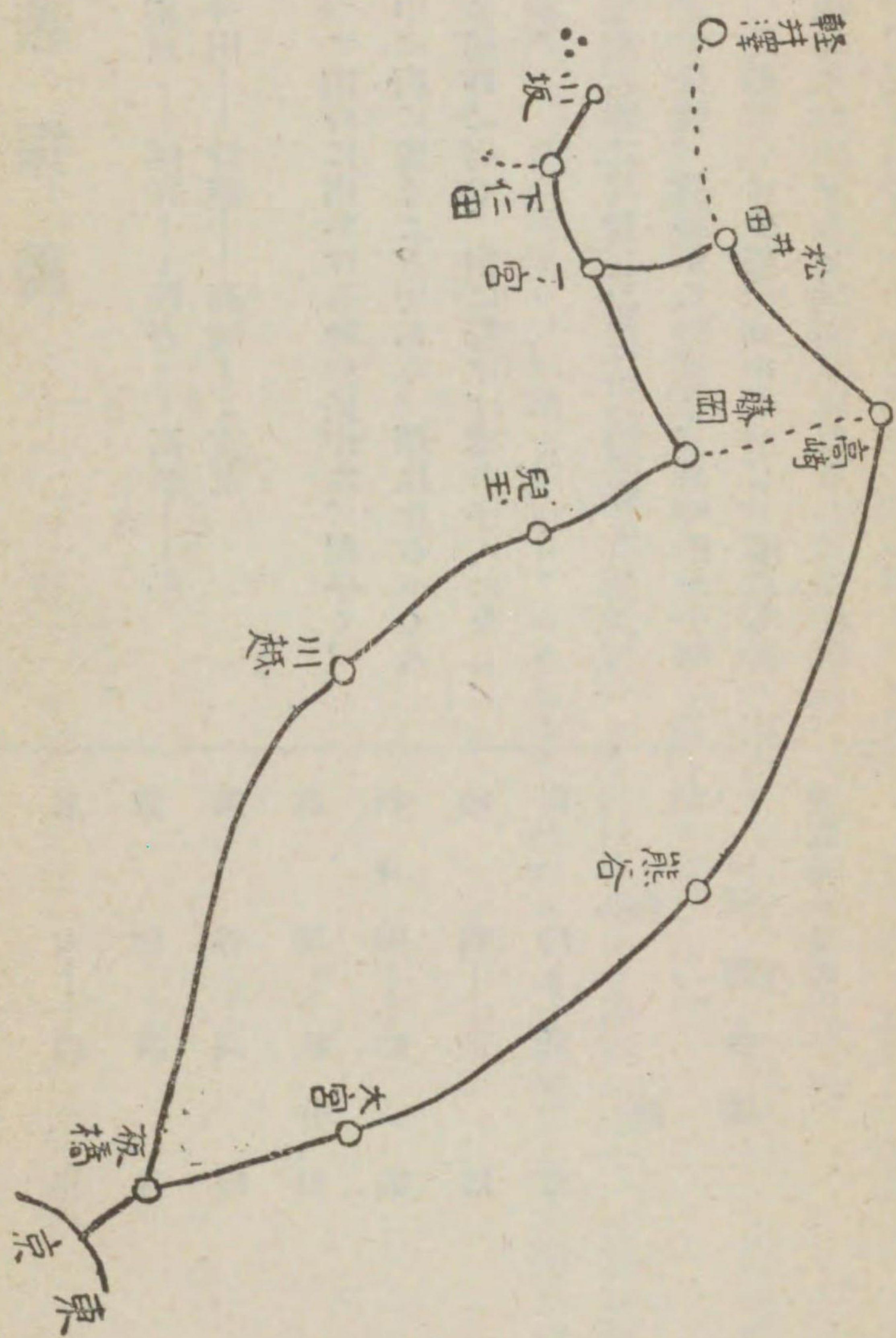
のも興がある。

然しこれは獨立コースとするよりも、一泊を利用して妙義、輕井澤を含むと理想的な夏のコースとなる。全く小坂、下仁田を一泊コースとするのは惜しい気がする。

東京を午前八時に出發、大宮——高崎——松井田——妙義として、妙義山を探勝し、引き返して輕井澤へ一泊、午後五時に着く豫定とすればさ程忙がしいドライブではない。

翌朝七時輕井澤出發、松井田より小坂に辿り、神津牧場にはちよつと足を向けたまゝ下仁田へ、此處で晝食の鮎料理に舌鼓を打ち、午後二時出發となれば八時には東京へ歸着することが出来る。

夏のコースは種々あるが、八月頃の東京附近のコースとしては、まづこれをNO1に數へなくてはなるまい。



藏野の平原を、あの松原を、櫟の木立の間を縫つて進む。西北方には秩父の連山がハッキリ姿を現はす。

熊谷についたのが正午、大宮から三十九K、東京より七十一K、此處より左折して愈々凹凸の相當に烈しい道に入る。愈々山に入つたなといった感じ、餘りにも平坦な熊谷までとは正反對、はるか左方に秩父連山は益々さやかに其の容姿を見せてくれる、果しなく松林、雑木林が續く、疎に或は密に。小川町に出て寄居に向ふ。道はやゝせまく鬱氣は濃くなる。何となくはしやげない氣持、時折車を止めて、ライカに囁く。ライカは無言の中に、而も忠實に凡てを受け容れて呉れる。

寄居をすぎて三十分ほど經つた處に、實に素晴らしい勝景が横たわつてゐる。秩父電鐵の踏切を越えて直ぐ波久禮の溪流、絶壁は譬へんに言葉なきを惜しむほどだ。透徹した水の色、岩を噛む清流！

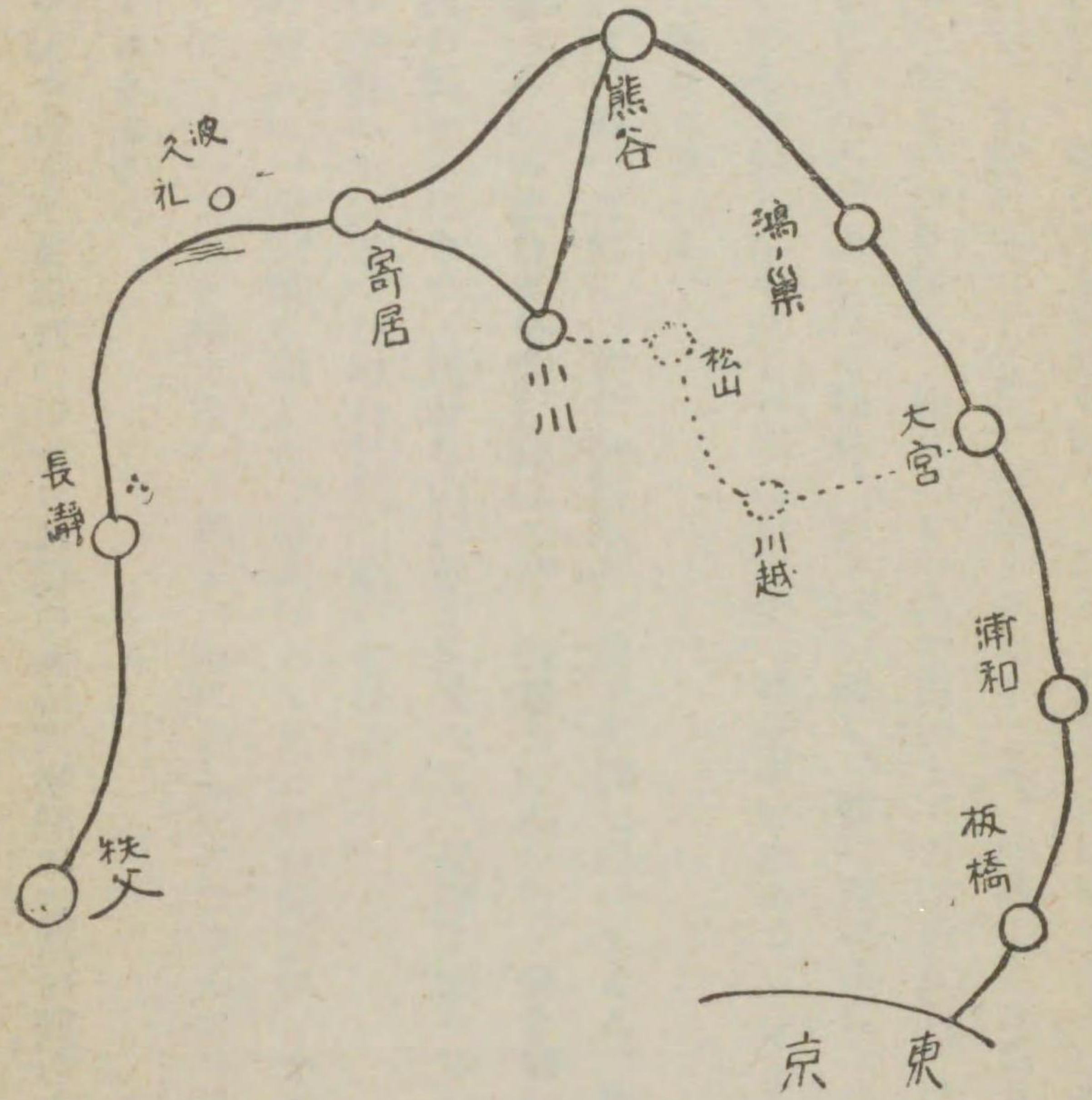
斯うした勝景に驚異の眼をみはりつゝ純朴な山村部落を縫つて、長瀬に辿りついた。時に三時三十五分。荒川の帶狀的溪流、長瀬の奇岩の上に立つた時の名狀し難い愉快さ。

長江に遊んだ東洋の詩人は、赤壁賦を残した。其處にたゞえられた絶讚は、やがて此處にも當てはまるものだらう。しかし惜むらくは、其の言葉を持たない。無言の中に新しい仕立卸しのライカは、其の美を美事にキヤツチしてくれた。

更に鬱氣漂ふ樹間を縫つて、秩父に至る。一七軒餘。秋の陽脚は既に傾いた。一日の行樂をメモに止めて、秩

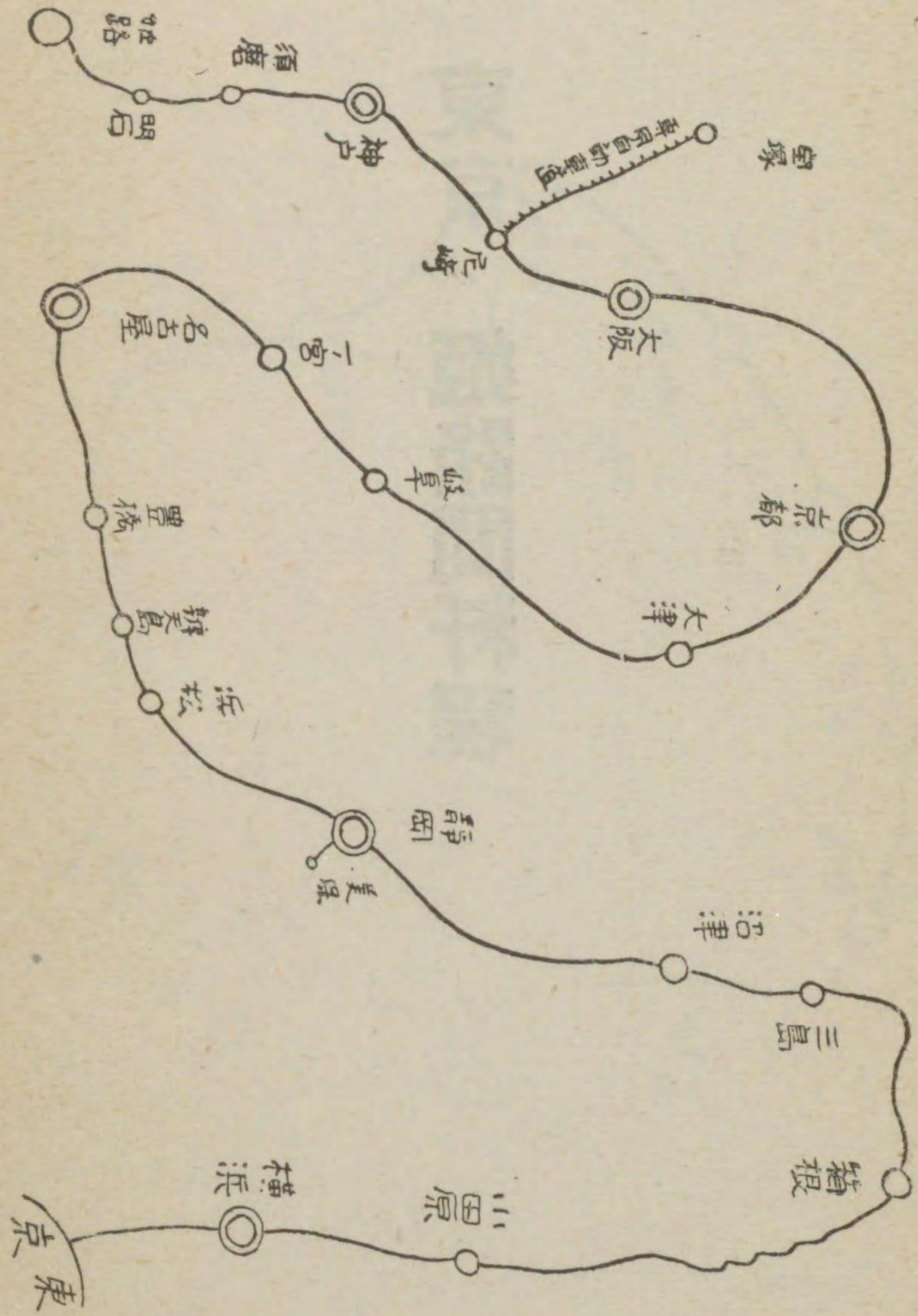
父から又もと來た道を引き返す。東京についたのは夜の九時。(早曉に東京に發ちえたなら、小川から松山、川越へ出て大宮へ行くコースもある。)

“東京・
姫路間料程”



東京・姫路間ドライブ

東京—横濱—箱根—静岡—豊橋—名古屋—大津—
 京都—大阪—神戸—姫路

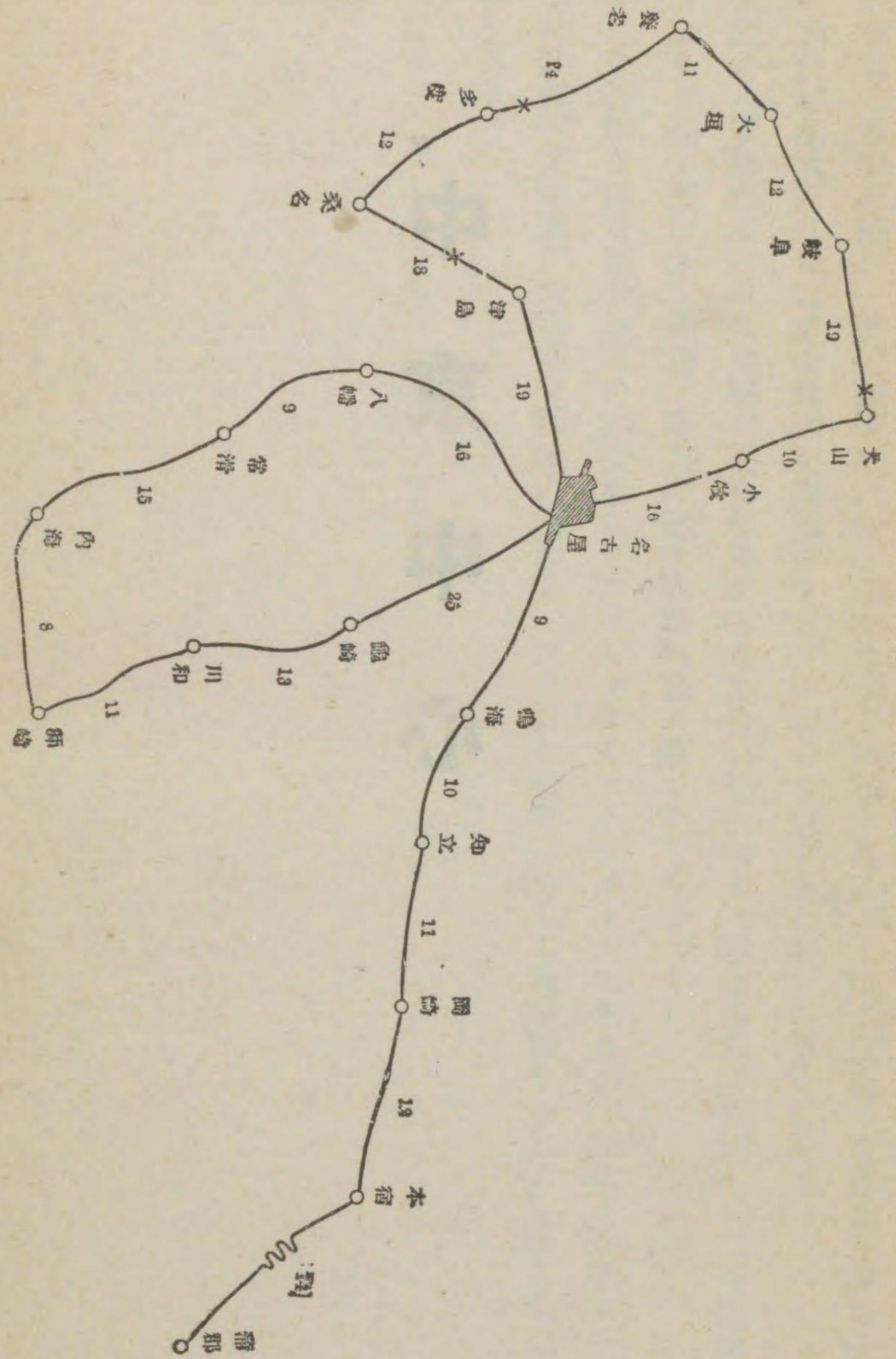


三日目も八時出発、一宮、岐阜縣は橋が悪いのが玉に瑾である。大津で晝食、京都より直ちに京阪国道へ、堤上の新道路を大阪へ飛ばすのは、東海道ドライブの旅の中愉快なものゝ一つである。

大阪から姫路迄の一日は至極呑氣な行程であるから、尼ヶ崎より専用道路で寶塚へ、二時間餘り遊んで神戸、それより夕陽を浴びつゝ須磨、明石の濱を姫路へ辿り着くのである。

かく全行程を四日に分けるのが普通のドライバーのスケジュールであるが、腕にまかせて一氣に飛ばせば十二時間位、又東京、大阪間で濱松に一泊し、二日目を寶塚にのして神姫間をゆる／＼楽しみながらドライブする手もある。

“ 中 京 中 心 ”



養老・犬山巡り

名古屋——津島——桑名——多度——
 養老——大垣——岐阜——犬山——小
 牧——名古屋

未明に出發、津島街道から、市街を離れる、東海道を宮から七里渡船によらないで、陸廻りの人が、必ずとつたこの道、芭蕉も佐屋の泊りを豫想して、歩いて行つた道を、西へ進む唯一のドライブ・ウエー、あはでの森と言つて藪に香の物のある古い名所、甚目寺村は尾張三觀音の古刹、津島神社に參詣して、道を海の方に向け佐屋に行く。加藤高明誕生地と水鶏塚とが名所。

水鶏なくと人の云へばや佐屋泊 翁

遊覽地 (養老・犬山)	名古屋	津島	桑名	多度	養老	大塚	岐阜	犬山
・合	名古屋	津島	桑名	多度	養老	大塚	岐阜	犬山
・所要時間	一九	一八	一二	二四	一一	一二	一九	二六
計	一九	一八	一二	二四	一一	一二	一九	二六
九時間	一九	一八	一二	二四	一一	一二	一九	二六

そこにも立寄ることが出来る。この邊一帶の水郷、長島はあやめ咲くしほらしさがあり、青樓は古くから賑ひ川魚料理は結構、今度尾張・伊勢の兩大橋が出来、桑名迄は、国道第一號線は、近縣唯一のドライブ・ウェー、これこそは全く快適のコースをたどるのである。

桑名で晝食は一寸早い、養老山脈の麓を巡るのに、養老迄は、いささか時間が遅れるから、こゝで休憩する。国道を省線驛の前から、市街へ折れると、そこ揖斐の河口、七里の渡場の上り口には泉鏡花作る「歌行燈」の背景になつた宿があり、魚も新らしく、名物の時雨茶漬なら、靴を脱がぬと言つても、即座に出来る。時間經濟を與へたら、ドライブランチには、あつらへ向きである。

食後の一と時を、春はその季節白魚の名所、赤須賀に出て、芭蕉早朝の宿、濱の地藏堂で一寸下りる。

あけぼのや白魚白きこと一寸

翁

の碑が立つて居る。

揖斐川に沿つて上向すると、右手に薩摩義士が寶曆の昔、責任觀念から自刃した千本松原が見え、道を多度山手にとつて、國幣大社多度神社に參拜、國寶の鏡十何面を參觀する。名物の鯉料理は閑暇なく、割愛して車を養老に向ける。

伊勢電鐵養老驛から、山への道はよく櫻の名所今は枯木のトンネルを貫けて、宿の竝ぶあたり迄は上つて行く

ことが出来る。溪水岩を咬んで、鮮苔色も濃く、老子汲酒の古事を偲びながら、歩を運ぶこと半哩、午後一時半にこゝを立つ。

大垣に到るドライブは、完全なるコースをとることが出来る。廣茫たる平野の味、行き會ふ車の少ないのは、産業生産の何物をもこれぞと特に注意すべきものを持たないが爲であらうか。

二時頃には、大垣平地の城廓が眼界のものとなつた。水の清冽なることは天下に名高いだけ、その量も豊富、城、公園の邊を一周して、下車は遠慮、岐阜に向ふ。

稻葉山の麓に車をつける。

城あとや古井の清水まづとはん

翁

この古い井戸は今日も残つて居る。含鐵冷鑛泉、冬のことではあるが、一杯を御馳走になる。山頂の天主閣に上る時間がなく、グラントをぬけて、長良川の岸へ出る。

夏ならば鵜飼見物、一泊を餘儀なくさせられるところ、暖かい川魚のすき焼でも食べることが出来れば結構だが、川に面した料亭の座敷に、お茶位を頂戴干柿の菓子が出る。この時午後三時、先を急ぐドライブの旅は、僅かに十五分の小憩で、長良川畔を上流へと進む。

昔飛驒への道、中仙道は、早くから開けただけで、田舎には珍らしい本格的の街道がある。